

ごみ組成調査報告書

令和 7 年 3 月

寒 川 町

目 次

第 1 章 調査概要.....	1
1.1 調査目的.....	1
1.2 調査対象区域等.....	2
1.3 調査方法.....	3
第 2 章 ごみ質組成分析調査結果.....	6
2.1 調査 1 回目.....	6
2.2 調査 2 回目.....	22
2.3 調査全体（調査 1 回目・2 回目の平均）.....	38
2.4 調査別物理組成比較.....	53
2.5 資源物の混入状況.....	59
2.6 適正排出の状況.....	61
第 3 章 減量化・資源化の想定.....	62
3.1 排出抑制による減量化の想定.....	62
3.2 資源化量の想定.....	62
第 4 章 経年変化の状況.....	65
資料編.....	70
1. 寒川町のごみの出し方.....	71
2. 家庭系物理組成調査結果及び個別調査票（可燃ごみ）.....	78
3. 個別重量データ.....	86
4. 調査写真.....	90

※報告書に記載した数表は、小数点以下の端数により合計欄の値と内訳が一致しない場合があります。

第 1 章 調査概要

1.1 調査目的

寒川町は、令和 6 年度現在、可燃ごみ、可燃粗大ごみ、不燃ごみ、大型ごみ・特別大型ごみ、資源物としてプラスチック製容器包装、古紙、衣類布類、びん、かん、ペットボトル、廃食用油、金属類、蛍光灯・水銀式体温（血圧）計注）の計 13 分別で収集を実施している。

また、使用済小型家電のうち携帯電話や PHS などの特定対象品目については、町内の回収ボックスにて収集されている。

分別収集の取組みは、各家庭の協力により順調に推進されているものの、可燃ごみの中には、資源として分別されるべきものの混入が考えられることから、定期的に町内 4 収集地区のステーションにおける可燃ごみ中の資源の混入割合を確認し、期待できる資源化量を把握するとともに、更なる資源化の推進や、新たな分別品目の検討参考資料を得ることを目的とした調査を実施している。

また、平成 30 年度より従来の目的に加え、食品廃棄物の実態を把握することで、今後の食品ロスの削減に取り組むための基礎となる情報を収集することも目的としており、本年度もこれを継続するものである。

この背景には、平成 27 年 9 月に開催された国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」において食料の損失、廃棄物の削減についての目標が設定されたことや平成 28 年 1 月に変更された「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」において、食品廃棄物に関する目標が設定されたこと、さらに、令和元年 5 月に国、地方公共団体、事業者、消費者が連携し、食品ロス削減を総合的に推進することを目的とする「食品ロスの削減の推進に関する法律（食品ロス削減推進法）」が制定され、令和 2 年 3 月には同法第 11 条の規定に基づく「食品ロスの削減に関する基本的な方針」が閣議決定され、食品ロスの推進の意義及び基本的な方向、その他食品ロスの削減の推進に関する重要事項が定められた。

また、プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応を契機として、国内におけるプラスチック資源循環を促進する重要性が高まっていることから、令和元年 5 月に「プラスチック循環型戦略」を策定。さらに令和 3 年 6 月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が公布され、令和 4 年 4 月より施行された。

神奈川県においては平成 30 年 3 月に「家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロス調査マニュアル」を発行。令和 4 年 3 月に「神奈川県食品ロス削減推進計画」、令和 5 年 3 月に「神奈川県プラスチック資源循環推進等計画」を策定しており、食品ロス、プラスチック問題に対する重要性が高まっている。

なお、令和 2 年から続く新型コロナウイルスは感染の拡大と縮小を繰り返してはいるものの、コロナワクチンの接種率が向上し、行動制限や経済活動の制限も緩和されている。今後もウィズコロナによる「新しい生活様式」や、SDGs の浸透による人々の意識の変化が排出ごみに及ぼす影響についても注視していきたい。

1.3 調査方法

1) 試料採集

- ・①～④地区からそれぞれ5箇所、計20箇所の集積所から計60袋収集^{注)}、各袋の重量を測定し、偏りがないよう無作為に袋の山を4つ作る。

注) 60袋以上のごみ袋が搬入された際は、その中から紙おむつ、剪定枝だけなど偏りがあると思われる袋を外し、サンプリング対象外として記録する。

- ・各山から平均に近い重さ^{注)}の袋を4袋抽出し、計16袋サンプリングする。

注) 平均に近い重さ＝平均± α (平均に対しての上下の差)

2) 調査項目

調査項目は以下のとおりである。

また、組成分類フローを図 1.3-1 に、組成分類項目を表 1.3-1 に示す。

- ・排出状況調査

収集対象としていない排出物が確認された場合、不適正排出物として写真で記録

- ・物理的組成調査 (59 項目)

湿ベース重量、湿ベース構成割合、見かけ容量、見かけ比重

- ・食品廃棄物

未開封の食品、未加工の食材等を「直接廃棄 (未利用食品)」、開封済みの食品、加工済みの食材等を「食べ残し」、その他に「調理くず等 (内数として過剰除去)」が確認された場合、写真で記録しそれぞれ計量する。

組成調査の項目は、「ごみ処理施設整備の計画・設計要領 2017 改訂版」(社団法人 全国都市清掃会議)に記載の 50 項目を基本とし、これに小型家電、食ロス関連項目、紙おむつを加える。

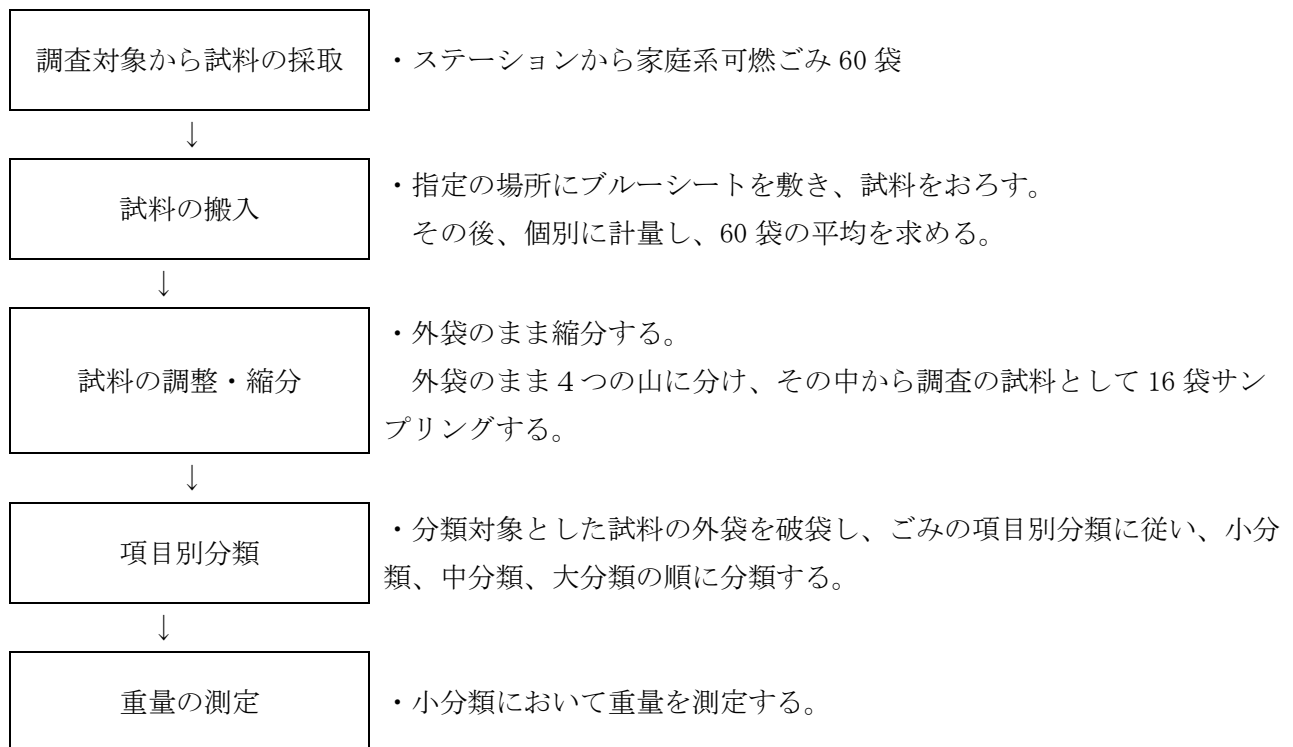


図 1.3-1 組成分類フロー

表 1.3-1 ごみの組成分類項目

番号	大分類	中分類	小分類（形状別）			
1	紙・布類	紙類	容器包装	飲料用紙	アルミ無し	
2				バック	アルミ付き	
3				ダンボール		
4				包装紙		
5				紙容器		
6				その他		
7			容器包装以外	新聞・折込		
8				雑誌・パンフレット		
9				ざつ紙（再生利用可能紙類）		
10				その他（紙くず等）		
11		布類	ウエス利用可能なもの			
12			その他			
13	ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	軟質	
14					硬質	
15				その他	軟質	
16				ボトル	硬質	
17				トレイ	発泡スチロール	白色
18						褐色（有色）
19				袋	レジ袋（未使用）	
20					その他（未使用）	
21				バック、カップ容器類		
22				フィルム状の容器包装		
23				汚れのあるプラスチック製容器包装		
24				外袋として使用されている袋		
25				容器包装以外	軟質	
26			硬質			
27			その他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）			
28		ゴム・皮革				
29	木、竹、わら類	剪定枝葉				
30		その他				
31	厨芥類	食品廃棄物	直接廃棄			
32			食べ残し			
33			調理くず等			
				過剰除去（上記内数）		
34	廃油類					
35	不燃物	陶磁器				
36		鉄類	容器包装	飲食用缶		
37				栓・キャップ		
38				スプレー缶		
39				その他		
40		容器包装以外				
41		アルミ	容器包装	飲食用缶		
42				栓・キャップ		
43				スプレー缶		
44				その他		
45		容器包装以外				
46		その他金属				
47		小型家電				
48		ガラス類	容器包装	ワンウェイビン等		
49				リターナブルビン		
50		容器包装以外				
51		有害ごみ	蛍光管			
52			乾電池、ボタン電池（BR、CRのみ）			
53			水銀温度計			
54	その他不燃					
55	その他	医療ごみ	特別管理一般廃棄物			
56		その他				
57		その他可燃	紙おむつ			
58			その他			
59	処理困難物（自治体で収集・処理できないもの）					

第 2 章 ごみ質組成分析調査結果

2.1 調査 1 回目

1) 家庭系可燃ごみ

(1) 物理組成概要

中分類別でみた家庭系可燃ごみの物理組成概要は表 2.2-1 及び図 2.2-1 に示すとおりである。

食品廃棄物・廃油類（42.60%）が最も多く、次いで紙類（20.71%）、その他可燃（20.41%）、プラスチック類（8.70%）、剪定枝・その他（3.51%）、布類（2.92%）、ゴム・皮革（0.28%）であった。

不燃物では、アルミ^{注)}、その他不燃が認められた。

注) アルミホイルは「可燃ごみ」として排出可能である。

表 2.1-1 家庭系可燃ごみの物理組成

中分類	割合 (%)
紙類	20.71
布類	2.92
プラスチック類	8.70
ゴム・皮革	0.28
剪定枝・その他	3.51
食品廃棄物・廃油類	42.60
陶磁器	0.00
鉄類	0.00
アルミ	0.19
その他金属	0.00
小型家電	0.00
ガラス類	0.00
有害ごみ	0.00
その他不燃	0.68
医療ごみ	0.00
その他可燃	20.41
処理困難物	0.00
合計	100.00

※湿ベース重量

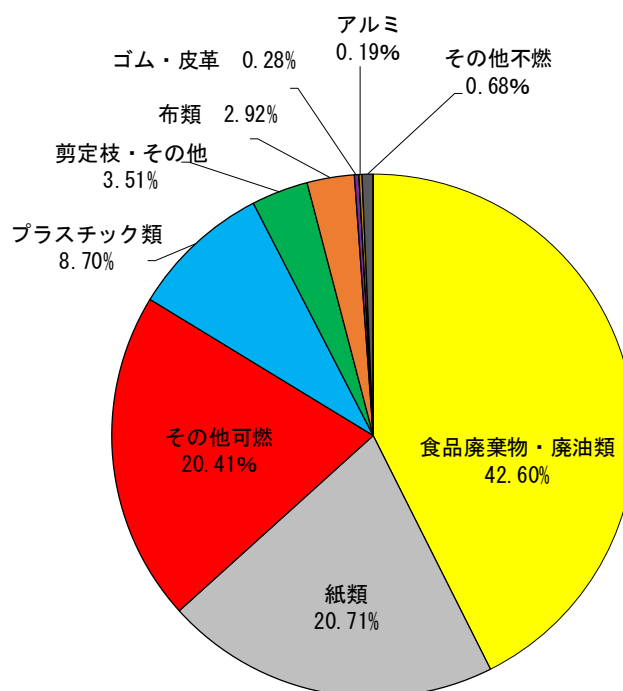


図 2.1-1 家庭系可燃ごみの物理組成

(2) 主な分別品目の排出割合

① 紙類

紙類の組成は表 2.1-2①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装（飲料用紙パック（アルミ付きを除く）、ダンボール、包装紙、紙容器、その他）の混入割合は 6.56%であった。

次に、紙類全体に占める各種紙類の組成は、表 2.1-2②及び図 2.1-2 に示す。

紙類全体に占める資源として回収可能な紙類の混入割合は 44.21%であった。

表 2.1-2① 紙類の組成

区分			割合（％）
容器包装	飲料用紙 パック	アルミ無し	0.84
		アルミ付き	0.84
	ダンボール		0.01
	包装紙		0.14
	紙容器		4.32
	その他		1.25
			7.39
容器包装 以外	新聞・折込		1.11
	雑誌・パンフレット		0.09
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		1.39
	その他（紙くず等）		10.72
			13.32
（資源化可能な紙類）			9.16
合計			20.71

表 2.1-2② 紙類の組成（紙類全体）

区分			割合（％）
容器包装	飲料用紙 パック	アルミ無し	4.03
		アルミ付き	4.03
	ダンボール		0.07
	包装紙		0.67
	紙容器		20.84
	その他		6.05
			35.69
容器包装 以外	新聞・折込		5.38
	雑誌・パンフレット		0.44
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		6.73
	その他（紙くず等）		51.76
			64.31
（資源化可能な紙類）			44.21
合計			100.00

：資源化可能部分

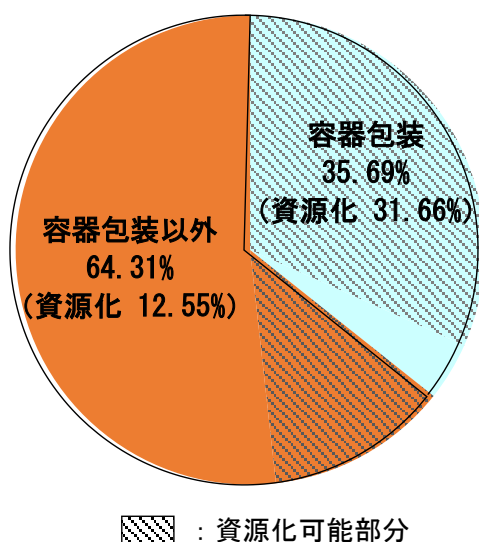


図 2.1-2 紙類の組成（紙類全体）

紙製容器包装全体に占める各種紙類の組成は、図 2.1-3 に示すとおりである。

食料品や日用品の紙箱などの「紙容器」が 58.39%で紙製容器包装の大部分を占めており、次いで、牛乳パックなどの「飲料用紙パック」が 22.58%、その他が 16.59%、包装紙が 1.88%、ダンボールが 0.20%であった。

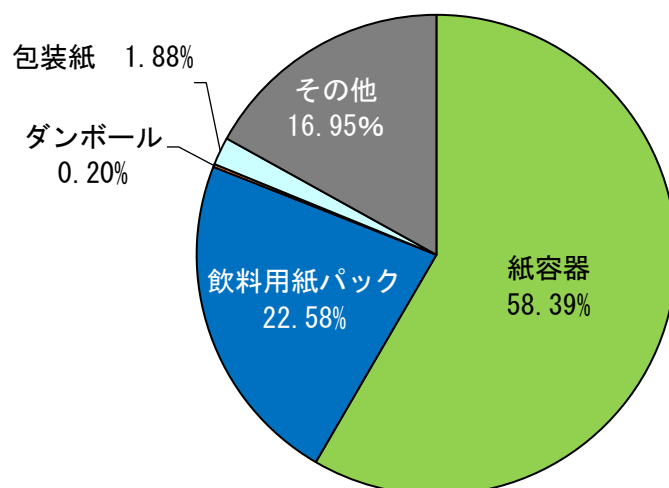


図 2.1-3 紙製容器包装の組成

② プラスチック類

排出量全体に占める各種プラスチック類の組成は表 2. 1-3①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 2. 17%であった。

なお、現在、プラスチック製容器包装以外のプラスチック類の軟質は可燃ごみ、硬質やその他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）は不燃ごみとして収集されている。

次に、プラスチック類全体に占める各種プラスチック類の組成を表 2. 1-3②及び図 2. 2-4 に示す。

プラスチック類全体に占める資源として回収可能なプラスチック類の混入割合は 24. 90%であった。

表 2. 1-3① プラスチック類の組成

区分			割合（％）	
容器包装	ペット ボトル	軟質	0.00	
		硬質	0.00	
	その他 ボトル	軟質	0.12	
		硬質	0.39	
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.00
			褐色（有色）	0.00
	袋	レジ袋（未使用）		0.00
		その他（未使用）		1.11
	バック、カップ容器類		0.40	
	フィルム状の容器包装		0.14	
	汚れのあるプラスチック製容器包装		3.48	
	外袋として使用されている袋		2.35	
		8.00		
容器包装以外	軟質		0.28	
	硬質		0.30	
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ 単一ではないもの等）		0.13	
			0.70	
（資源化可能なプラスチック類）			2.17	
合計			8.70	

：資源化可能部分

表 2. 1-3② プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

区分			割合（％）	
容器包装	ペット ボトル	軟質	0.00	
		硬質	0.00	
	その他 ボトル	軟質	1.38	
		硬質	4.48	
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.00
			褐色（有色）	0.00
	袋	レジ袋（未使用）		0.00
		その他（未使用）		12.80
	バック、カップ容器類		4.64	
	フィルム状の容器包装		1.60	
	汚れのあるプラスチック製容器包装		40.00	
	外袋として使用されている袋		27.04	
			91.94	
容器包装以外	軟質		3.17	
	硬質		3.42	
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ 単一ではないもの等）		1.47	
			8.06	
（資源化可能なプラスチック類）			24.90	
合計			100.00	

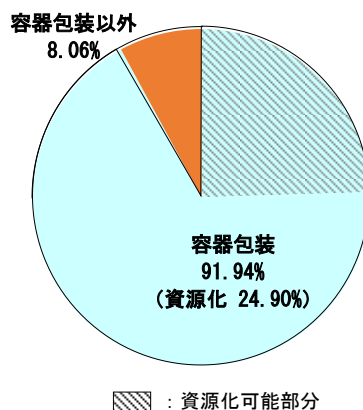


図 2. 1-4 プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

プラスチック製容器包装全体に占める各種プラスチック類の組成は、図 2.1-5 に示すとおりである。

汚れのあるプラスチック製容器包装が 43.51%と最も多く、次いで、外袋として使用されている袋が 29.41%であり資源化できないプラスチック製容器包装が全体の約 70%以上を占めていた。

資源化可能なプラスチック製容器包装では、汚れていないレジ袋、食品の袋などを含む「袋」が 13.92%、その他ボトルが 6.37%、フィルム状の容器包装が 1.74%であった。

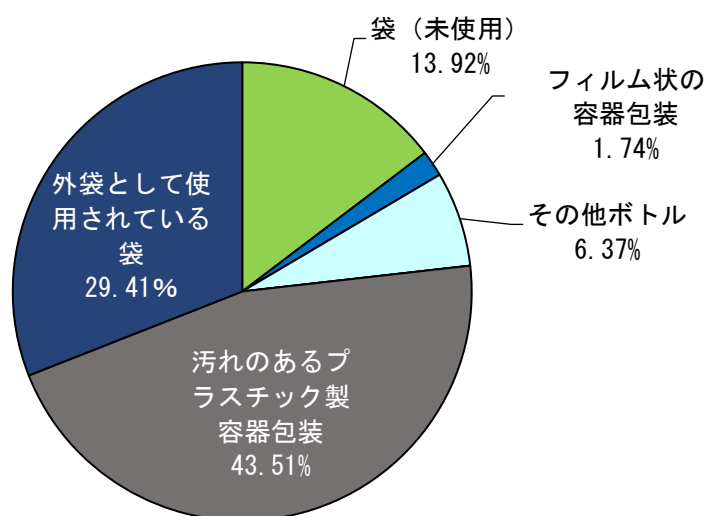


図 2.1-5 プラスチック製容器包装の組成

容器包装以外のプラスチックでは、軟質は、靴の中敷き、スポンジ、手袋、不織布マスク、硬質は、糸ようじ、プラスチック製のざる、スマホカバー、フック、その他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）は、洗濯ばさみ、髪留め、アイブロー、糸ようじ、リボン（針金入り）の排出が認められた。

特定プラスチック使用製品は、スプーン、ストローの排出が認められた。

③ アルミ

排出量全体に占める各種アルミの組成は表 2. 1-4①に示すとおりである。

資源として回収できない容器包装の混入割合は 0. 15%であり、栓・キャップの排出が認められた。資源として回収できない容器包装以外の混入割合は 0. 04%であり、排出物としてアルミホイル^{注)}の排出が認められた。

次に、アルミ全体に占める各種アルミの組成は表 2. 1-4②及び図 2. 1-6 に示すとおりである。

注) アルミホイルは「可燃ごみ」として排出可能である。

飲料用ボトルのふたは「不燃ごみ」として排出する。

表 2. 1-4① アルミの組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0. 00
	栓・キャップ ^{注)}	0. 15
	スプレー缶	0. 00
	その他	0. 00
		0. 15
容器包装以外		0. 04
(資源化可能なアルミ)		0. 00
合計		0. 19

表 2. 1-4② アルミの組成 (アルミ全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0. 00
	栓・キャップ ^{注)}	80. 88
	スプレー缶	0. 00
	その他	0. 00
		80. 88
容器包装以外		19. 12
(資源化可能なアルミ)		0. 00
合計		100. 00

：資源化可能部分

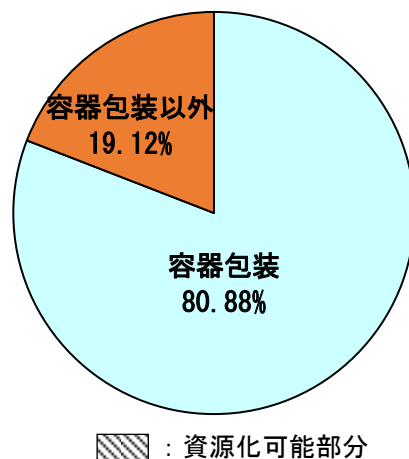


図 2. 1-6 アルミの組成 (アルミ全体)

④ 食品廃棄物

ア. 食品廃棄物の排出状況

食品廃棄物は、図 2.1-7 に示すとおり、直接廃棄、食べ残し、調理くず等（過剰除去含む）に大別される。

食品廃棄物の排出状況は表 2.1-5①に示すとおりであり、排出量全体に占める食品廃棄物の排出割合は 42.60%であった。

また、食品廃棄物中では過剰除去を含む調理くず等が最も排出割合が多く 26.37%、次いで直接廃棄が 8.54%、食べ残しが 7.69%であった。

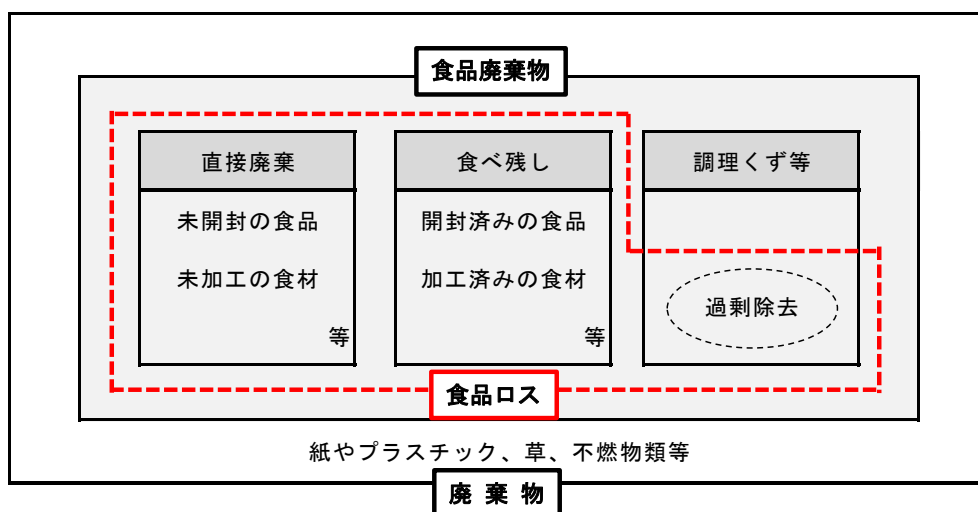


図 2.1-7 食品廃棄物の分類

注 1) 食品廃棄物：食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律で定める、食品が食用に供された後、又は食用に供されずに廃棄されたものや食品の製造、加工又は調理の過程において副次的に得られた物品のうち食用に供することができないもので有価以外のものをさす。

注 2) 直接廃棄：消費期限・賞味期限切れ等により食卓にあがらずに廃棄されたものをさす。
(未利用食品)

注 3) 食べ残し：食べきれずに廃棄されたものをさす。(例：開封状態のお菓子や加工された野菜など)

注 4) 過剰除去：調理過程等により、本来食べられる部分まで過剰に取り除いてしまったものをさす。

(出典：「家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロスの調査マニュアル」 神奈川県)

表 2.1-5① 食品廃棄物の排出割合

区分	排出量 (kg)	割合 (%)
家庭系可燃ごみ	35.91	
食品廃棄物	15.30	42.60
直接廃棄	3.07	8.54
食べ残し	2.76	7.69
調理くず等	9.47	26.37
過剰除去	0.50	1.39
(可食部分)	6.33	17.62

：可食部分

食品廃棄物全体に占める排出割合は、表 2.1-5②及び図 2.1-8 に示すとおりである。

調理くず等（内過剰除去:18.12%）が 61.91%、直接廃棄が 20.05%、食べ残しが 18.04%であった。

以上のことから、食品廃棄物中の可食部分は 56.21%（直接廃棄:20.05%、過剰除去:18.12%、食べ残し:18.04%）を占めていた。

表 2.1-5② 食品廃棄物の排出割合（食品廃棄物全体）

区分		排出量（kg）	割合（%）
食品廃棄物		15.30	
	直接廃棄	3.07	20.05
	食べ残し	2.76	18.04
	調理くず等	9.47	61.91
	過剰除去	0.50	18.12
（可食部分）		6.33	56.21

 : 可食部分

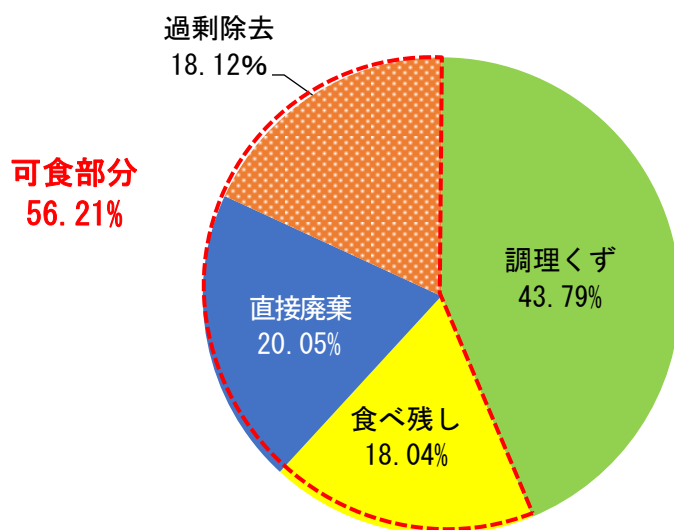


図 2.1-8 食品廃棄物の排出割合（食品廃棄物全体）

イ. 過剰除去

調理くず等に含まれる過剰除去については過剰除去自体の基準が曖昧であり、調査主体により数値が大きく変動する可能性がある。

参考値として環境省が公表している「食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査報告書」で公表している割合に基づき算定した過剰除去の割合は 1.65%であった。

推計式)

家庭系ごみに占める過剰除去の割合 (%)

＝環境省公表割合×家庭系ごみに占める食品廃棄物の割合/100

＝4.6×35.91/100

≒1.65

(出典：「家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロスの調査マニュアル」 神奈川県)

ウ. 直接廃棄

日付の確認できる食品の多くは消費期限、賞味期限外であったが、中には賞味期限内にも関わらず廃棄されていた食品の排出も認められた。なお、野菜や果物の消費期限は「記載なし」と表記している。



油揚げ	消費期限	24.10.20	つゆ	賞味期限	25.04.19
クラムチャウダ	消費期限	24.10.22	そうめん（乾麺）		22.07.19
切り干し大根	賞味期限	22.12.22		賞味期限	20.09.--
お麴	賞味期限	17.08.10			19.09.--
ゼリー	賞味期限	24.10.10	椎茸	賞味期限	19.04.23
ガムシロップ	—	—	昆布	賞味期限	15.11.17
たれ	—	—	柚子胡椒	賞味期限	24.01.30
マスタード	賞味期限	24.10.12	海苔	—	—
ケチャップ	賞味期限	24.05.13	しょうゆ	—	—
マスタード	賞味期限	24.09.08	ぶなしめじ	—	—
バーベキューソース	賞味期限	24.10.15	イチジク	—	—
マヨネーズ	賞味期限	24.07.22	卵	—	—
ソース	賞味期限	24.07.13	ミニトマト	—	—
七味唐辛子	賞味期限	24.05.24	ピーマン	—	—
		24.10.23	さつまいも	—	—
紅ショウガ	賞味期限	24.08.07	瓜	—	—
たれ	賞味期限	24.04.10	オクラ	—	—

2) 家庭系不燃ごみ

(1) 物理組成概要

中分類別でみた家庭系不燃ごみの物理組成概要は表 2.1-6 及び図 2.1-9 に示すとおりである。

プラスチック類 (27.30%) が最も多く、次いで陶磁器 (23.59%)、ガラス類 (18.83%)、鉄類 (7.17%)、アルミ (5.53%)、小型家電 (5.35%) であった。

可燃物では、布類、紙類、剪定枝・その他が認められた。

表 2.1-6 家庭系不燃ごみの物理組成

中分類	割合 (%)
紙類	1.27
布類	6.01
プラスチック類	27.30
ゴム・皮革	0.00
剪定枝・その他	0.64
食品廃棄物・廃油類	0.00
陶磁器	23.59
鉄類	7.17
アルミ	5.53
その他金属	0.00
小型家電	5.35
ガラス類	18.83
有害ごみ	3.19
その他不燃	0.00
医療ごみ	0.00
その他可燃	1.12
処理困難物	0.00
合計	100.00

※湿ベース重量

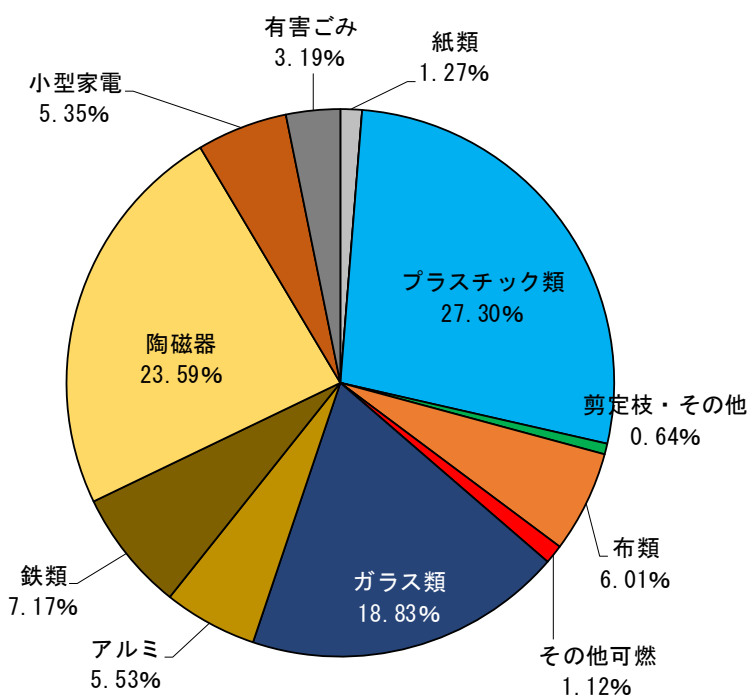


図 2.1-9 家庭系不燃ごみの物理組成

(2) 主な分別品目の排出割合

① 紙類

紙類の組成は表 2.1-7①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装（飲料用紙パック（アルミ付きを除く）、ダンボール、包装紙、紙容器、その他）の混入割合は 0.89%であった。

次に、紙類全体に占める各種紙類の組成は、表 2.1-7②及び図 2.1-10 に示す。

紙類全体に占める資源として回収可能な紙類の混入割合は 84.31%であった。

表 2.1-7① 紙類の組成

区分			割合（％）
容器包装	飲料用紙 パック	アルミ無し	0.00
		アルミ付き	0.00
	ダンボール		0.27
	包装紙		0.00
	紙容器		0.04
	その他		0.58
			0.89
容器包装 以外	新聞・折込		0.18
	雑誌・パンフレット		0.00
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		0.00
	その他（紙くず等）		0.20
			0.38
（資源化可能な紙類）			1.07
合計			1.27

表 2.1-7② 紙類の組成（紙類全体）

区分			割合（％）
容器包装	飲料用紙パック	アルミ無し	0.00
		アルミ付き	0.00
	ダンボール		21.40
	包装紙		0.00
	紙容器		3.00
	その他		45.65
			70.04
容器包装以外	新聞・折込		14.27
	雑誌・パンフレット		0.00
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		0.00
	その他（紙くず等）		15.69
		29.96	
（資源化可能な紙類）			84.31
合計			100.00

：資源化可能部分

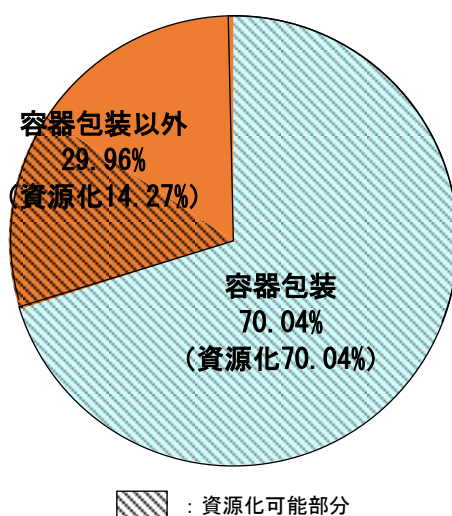


図 2.1-10 紙類の組成（紙類全体）

② プラスチック類

排出量全体に占める各種プラスチック類の組成は表 2.1-8①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 5.75%であった。

なお、現在、プラスチック製容器包装以外のプラスチック類の軟質は可燃ごみ、硬質やその他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）は不燃ごみとして収集されている。

次に、プラスチック類全体に占める各種プラスチック類の組成を表 2.1-8②及び図 2.1-11に示す。

プラスチック類全体に占める資源として回収可能なプラスチック類の混入割合は 21.06%であった。

表 2.1-8① プラスチック類の組成

区分			割合（％）	
容器包装	ペット ボトル	軟質	0.00	
		硬質	0.00	
	その他 ボトル	軟質	0.46	
		硬質	3.12	
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.00
			褐色（有色）	0.00
	袋	レジ袋（未使用）		0.00
		その他（未使用）		2.03
	バック、カップ容器類			0.09
	フィルム状の容器包装			0.05
	汚れのあるプラスチック製容器包装			0.54
	外袋として使用されている袋			0.91
			7.20	
容器包装以外	軟質		1.03	
	硬質		12.02	
	その他（危険物、電池内蔵品、プ ラ単一ではないもの等）		7.05	
			20.10	
（資源化可能なプラスチック類）			5.75	
合計			27.30	

表 2.1-8② プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

区分				割合（％）
容器包装	ペット ボトル	軟質		0.00
		硬質		0.00
	その他 ボトル	軟質		1.67
		硬質		11.42
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.00
			褐色（有色）	0.00
	袋	レジ袋（未使用）		0.00
		その他（未使用）		7.44
	バック、カップ容器類			0.33
	フィルム状の容器包装			0.20
	汚れのあるプラスチック製容器包装			1.99
	外袋として使用されている袋			3.32
			26.39	
容器包装以外	軟質		3.77	
	硬質		44.02	
	その他（危険物、電池内蔵品、プ ラ単一ではないもの等）		25.83	
			73.61	
（資源化可能なプラスチック類）				21.06
合計				100.00

：資源化可能部分

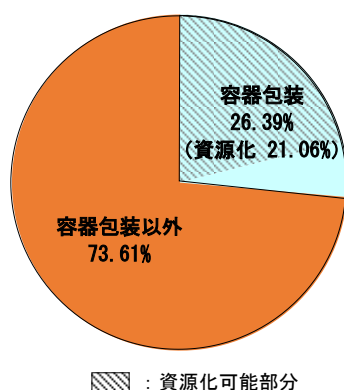


図 2.1-11 プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

プラスチック製容器包装全体に占める各種プラスチック類の組成は、図 2.1-12 に示すとおりである。

その他ボトルが 49.64%と最も多く、次いで汚れていないレジ袋、食品の袋などを含む「袋」が 28.21%、資源化できない外袋として使用されている袋が 12.59%、資源化できない汚れのあるプラスチック製容器包装が 7.55%、パック、カップ容器類が 1.25%、フィルム状の容器包装が 0.76%であった。

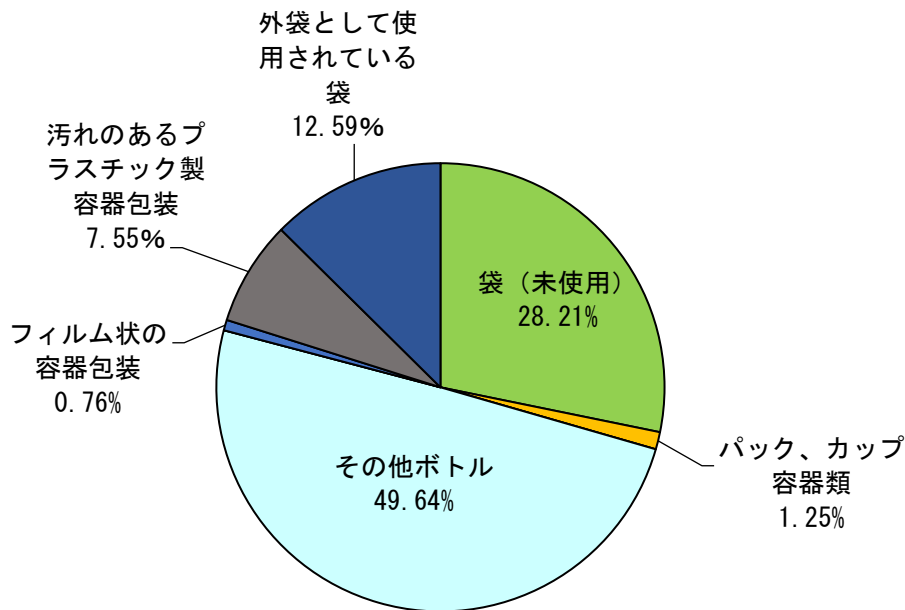


図 2.1-12 プラスチック製容器包装の組成

容器包装以外のプラスチックでは、軟質は、ビニール紐付き袋、靴の中敷き、硬質は、手桶、ペン立て、水槽用の置物、文房具、マジックペン、CD (ケース)、歯ブラシ、食器類、保存容器類、ブラシ、玩具、髪染めブラシ、その他 (危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等) は、角型ハンガー、ばね秤、髭剃りの替え刃、壁スイッチ、眼鏡、ハンガー、眼鏡ケース、使い捨てライター、クリップ、玩具、蛇口のハンドル、放水銃の先端、髪留め、洗濯ばさみ、化粧道具、剃刀、ペンの排出が認められた。

特定プラスチック類の排出は認められなかった。

③ 鉄類

排出量全体に占める各種鉄類の組成は表 2.1-9①に示すとおりである。

資源として回収可能な鉄類は認められなかった。

次に、鉄類全体に占める各種鉄類の組成は表 2.1-9②及び図 2.1-13 に示す通りである。

注) 飲料用ボトルのふたは不燃ごみとして排出する。

表 2.1-9① 鉄類の組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	0.82
	スプレー缶	0.00
	その他	0.00
		0.82
容器包装以外		6.35
(資源化可能な鉄類)		0.00
合計		7.17

表 2.1-9② 鉄類の組成 (鉄類全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	11.39
	スプレー缶	0.00
	その他	0.00
		11.39
容器包装以外		88.61
(資源化可能な鉄類)		0.00
合計		100.00

 : 資源化可能部分

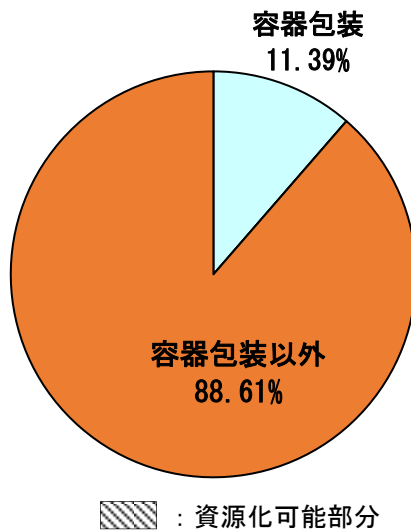


図 2.1-13 鉄類の組成 (鉄類全体)

④ アルミ

排出量全体に占める各種アルミの組成は表 2.1-10①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 0.82%であった。

次に、アルミ全体に占める各種アルミの組成は表 2.1-10②及び図 2.1-14 に示すとおりである。

注) アルミホイルは「可燃ごみ」として排出可能である。

飲料用ボトルのふたは「不燃ごみ」として排出する。

表 2.1-10① アルミの組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	0.45
	スプレー缶	0.82
	その他	0.00
		1.27
容器包装以外		4.26
(資源化可能なアルミ)		0.82
合計		5.53

表 2.1-10② アルミの組成 (アルミ全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	8.20
	スプレー缶	14.75
	その他	0.00
		22.95
容器包装以外		77.05
(資源化可能なアルミ)		14.75
合計		100.00

：資源化可能部分

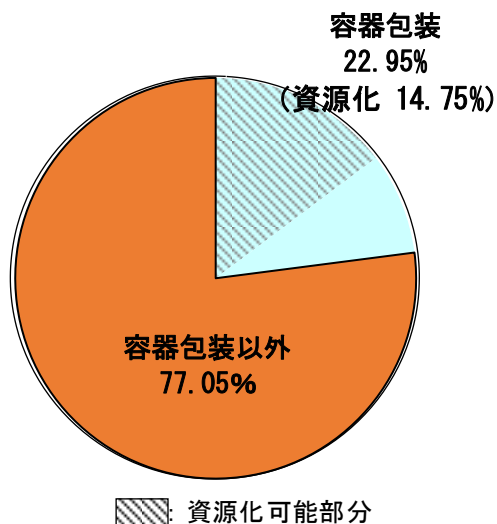


図 2.1-14 アルミの組成 (アルミ全体)

2.2 調査2回目

1) 家庭系可燃ごみ

(1) 物理組成概要

中分類別でみた家庭系可燃ごみの物理組成概要は表 2.2-1 及び図 2.2-1 に示すとおりである。

食品廃棄物・廃油類（44.68%）が最も多く、次いで紙類（24.57%）、プラスチック類（14.34%）、布類（8.57%）、その他可燃（6.70%）、剪定枝・その他（0.51%）、ゴム・皮革（0.04%）であった。

不燃物では、アルミ^注、その他不燃、鉄類が、排出できないものとして医療系ごみが認められた。

注）アルミホイルは「可燃ごみ」として排出可能である。

表 2.2-1 家庭系可燃ごみの物理組成

中分類	割合 (%)
紙類	24.57
布類	8.57
プラスチック類	14.34
ゴム・皮革	0.04
剪定枝・その他	0.51
食品廃棄物・廃油類	44.68
陶磁器	0.00
鉄類	0.01
アルミ	0.15
その他金属	0.00
小型家電	0.00
ガラス類	0.00
有害ごみ	0.00
その他不燃	0.34
医療ごみ	0.09
その他可燃	6.70
処理困難物	0.00
合計	100.00

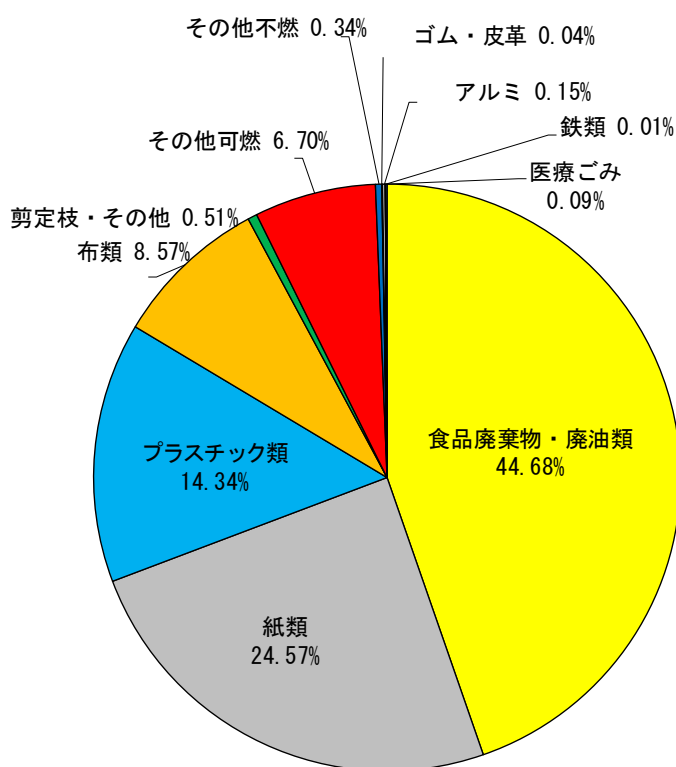


図 2.2-1 家庭系可燃ごみの物理組成

(2) 主な分別品目の排出割合

① 紙類

紙類の組成は表 2.2-2①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装（飲料用紙パック（アルミ付きを除く）、ダンボール、包装紙、紙容器、その他）の混入割合は 5.66%であった。

次に、紙類全体に占める各種紙類の組成は、表 2.2-2②及び図 2.2-2 に示す。

紙類全体に占める資源として回収可能な紙類の混入割合は 38.37%であった。

表 2.2-2① 紙類の組成

区 分			割合（％）
容器包装	飲料用紙パック	アルミ無し	1.00
		アルミ付き	0.57
	ダンボール		0.37
	包装紙		0.14
	紙容器		3.29
	その他		0.86
			6.23
容器包装以外	新聞・折込		0.43
	雑誌・パンフレット		0.91
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		2.43
	その他（紙くず等）		14.57
			18.34
（資源化可能な紙類）			9.43
合 計			24.57

表 2.2-2② 紙類の組成（紙類全体）

区 分			割合（％）
容器包装	飲料用紙 パック	アルミ無し	4.07
		アルミ付き	2.33
	ダンボール		1.51
	包装紙		0.56
	紙容器		13.40
	その他		3.49
			25.36
容器包装 以外	新聞・折込		1.74
	雑誌・パンフレット		3.72
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		9.88
	その他（紙くず等）		59.30
			74.64
（資源化可能な紙類）			38.37
合 計			100.00

：資源化可能部分

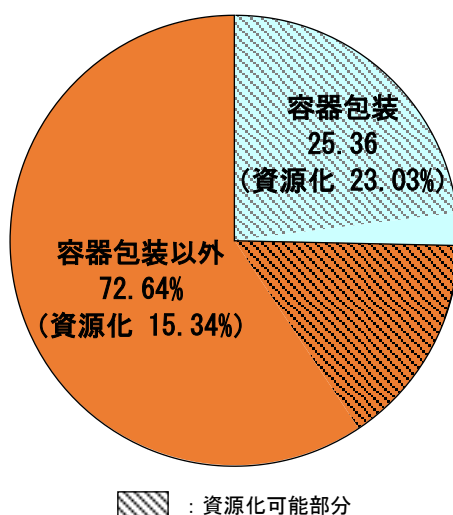


図 2.2-2 紙類の組成（紙類全体）

紙製容器包装全体に占める各種紙類の組成は、図 2.2-3 に示すとおりである。

食料品や日用品の紙箱などの「紙容器」が 52.84%で紙製容器包装の大部分を占めており、次いで、牛乳パックなどの「飲料用紙パック」が 25.24%、その他が 13.76%、ダンボールが 5.95%、包装紙が 2.21%であった。

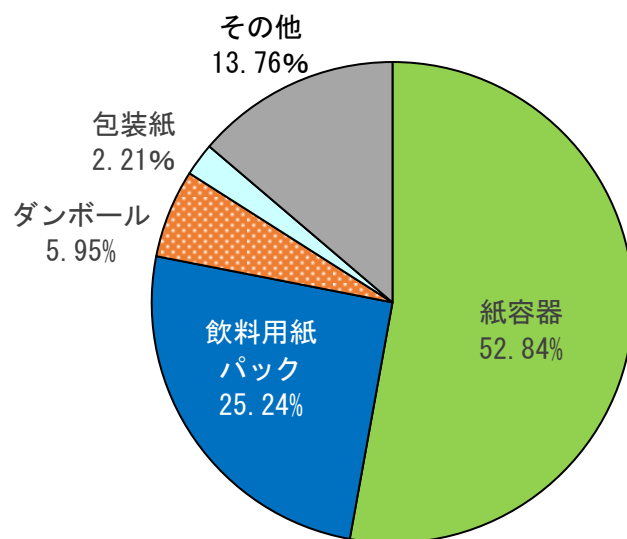


図 2.2-3 紙製容器包装の組成

② プラスチック類

排出量全体に占める各種プラスチック類の組成は表 2. 2-3①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 8. 14%であった。

なお、現在、プラスチック製容器包装以外のプラスチック類の軟質は可燃ごみ、硬質やその他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）は不燃ごみとして収集されている。

次に、プラスチック類全体に占める各種プラスチック類の組成を表 2. 2-3②及び図 2. 2-4 に示す。

プラスチック類全体に占める資源として回収可能なプラスチック類の混入割合は 56. 77%であった。

表 2. 2-3① プラスチック類の組成

区分			割合（％）	
容器包装	ペット ボトル	軟質	0.00	
		硬質	0.23	
	その他 ボトル	軟質	0.34	
		硬質	0.34	
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.23
			褐色（有色）	0.43
	袋	レジ袋	0.71	
		その他	2.86	
	パック、カップ容器類		1.57	
	フィルム状の容器包装		1.43	
	汚れのあるプラスチック製容器包装		1.28	
	外袋として使用されている袋		0.86	
		10.28		
容器包装以外	軟質	2.09		
	硬質	0.50		
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ 単一ではないもの等）		1.47	
			4.06	
（資源化可能なプラスチック類）			8.14	
合計			14.34	

表 2. 2-3② プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

区分			割合（％）	
容器包装	ペット ボトル	軟質	0.00	
		硬質	1.59	
	その他 ボトル	軟質	2.39	
		硬質	2.39	
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	1.59
			褐色（有色）	2.99
	袋	レジ袋	4.98	
		その他	19.92	
	バック、カップ容器類		10.96	
	フィルム状の容器包装		9.96	
	汚れのあるプラスチック製容器包装		8.92	
	外袋として使用されている袋		6.02	
		71.71		
容器包装以外	軟質	14.54		
	硬質	3.49		
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ 単一ではないもの等）		10.26	
			28.29	
（資源化可能なプラスチック類）			56.77	
合計			100.00	

：資源化可能部分

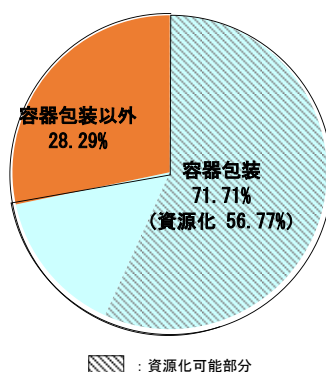


図 2. 2-4 プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

プラスチック製容器包装全体に占める各種プラスチック類の組成は、図 2.2-5 に示すとおりである。

汚れていないレジ袋、食品の袋などを含む「袋」が最も多く 34.72%、次いでパック、カップ容器類 15.28%、フィルム状の容器包装が 13.83%、汚れのある資源化できないプラスチック製容器包装が 12.44%、外袋として使用されている袋が 8.39%、その他ボトルが 6.67%、トレイが 6.39%、ペットボトルが 2.22%であった。

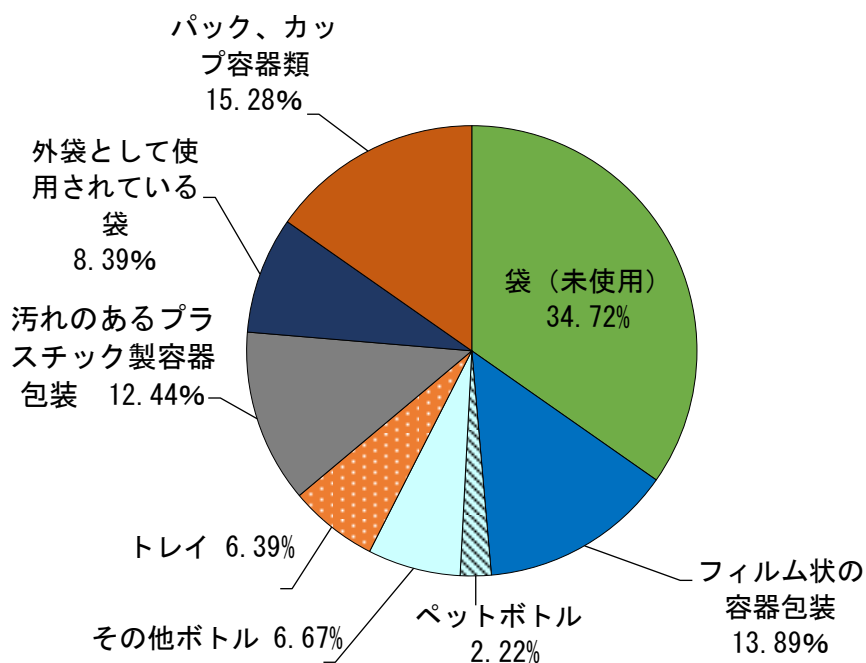


図 2.2-5 プラスチック製容器包装の組成

容器包装以外のプラスチックでは、軟質は、PP バンド、養生テープ、スポンジ、袋、不織布マスク、硬質は、ボトル、部品の一部、止め具、歯ブラシ（特定プラでないもの）、ストロー（特定プラではないもの）、糸ようじ、カード、その他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）は、バインダー、シリコンの排出が認められた。

特定プラスチック使用製品は、スプーン、ストローの排出が認められた。

③ 鉄類

排出量全体に占める各種鉄類の組成は表 2.2-4①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の排出は認められなかった。

次に、鉄類全体に占める各種鉄類の組成は表 2.2-4②及び図 2.2-6 に示す通りである。

注) 飲料用ボトルのふたは不燃ごみとして排出する。

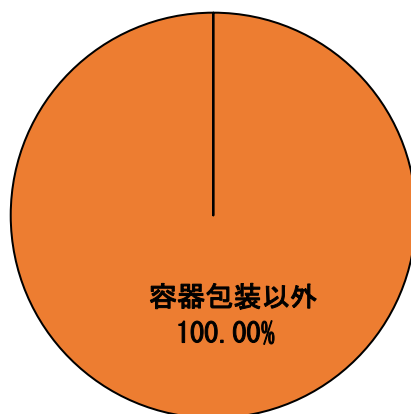
表 2.2-4① 鉄類の組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	0.00
	スプレー缶	0.00
	その他	0.00
		0.00
容器包装以外		0.01
(資源化可能な鉄類)		0.00
合計		0.01

表 2.2-4② 鉄類の組成 (鉄類全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	0.00
	スプレー缶	0.00
	その他	0.00
		0.00
容器包装以外		100.00
(資源化可能な鉄類)		0.00
合計		100.00

 : 資源化可能部分



 : 資源化可能部分

図 2.2-6 鉄類の組成 (鉄類全体)

④ アルミ

排出量全体に占める各種アルミの組成は表 2. 2-5①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 0. 01%であり、その他の排出が認められた。資源として回収できない容器包装以外の混入割合は 0. 14%であり、排出物としてアルミホイル^{注)}の排出が認められた。

次に、アルミ全体に占める各種アルミの組成は表 2. 2-5②及び図 2. 2-7 に示すとおりである。

注) アルミホイルは「可燃ごみ」として排出可能である。

飲料用ボトルのふたは「不燃ごみ」として排出する。

表 2. 2-5① アルミの組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0. 00
	栓・キャップ	0. 00
	スプレー缶	0. 00
	その他	0. 01
		0. 01
容器包装以外		0. 14
(資源化可能なアルミ)		0. 01
合計		0. 15

表 2. 2-5② アルミの組成 (アルミ全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0. 00
	栓・キャップ	0. 00
	スプレー缶	0. 00
	その他	3. 92
		3. 92
容器包装以外		96. 08
(資源化可能なアルミ)		3. 92
合計		100. 00

：資源化可能部分

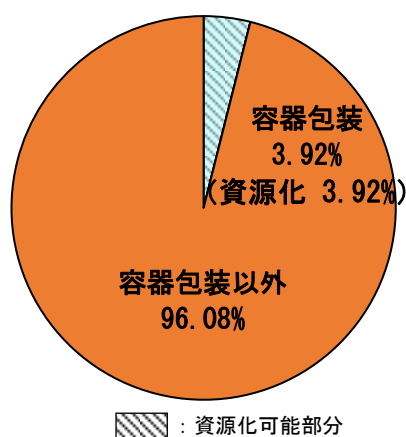


図 2. 2-7 アルミの組成 (アルミ全体)

⑤ 食品廃棄物

ア. 食品廃棄物の排出状況

食品廃棄物の排出状況は表 2.2-6①に示すとおりであり、排出量全体に占める食品廃棄物の排出割合は 44.68%であった。

また、食品廃棄物中では調理くず等（過剰除去含む）が 35.85%で最も排出割合が多く、次いで直接廃棄が 5.40%で、食べ残しが 3.43%であった。

表 2.2-6① 食品廃棄物の排出割合

区分		排出量 (kg)	割合 (%)
家庭系可燃ごみ		35.01	
食品廃棄物		15.64	44.68
	直接廃棄	1.89	5.40
	食べ残し	1.20	3.43
	調理くず等	12.55	35.85
	過剰除去	0.35	1.00
(可食部分)		3.44	9.83

 : 可食部分

食品廃棄物全体に占める排出割合は、表 2.2-6②及び図 2.2-8 に示すとおりである。

調理くず等（内過剰除去:2.24%）が 80.23%、直接廃棄が 12.10%、食べ残しが 7.67%であった。

以上のことから、食品廃棄物中の可食部分は 22.01%（直接廃棄：12.10%、食べ残し：7.67%、過剰除去：2.24%）を占めていた。

表 2.2-6② 食品廃棄物の排出割合（食品廃棄物全体）

区分		排出量（kg）	割合（％）
食品廃棄物		15.64	
	直接廃棄	1.89	12.10
	食べ残し	1.20	7.67
	調理くず等	12.55	80.23
	過剰除去	0.35	2.24
（可食部分）		3.44	22.01

：可食部分

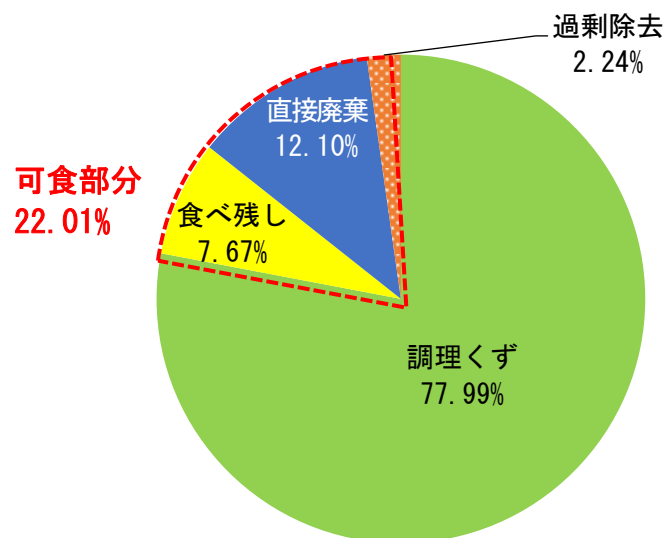


図 2.2-8 食品廃棄物の排出割合（食品廃棄物全体）

イ. 過剰除去

調理くず等に含まれる過剰除去については過剰除去自体の基準が曖昧であり、調査主体により数値が大きく変動する可能性がある。

参考値として環境省が公表している「食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査報告書」で公表している割合に基づき算定した過剰除去の割合は 2.05%であった。

推計式)

家庭系ごみに占める過剰除去の割合（％）

＝環境省公表割合×家庭系ごみに占める食品廃棄物の割合/100

＝4.6×44.68/100

≒2.05

（出典：「家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロスの調査マニュアル」 神奈川県）

ウ. 直接廃棄

日付の確認できる食品の多くは消費期限、賞味期限外であったが、中には賞味期限内にも関わらず廃棄されていた食品の排出も認められた。なお、野菜や果物の消費期限は「記載なし」と表記している。



ごはんパック	賞味期限	24.05.--
煎茶パック	賞味期限	24.06.30
煎茶パック	賞味期限	24.10.30
納豆（3パック）	賞味期限	24.12.17
納豆（3パック）	賞味期限	24.12.24
コーヒーパック	賞味期限	25.11.14
コーヒーパック	賞味期限	25.11.17
ほうれん草	—	—
みかん	—	—
肉団子	—	—
ソース	—	—
緑茶パック	—	—
梅こぶ茶	—	—
コーヒーシュガー	—	—
コーヒーフレッシュ	—	—
生わさび	賞味期限	23.07.02
あめ（大袋）	賞味期限	25.10.--
薄焼きいわし（大袋）	賞味期限	25.04.14

2) 家庭系不燃ごみ

(1) 物理組成概要

中分類別でみた家庭系不燃ごみの物理組成概要は表 2.2-7 及び図 2.2-9 に示すとおりである。

プラスチック類 (42.33%) が最も多く、次いで陶磁器 (18.61%)、ゴム・皮革 (11.30%)、ガラス類 (10.81%)、鉄類 (3.91%)、アルミ (0.77%) であった。

可燃物では、紙類、その他可燃が認められた。

表 2.2-7 家庭系不燃ごみの物理組成

中分類	割合 (%)
紙類	0.21
布類	0.00
プラスチック類	42.33
ゴム・皮革	11.30
剪定枝・その他	0.00
食品廃棄物・廃油類	0.00
陶磁器	18.61
鉄類	3.91
アルミ	0.77
その他金属	0.00
小型家電	4.67
ガラス類	10.81
有害ごみ	0.40
その他不燃	5.98
医療ごみ	0.00
その他可燃	1.01
処理困難物	0.00
合計	100.00

※湿ベース重量

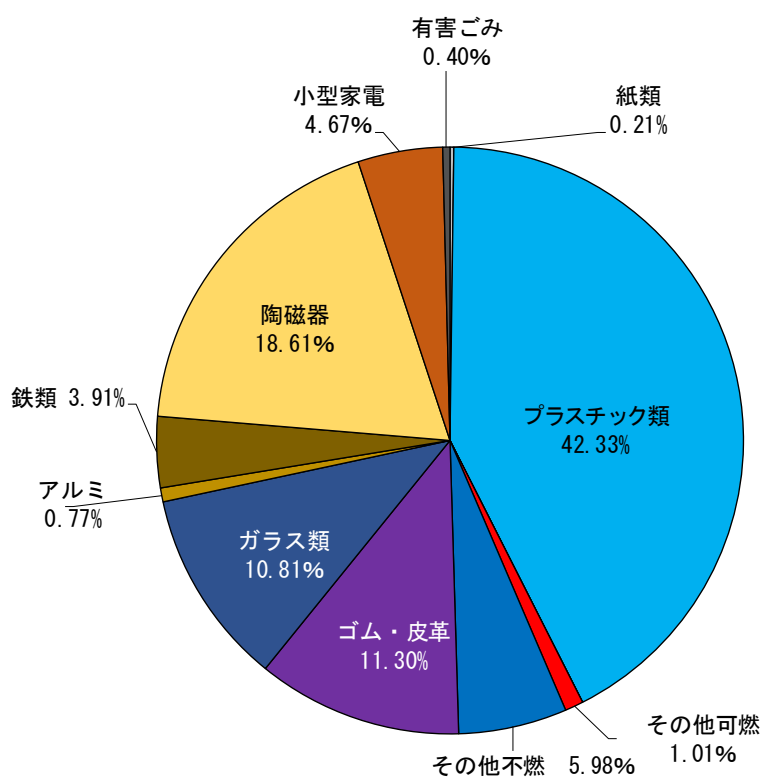


図 2.2-9 家庭系不燃ごみの物理組成

(2) 主な分別品目の排出割合

① 紙類

紙類の組成は表 2.2-8①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装（飲料用紙パック（アルミ付きを除く）、ダンボール、包装紙、紙容器、その他）の排出は認められなかった。

次に、紙類全体に占める各種紙類の組成は、表 2.2-8②及び図 2.2-10 に示す。

紙類全体に占める資源として回収可能な紙類の混入割合は 70.45%であった。

表 2.2-8① 紙類の組成

区分			割合（％）
容器包装	飲料用紙 パック	アルミ無し	0.00
		アルミ付き	0.00
	ダンボール		0.00
	包装紙		0.00
	紙容器		0.00
	その他		0.00
			0.00
容器包装 以外	新聞・折込		0.00
	雑誌・パンフレット		0.00
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		0.15
	その他（紙くず等）		0.06
			0.21
（資源化可能な紙類）			0.15
合計			0.21

表 2.2-8② 紙類の組成（紙類全体）

区分			割合（％）
容器包装	飲料用紙 パック	アルミ無し	0.00
		アルミ付き	0.00
	ダンボール		0.00
	包装紙		0.00
	紙容器		0.00
	その他		0.00
			0.00
容器包装 以外	新聞・折込		0.00
	雑誌・パンフレット		0.00
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		70.45
	その他（紙くず等）		29.55
			100.00
（資源化可能な紙類）			70.45
合計			100.00

：資源化可能部分

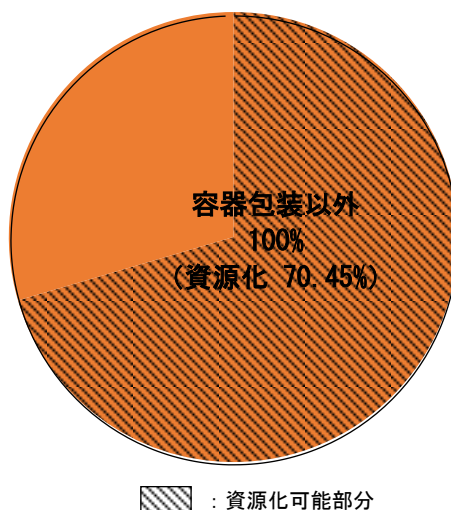


図 2.2-10 紙類の組成（紙類全体）

② プラスチック類

排出量全体に占める各種プラスチック類の組成は表 2.2-9①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 1.81%であった。

なお、現在、プラスチック製容器包装以外のプラスチック類の軟質は可燃ごみ、硬質やその他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）は不燃ごみとして収集されている。

次に、プラスチック類全体に占める各種プラスチック類の組成を表 2.2-8②及び図 2.2-11 に示す。

プラスチック類全体に占める資源として回収可能なプラスチック類の混入割合は 4.27%であった。

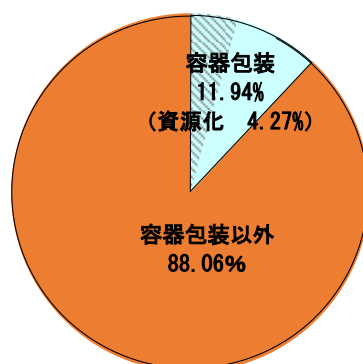
表 2.2-9① プラスチック類の組成

区 分				割合（％）
容器包装	ペット ボトル	軟質		0.00
		硬質		0.29
	その他 ボトル	軟質		1.42
		硬質		0.00
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.00
			褐色（有色）	0.00
	袋	レジ袋（未使用）		0.00
		その他（未使用）		0.00
	パック、カップ容器類			0.09
	フィルム状の容器包装			0.01
	汚れのあるプラスチック製容器包装			2.23
	外袋として使用されている袋			1.02
			5.06	
容器包装以外	軟質		2.40	
	硬質		26.80	
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ 単一ではないもの等）		8.07	
				37.27
	（資源化可能なプラスチック類）			1.81
合 計				42.33

：資源化可能部分

表 2.2-9② プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

区分				割合（％）
容器包装	ペットボトル	軟質		0.00
		硬質		0.68
	その他ボトル	軟質		3.36
		硬質		0.00
	トレイ	発泡スチロール	白色	0.00
			褐色（有色）	0.00
	袋	レジ袋（未使用）		0.00
		その他（未使用）		0.00
	パック、カップ容器類			0.20
	フィルム状の容器包装			0.02
	汚れのあるプラスチック製容器包装			5.27
	外袋として使用されている袋			2.41
			11.94	
容器包装以外	軟質		5.67	
	硬質		63.31	
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）		19.07	
			88.06	
	（資源化可能なプラスチック類）			4.27
合計				100.00



：資源化可能部分

図 2.2-11 プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

プラスチック製容器包装全体に占める各種プラスチック類の組成は、図 2.2-12 に示すとおりである。

汚れのある資源化できないプラスチック製容器包装が 44.09%と最も多く、次いでその他ボトルが 28.14%、外袋として使用されている袋が 20.17%、ペットボトルが 5.72%、パック、カップ容器類が 1.69%、フィルム状の容器包装が 0.19%であった。

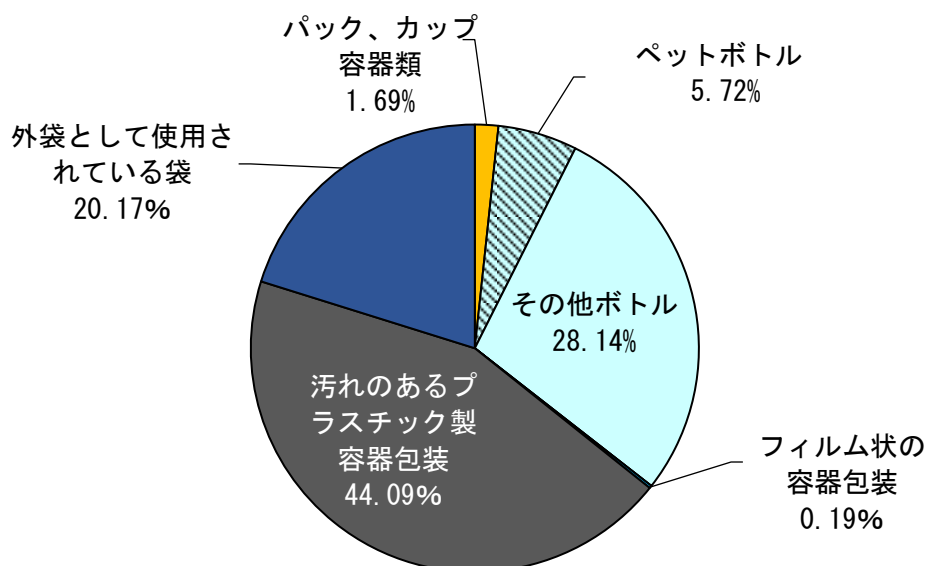


図 2.2-12 プラスチック製容器包装の組成

容器包装以外のプラスチックでは、クリアファイル、シャワー用キャップ（特定プラでないもの）、コーナークッション、物入、PP バンド、カード入れ、ファイル入れ、硬質は、食器・カップ類、ざる、かご、くし、ブラシ、毛抜き、歯ブラシ（特定プラでないもの）、ボトル、クリップ、ペン、壁フック、フック、スポンジ、掃除ブラシ、タオル掛け、おぼん、平ケース、まな板、水槽セット、哺乳瓶洗浄セット、タオル掛け、スマホカバー、玩具、こりほぐし、健康足ふみ、その他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）は、空気入れ、家具の足、家具の足ローラー、洗濯ばさみ、玩具、クリスマスツリー、スプリングメジャー、ペン、コンパス、インクカートリッジ、ライター、包丁研ぎ、サングラス、ボトル、キーホルダー、ハンドライト、剃刀（替え刃）の排出が認められた。

特定プラスチック類はハンガーの排出が認められた。

③ 鉄類

排出量全体に占める各種鉄類の組成は表 2.2-10①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 0.40%であった。

次に、鉄類全体に占める各種鉄類の組成は表 2.2-10②及び図 2.2-13 に示す通りである。

注) 飲料用ボトルのふたは不燃ごみとして排出する。

表 2.2-10① 鉄類の組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.10
	栓・キャップ ^{注)}	0.38
	スプレー缶	0.00
	その他	0.30
		0.78
容器包装以外		3.13
(資源化可能な鉄類)		0.40
合計		3.91

表 2.2-10② 鉄類の組成 (鉄類全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	2.55
	栓・キャップ ^{注)}	9.71
	スプレー缶	0.00
	その他	7.65
		19.90
容器包装以外		80.10
(資源化可能な鉄類)		10.19
合計		100.00

 : 資源化可能部分

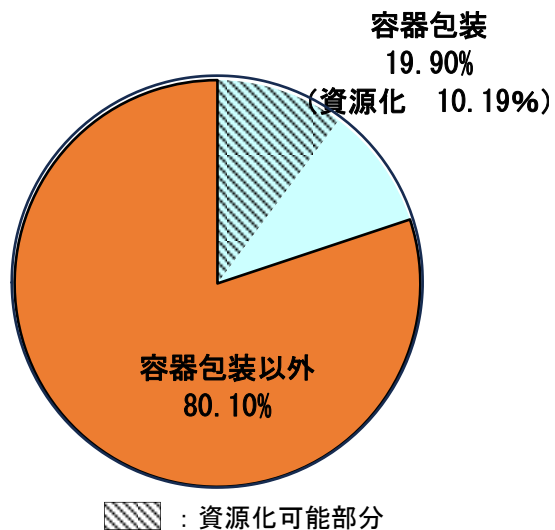


図 2.2-13 鉄類の組成 (鉄類全体)

④ アルミ

排出量全体に占める各種アルミの組成は表 2.2-11①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 0.24%であった。

次に、アルミ全体に占める各種アルミの組成は表 2.2-10②及び図 2.2-13 に示すとおりである。

注) アルミホイルは「可燃ごみ」として排出可能である。

飲料用ボトルのふたは不燃ごみとして排出する。

表 2.2-11① アルミの組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ	0.24
	スプレー缶	0.24
	その他	0.00
		0.47
容器包装以外		0.29
(資源化可能なアルミ)		0.24
合計		0.77

表 2.2-11② アルミの組成 (アルミ全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ	30.86
	スプレー缶	30.86
	その他	0.00
		61.73
容器包装以外		38.27
(資源化可能なアルミ)		30.86
合計		100.00

 : 資源化可能部分

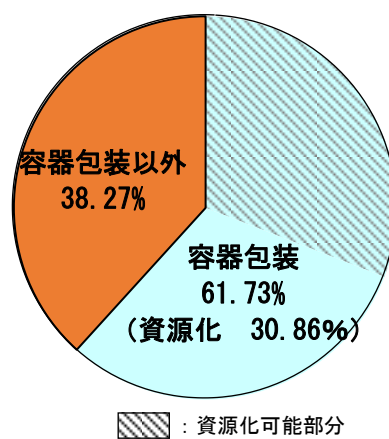


図 2.2-14 アルミの組成 (アルミ全体)

2.3 調査全体（調査１回目・２回目の平均）

１）家庭系可燃ごみ

（１）物理組成概要

中分類別でみた家庭系可燃ごみの物理組成概要は表 2.3-1 及び図 2.3-1 に示すとおりである。
食品廃棄物・廃油類（43.64%）が最も多く、次いで紙類（22.64%）、その他可燃（13.55%）、プラスチック類（11.52%）、布類（5.75%）、剪定枝・その他（2.01%）、ゴム・皮革（0.16%）、であり、また、不燃物は、その他不燃（0.51%）、アルミ^注（0.17%）鉄類（0.01%）が、排出できないごみとして医療ごみ（0.04%）が認められた。

注）アルミホイルは「可燃ごみ」として排出可能である。

表 2.3-1 家庭系可燃ごみの物理組成

中分類	割合 (%)
紙類	22.64
布類	5.75
プラスチック類	11.52
ゴム・皮革	0.16
剪定枝・その他	2.01
食品廃棄物・廃油類	43.64
陶磁器	0.00
鉄類	0.01
アルミ	0.17
その他金属	0.00
小型家電	0.00
ガラス類	0.00
有害ごみ	0.00
その他不燃	0.51
医療ごみ	0.04
その他可燃	13.55
処理困難物	0.00
合計	100.00

※湿ベース重量

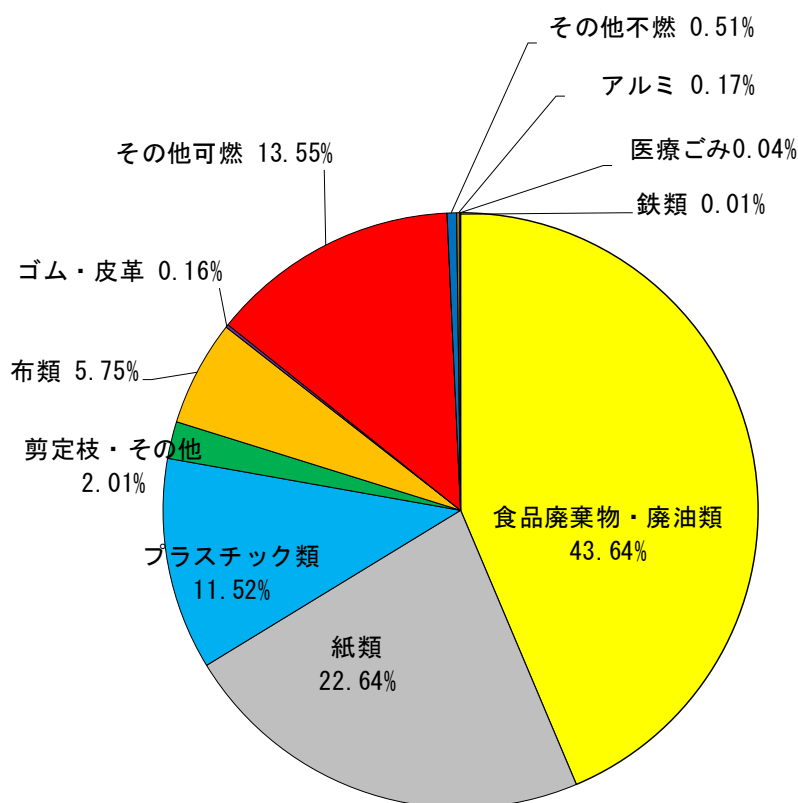


図 2.3-1 家庭系可燃ごみの物理組成

(2) 主な分別品目の排出割合

① 紙類

紙類の組成は表 2.3-2①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装（飲料用紙パック（アルミ付きを除く）、ダンボール、包装紙、紙容器）の混入割合は6.11%であった。

次に、紙類全体に占める各種紙類の組成は、表 2.3-2②及び図 2.3-2 に示す。

紙類全体に占める資源として回収可能な紙類の混入割合は41.04%であった。

表 2.3-2① 紙類の組成

区分			割合 (%)
容器包装	飲料用紙パック	アルミ無し	0.92
		アルミ付き	0.70
	ダンボール		0.19
	包装紙		0.14
	紙容器		3.80
	その他		1.05
			6.81
容器包装以外	新聞・折込		0.77
	雑誌・パンフレット		0.50
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		1.91
	その他（紙くず等）		12.64
		15.83	
（資源化可能な紙類）			9.29
合計			22.64

表 2.3-2② 紙類の組成（紙類全体）

区 分			割合（％）
容器包装	飲料用紙 パック	アルミ無し	4.05
		アルミ付き	3.11
	ダンボール		0.85
	包装紙		0.61
	紙容器		16.80
	その他		4.66
			30.08
容器包装 以外	新聞・折込		3.41
	雑誌・パンフレット		2.22
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		8.44
	その他（紙くず等）		55.85
		69.92	
（資源化可能な紙類）			41.04
合 計			100.00

：資源化可能部分

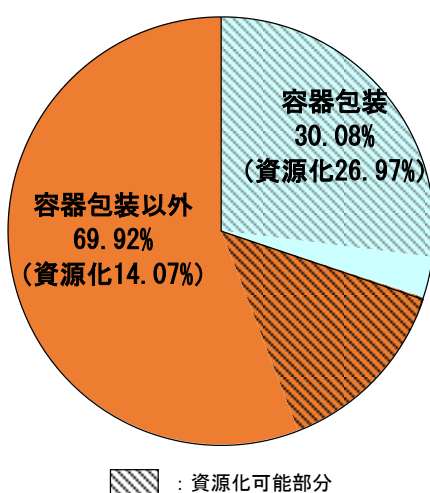


図 2.3-2 紙類の組成（紙類全体）

紙製容器包装全体に占める各種紙類の組成は、図 2.3-3 に示すとおりである。

食料品や日用品の紙箱などの「紙容器」55.85%が紙製容器包装と最も多く、次いで牛乳パックなどの「飲料用紙パック」が23.80%、その他が15.49%、ダンボールが2.83%、包装紙が2.03%であった。

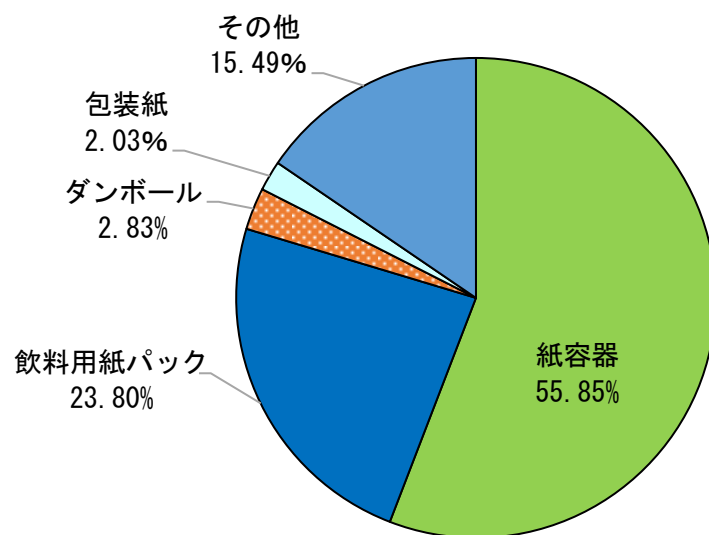


図 2.3-3 紙製容器包装の組成

② プラスチック類

排出量全体に占める各種プラスチック類の組成は表 2.3-3①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 5.15%であった。

なお、現在、プラスチック製容器包装以外のプラスチック類の軟質は可燃ごみ、硬質やその他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）は不燃ごみとして収集されている。

次に、プラスチック類全体に占める各種プラスチック類の組成を表 2.3-3②及び図 2.3-4 に示す。

プラスチック類全体に占める資源として回収可能なプラスチック類の混入割合は 44.73%であった。

表 2.3-3① プラスチック類の組成

区分			割合（％）	
容器包装	ペット ボトル	軟質	0.00	
		硬質	0.11	
	その他 ボトル	軟質	0.23	
		硬質	0.37	
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.11
			褐色（有色）	0.21
	袋	レジ袋		0.36
		その他		1.99
	バック、カップ容器類			0.99
	フィルム状の容器包装			0.78
	汚れのあるプラスチック製容器包装			2.38
	外袋として使用されている袋			1.61
			9.14	
容器包装以外	軟質		1.18	
	硬質		0.40	
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ 単一ではないもの等）		0.80	
				2.38
（資源化可能なプラスチック類）			5.15	
合計			11.52	

表 2.3-3② プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

区分			割合（％）	
容器包装	ペット ボトル	軟質	0.00	
		硬質	0.99	
	その他 ボトル	軟質	2.01	
		硬質	3.18	
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.99
			褐色（有色）	1.86
	袋	レジ袋		3.10
		その他		17.23
	バック、カップ容器類			8.57
	フィルム状の容器包装			6.80
	汚れのあるプラスチック製容器包装			20.66
	外袋として使用されている袋			13.96
			79.35	
容器包装以外	軟質		10.25	
	硬質		3.46	
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ 単一ではないもの等）		6.94	
			20.65	
（資源化可能なプラスチック類）			44.73	
合計			100.00	

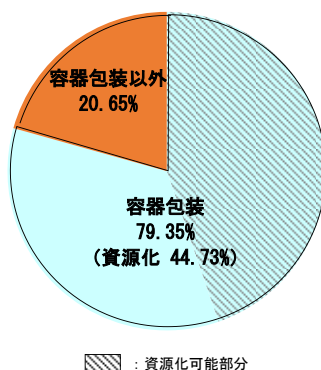


図 2.3-4 プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

プラスチック製容器包装全体に占める各種プラスチック類の組成は、図 2.3-5 に示すとおりである。

汚れのある資源化できないプラスチック製容器包装が最も多く 26.04%、次いで汚れていないレジ袋、食品の袋などを含む「袋」25.62%、外袋として使用されている袋が 17.59%、パック、カップ容器類 10.80%、フィルム状の容器包装が 8.57%、その他ボトルが 6.54%、トレイが 3.59%、ペットボトルが 1.25%であった。

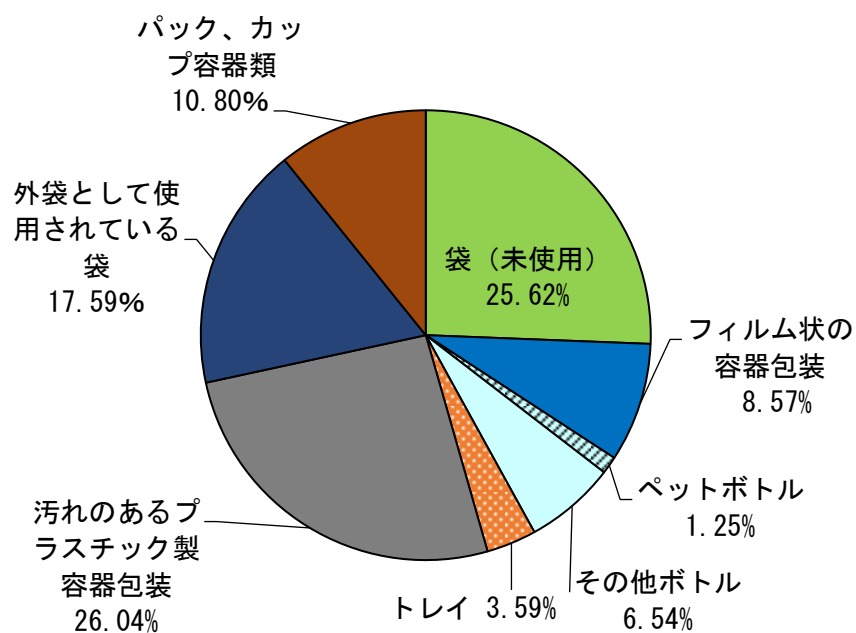


図 2.3-5 プラスチック製容器包装の組成

③ 鉄類

排出量全体に占める各種鉄類の組成は表 2.3-4①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の排出は認められなかった。

次に、鉄類全体に占める各種鉄類の組成は表 2.3-4②及び図 2.3-6 に示すとおりである。

注) 飲料用ボトルのふたは不燃ごみとして排出する。

表 2.3-4① 鉄類の組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	0.00
	スプレー缶	0.00
	その他	0.00
		0.00
容器包装以外		0.01
(資源化可能な鉄類)		0.00
合計		0.01

表 2.3-4② 鉄類の組成 (鉄類全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	0.00
	スプレー缶	0.00
	その他	0.00
		0.00
容器包装以外		100.00
(資源化可能な鉄類)		0.00
合計		100.00

 : 資源化可能部分

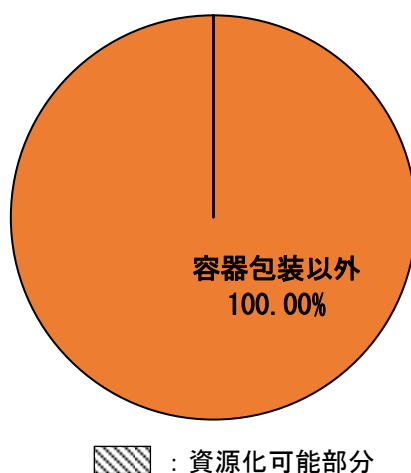


図 2.3-6 鉄類の組成 (鉄類全体)

④ アルミ

排出量全体に占める各種アルミの組成は表 2.3-5①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の排出は認められなかった。

次に、アルミ全体に占める各種アルミの組成は表 2.3-5②及び図 2.3-7 に示すとおりである。

注) アルミホイルは「可燃ごみ」として排出可能である。

飲料用ボトルのふたは不燃ごみとして排出する。

表 2.3-5① アルミの組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食用缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	0.08
	スプレー缶	0.00
	その他	0.00
		0.08
容器包装以外		0.09
(資源化可能なアルミ)		0.00
合計		0.16

表 2.3-5② アルミの組成 (アルミ全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食用缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	46.50
	スプレー缶	0.00
	その他	0.00
		46.50
容器包装以外		53.50
(資源化可能なアルミ)		0.00
合計		100.00

 : 資源化可能部分

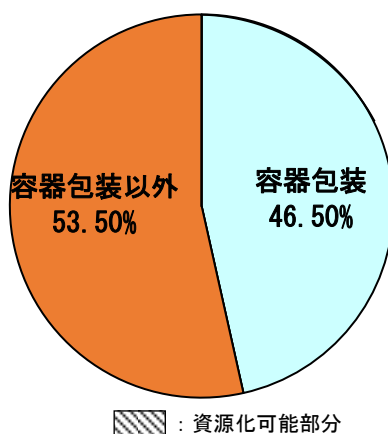


図 2.3-7 アルミの組成 (アルミ全体)

⑤ 食品廃棄物

ア. 食品廃棄物の排出状況

食品廃棄物の排出状況は表 2.3-6①に示すとおりであり、排出量全体に占める食品廃棄物の排出割合は 43.64%であった。

食品廃棄物中では過剰除去を含む調理くず等が 31.11%で最も排出割合が多く、次いで直接廃棄が 6.97%、食べ残しが 5.56%であった。

この結果に基づき、寒川町の 1 人 1 日当たりの食品廃棄物の排出量を推計した。

寒川町の令和 4 年度の家庭系可燃ごみ排出量は 6,483 t^{注)}、令和 4 年 10 月 1 日現在の人口は 49,133 人であり、1 人 1 日当たりの家庭系可燃ごみ排出量は 361.5 g となる。従って、1 人 1 日当たりの食品廃棄物の排出量は図 2.3-8 に示すとおり 157.8 g であり、内訳は調理くず 104.6 g、直接廃棄 25.4 g、食べ残し 20.8 g、過剰除去 4.3 g であった（可食部分 50.5 g）。

食べ残しや調理の仕方の工夫により 1 人 1 日当たり 50.5 g の排出抑制が期待できる。

注) 家庭系可燃ごみ：令和 4 年度一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）に基づく生活系可燃ごみ収集分

表 2.3-6① 食品廃棄物の排出割合

区分		排出量 (kg)	割合 (%)
家庭系可燃ごみ		35.46	
食品廃棄物		15.47	43.64
	直接廃棄	2.47	6.97
	食べ残し	1.97	5.56
	調理くず等	11.03	31.11
	過剰除去	0.42	1.20
(可食部分)		4.86	13.73

□ : 可食部分

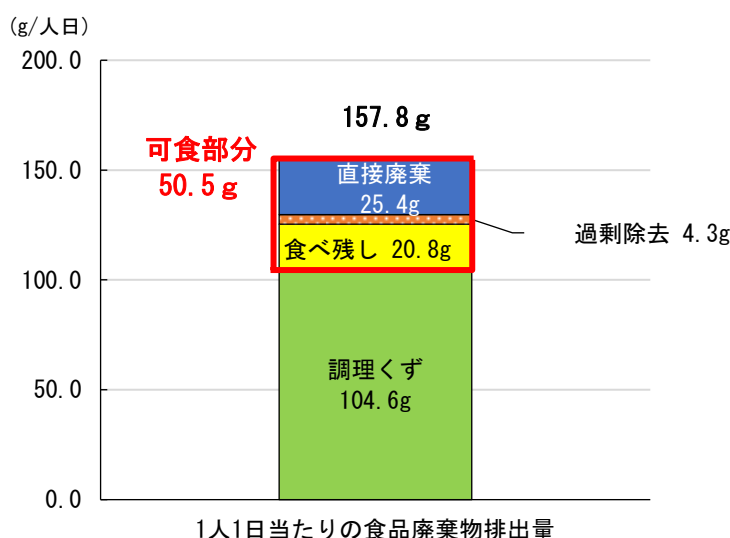


図 2.3-8 1 人 1 日当たりの食品廃棄物排出量

食品廃棄物全体に占める排出割合は、表 2.3-6②及び図 2.3-9 に示すとおりである。

調理くず等（内過剰除去:2.71%）が 71.30%、直接廃棄が 15.97%、食べ残しが 12.73%であった。

以上のことから、食品廃棄物中の可食部分は 31.41%（直接廃棄:15.97%、食べ残し:12.73%、過剰除去：2.71%）を占めていた。

表 2.3-6② 食品廃棄物の排出割合（食品廃棄物全体）

区分		排出量（kg）	割合（%）
食品廃棄物		15.47	
	直接廃棄	2.47	15.97
	食べ残し	1.97	12.73
	調理くず等	11.03	71.30
	過剰除去	0.42	2.71
（可食部分）		4.86	31.41

□：可食部分

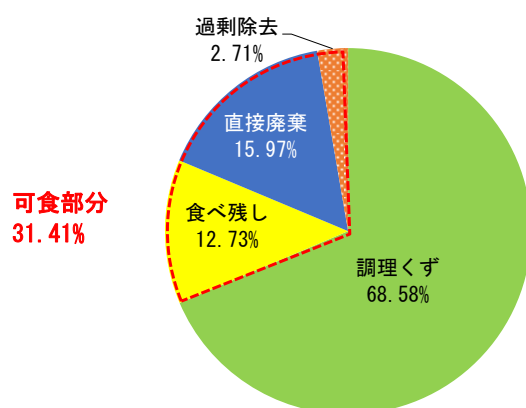


図 2.3-9 食品廃棄物の排出割合（食品廃棄物全体）

イ. 過剰除去

調理くず等に含まれる過剰除去については過剰除去自体の基準が曖昧であり、調査主体により数値が大きく変動する可能性がある。

参考値として環境省が公表している「食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査報告書」で公表している割合に基づき算定した過剰除去の割合は 2.15%であった。

推計式)

家庭系ごみに占める過剰除去の割合（%）

＝環境省公表割合×家庭系ごみに占める食品廃棄物の割合/100

＝4.6×43.64/100

≒2.15

（出典：「家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロスの調査マニュアル」 神奈川県）

2) 家庭系不燃ごみ

(1) 物理組成概要

中分類別でみた家庭系不燃ごみの物理組成概要は表 2.3-7 及び図 2.3-10 に示すとおりである。

プラスチック類 (34.81%) が最も多く、次いで陶磁器 (21.10%)、ガラス類 (14.82%)、ゴム・皮革 (5.65%)、鉄類 (5.54%)、小型家電 (5.01%)、アルミ (3.15%)、その他不燃 (2.99%)、有害ごみ (1.79%) であった。

可燃物では、紙類、布類、剪定枝・その他、その他可燃が認められた。

表 2.3-7 家庭系不燃ごみの物理組成

中分類	割合 (%)
紙類	0.74
布類	3.00
プラスチック類	34.81
ゴム・皮革	5.65
剪定枝・その他	0.32
食品廃棄物・廃油類	0.00
陶磁器	21.10
鉄類	5.54
アルミ	3.15
その他金属	0.00
小型家電	5.01
ガラス類	14.82
有害ごみ	1.79
その他不燃	2.99
医療ごみ	0.00
その他可燃	1.07
処理困難物	0.00
合計	100.00

※湿ベース重量

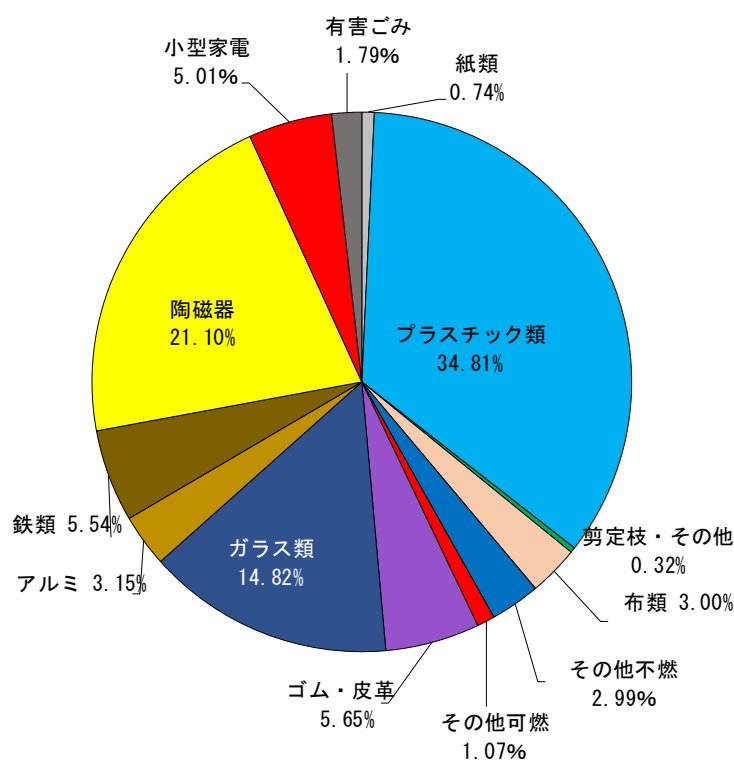


図 2.3-10 家庭系不燃ごみの物理組成

(2) 主な分別品目の排出割合

① 紙類

紙類の組成は表 2.3-8①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装（飲料用紙パック（アルミ付き除く）、ダンボール、包装紙、紙容器、その他）の混入割合は 0.45%であった。

次に、紙類全体に占める各種紙類の組成は、表 2.3-8②及び図 2.3-11 に示す。

紙類全体に占める資源として回収可能な紙類の混入割合は 89.24%であった。

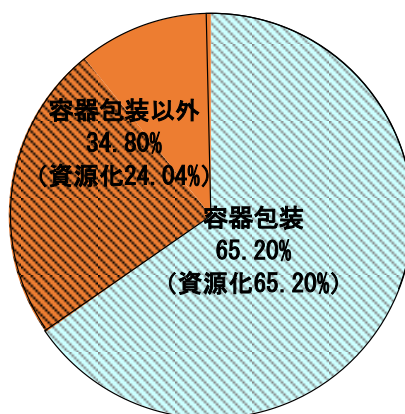
表 2.3-8① 紙類の組成

区分			割合（％）
容器包装	飲料用紙 パック	アルミ無し	0.00
		アルミ付き	0.00
	ダンボール		0.14
	包装紙		0.00
	紙容器		0.02
	その他		0.29
			0.45
容器包装 以外	新聞・折込		0.09
	雑誌・パンフレット		0.00
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		0.07
	その他（紙くず等）		0.07
			0.24
（資源化可能な紙類）			0.61
合計			0.68

表 2.3-8② 紙類の組成（紙類全体）

区分			割合（％）
容器包装	飲料用紙 パック	アルミ無し	0.00
		アルミ付き	0.00
	ダンボール		19.92
	包装紙		0.00
	紙容器		2.79
	その他		42.49
			65.20
容器包装 以外	新聞・折込		13.28
	雑誌・パンフレット		0.00
	ざつ紙（再生利用可能紙類）		10.76
	その他（紙くず等）		10.76
			34.80
（資源化可能な紙類）			89.24
合計			100.00

：資源化可能部分



：資源化可能部分

図 2.3-11 紙類の組成（紙類全体）

② プラスチック類

排出量全体に占める各種プラスチック類の組成は表 2. 2-9①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装プラスチック類の混入割合は 3. 78%であった。

なお、現在、プラスチック製容器包装以外のプラスチック類の軟質は可燃ごみ、硬質やその他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）は不燃ごみとして収集されている。

次に、プラスチック類全体に占める各種プラスチック類の組成を表 2. 3-9②及び図 2. 3-12 に示す。

プラスチック類全体に占める資源として回収可能なプラスチック製容器包装の混入割合は 10. 86%であった。

表 2. 3-9① プラスチック類の組成

区分				割合（％）
容器包装	ペット ボトル	軟質		0.00
		硬質		0.14
	その他 ボトル	軟質		0.94
		硬質		1.56
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.00
			褐色（有色）	0.00
	袋	レジ袋（未使用）		0.00
		その他（未使用）		1.02
	バック、カップ容器類			0.09
	フィルム状の容器包装			0.03
	汚れのあるプラスチック製容器包装			1.39
	外袋として使用されている袋			0.96
			6.13	
容器包装以外	軟質		1.72	
	硬質		19.41	
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）		7.56	
				28.68
（資源化可能なプラスチック類）				3.78
合計				34.81

：資源化可能部分

表 2. 3-9② プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

区分			割合（％）	
容器包装	ペット ボトル	軟質	0.00	
		硬質	0.42	
	その他 ボトル	軟質	2.70	
		硬質	4.48	
	トレイ	発泡スチ ロール	白色	0.00
			褐色（有色）	0.00
	袋	レジ袋（未使用）		0.00
		その他（未使用）		2.92
	バック、カップ容器類			0.25
	フィルム状の容器包装			0.09
	汚れのあるプラスチック製容器包装			3.98
	外袋として使用されている袋			2.77
			17.61	
容器包装以外	軟質		4.93	
	硬質		55.75	
	その他（危険物、電池内蔵品、プラ 単一ではないもの等）		21.72	
			82.39	
（資源化可能なプラスチック類）			10.86	
合計			100.00	

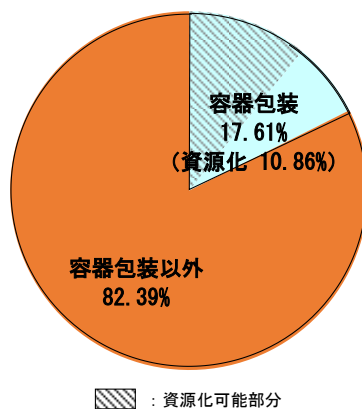


図 2. 3-12 プラスチック類の組成（プラスチック類全体）

プラスチック製容器包装全体に占める各種プラスチック類の組成は、図 2.3-13 に示すとおりである。

その他ボトルが 40.76%と最も多く、次いで汚れのある資源化できないプラスチック製容器包装が 22.62%、汚れていないレジ袋、食品の袋などを含む「袋」が 16.58%、外袋として使用されている袋が 15.72%、ペットボトルが 2.36%、パック、カップ容器類が 1.44%、フィルム状の容器包装が 0.52%であった。

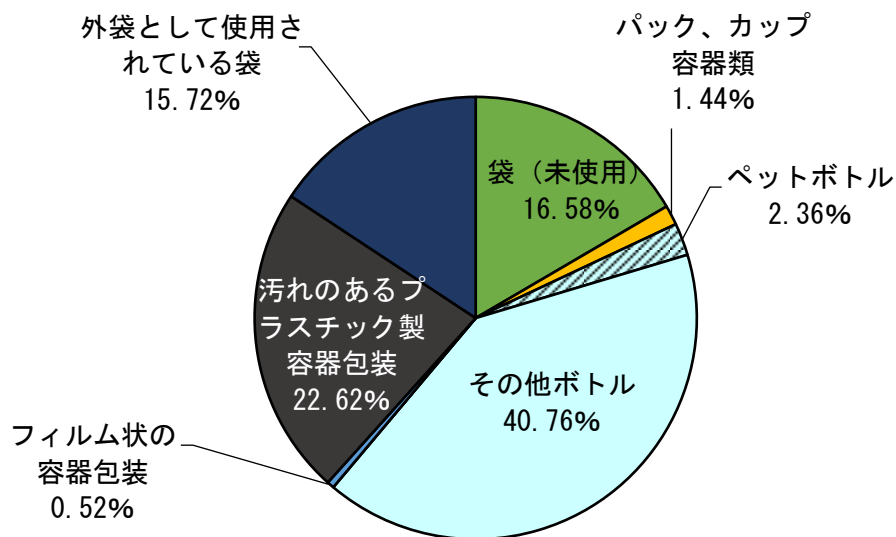


図 2.3-13 プラスチック製容器包装の組成

③ 鉄類

排出量全体に占める各種鉄類の組成は表 2.3-10①に示すとおりである。

資源として回収可能な容器包装の混入割合は 0.20%であった。

次に、鉄類全体に占める各種鉄類の組成は表 2.3-10②及び図 2.3-14 に示す通りである。

注) 飲料用ボトルのふたは不燃ごみとして排出する。

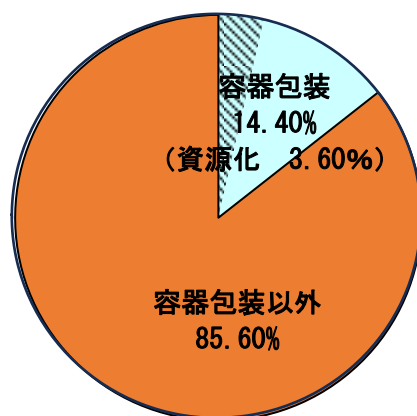
表 2.3-10① 鉄類の組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.05
	栓・キャップ ^{注)}	0.60
	スプレー缶	0.00
	その他	0.15
		0.80
容器包装以外		4.74
(資源化可能な鉄類)		0.20
合計		5.54

表 2.3-10② 鉄類の組成 (鉄類全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.90
	栓・キャップ ^{注)}	10.80
	スプレー缶	0.00
	その他	2.70
		14.40
容器包装以外		85.60
(資源化可能な鉄類)		3.60
合計		100.00

 : 資源化可能部分



 : 資源化可能部分

図 2.3-14 鉄類の組成 (鉄類全体)

④ アルミ

排出量全体に占める各種アルミの組成は表 2.3-11①に示すとおりである。

資源として回収可能なアルミ製容器包装の混入割合は 0.53%であった。

次に、アルミ全体に占める各種アルミの組成は表 2.3-11②及び図 2.3-15 に示すとおりである。

注) アルミホイルは「可燃ごみ」として排出可能である。

飲料用ボトルのふたは不燃ごみとして排出する。

表 2.3-11① アルミの組成

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	0.35
	スプレー缶	0.53
	その他	0.00
		0.87
容器包装以外		2.28
(資源化可能なアルミ)		0.53
合計		3.15

表 2.3-11② アルミの組成 (アルミ全体)

区分		割合 (%)
容器包装	飲食料缶	0.00
	栓・キャップ ^{注)}	10.96
	スプレー缶	16.72
	その他	0.00
		27.68
容器包装以外		72.32
(資源化可能なアルミ)		16.72
合計		100.00

 : 資源化可能部分

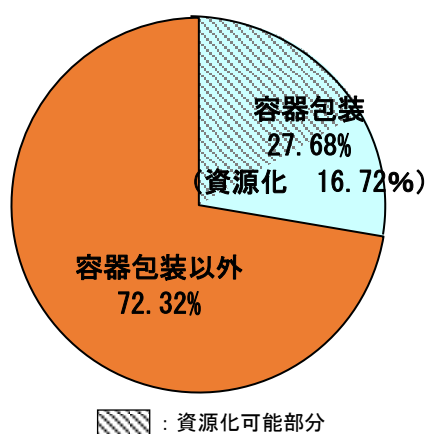


図 2.3-15 アルミの組成 (アルミ全体)

2.4 調査別物理組成比較

1) 家庭系可燃ごみ

(1) 紙類

本年度における調査別の紙類の物理組成の比較は図 2.4-1 に示すとおりである。

排出量全体に占める紙類の排出割合は、調査 1 回目では 20.71%、調査 2 回目では 24.857 であり、調査全体では 22.64%であった。

また、資源として回収可能な紙類の混入割合は調査 1 回目では 9.16%（紙類全体：44.21%）、調査 2 回目では 9.43%（紙類全体：38.37%）であり、調査全体では 9.29%（紙類全体：41.04%）であった。

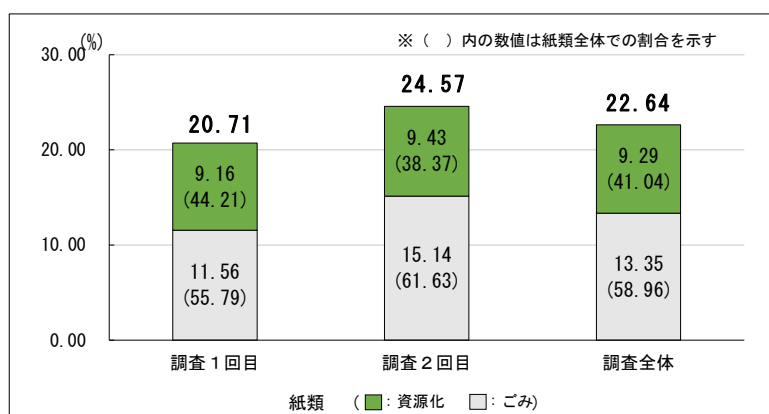


図 2.4-1 物理組成の比較（紙類）

(2) プラスチック類

本年度における調査別のプラスチック類の物理組成の比較は図 2.4-2 に示すとおりである。

排出量全体に占めるプラスチック類の排出割合は、調査 1 回目では 8.70%、調査 2 回目では 14.34%であり、調査全体では 11.52%であった。

また、資源として回収可能なプラスチック類の混入割合は調査 1 回目では 2.17%（プラスチック類全体：24.90%）、調査 2 回目では 8.14%（プラスチック類全体：56.77%）であり、調査全体では 5.15%（プラスチック類全体：44.73%）であった。

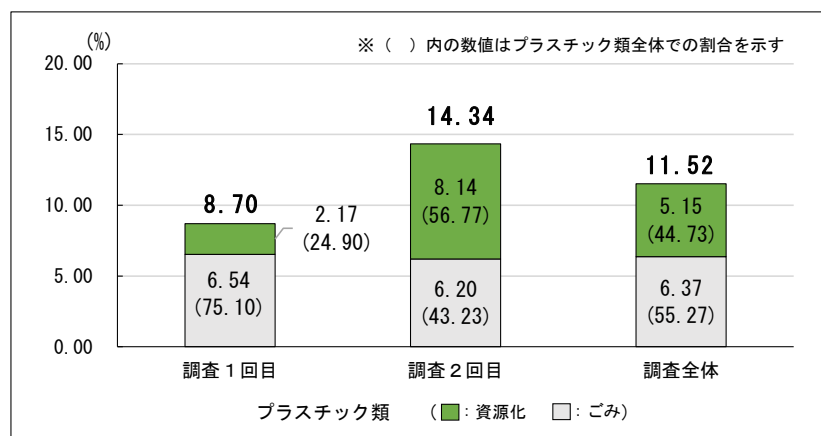


図 2.4-2 物理組成の比較（プラスチック類）

(3) 鉄類

本年度における調査別の鉄類の物理組成の比較は図 2.4-3 に示すとおりである。

排出量全体に占める鉄類の排出割合は調査 2 回目では 0.01% であり、調査全体では 0.01% であった。なお、調査 1 回目では鉄類の混入は認められなかった。

また、資源として回収可能な鉄類の混入は認められなかった。

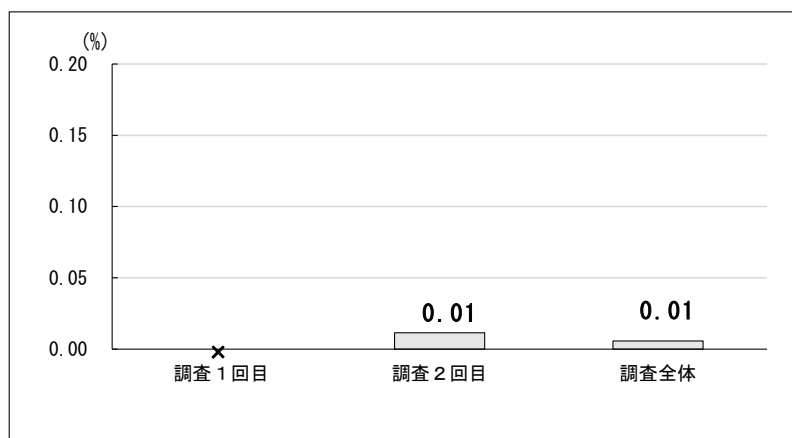


図 2.4-3 物理組成の概要（鉄類）

(4) アルミ

本年度における調査別のアルミの物理組成の比較は図 2.4-4 に示すとおりである。

排出量全体に占めるアルミの排出割合は、調査 1 回目では 0.19%、調査 2 回目では 0.15% であり、調査全体では 0.16% であった。

また、資源として回収可能なアルミの混入割合は調査 1 回目では認められず、調査第 2 回目では 0.01%（アルミ全体：3.92%）、調査全体では、0.01% 以下であった。

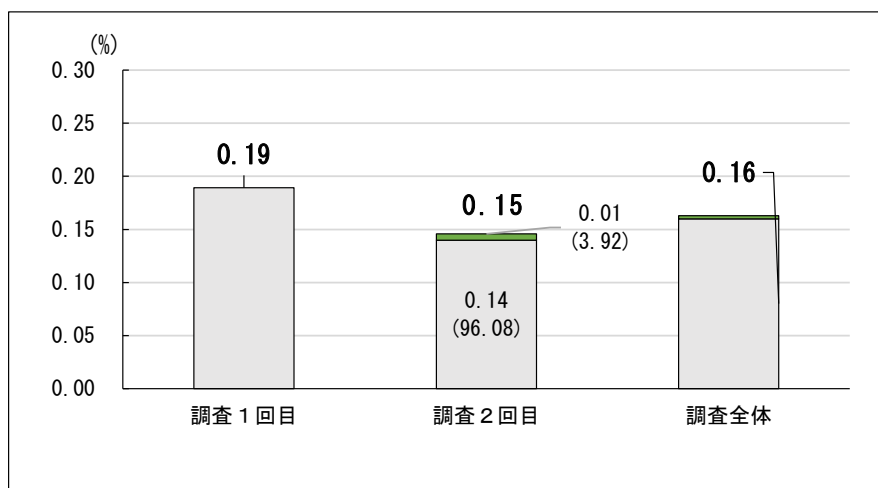


図 2.4-4 物理組成の概要（アルミ）

(5) 食品廃棄物

本年度における調査別の食品廃棄物の物理組成の比較は、図 2.4-5①に示すとおりである。

排出量全体に占める食品廃棄物の排出割合は、調査1回目では42.60%、調査2回目では44.68%、調査全体では43.64%であった。

排出割合は調査1回目、調査2回目ともに調理くずが最も多かった。

また、食品廃棄物全体に占める排出割合は、図 2.4-5②に示すとおりである。

調査全体では、調理くず68.58%、直接廃棄15.97%、食べ残し12.73%、過剰除去2.71%であり、可食部分は31.41%であった。

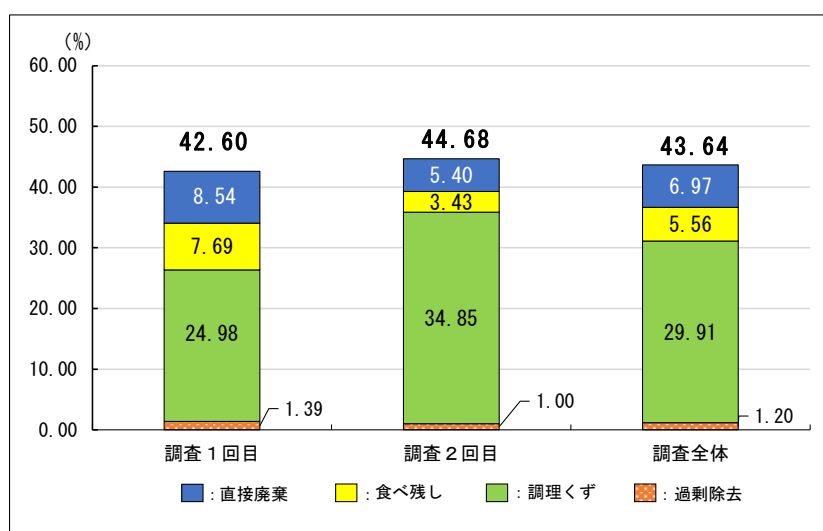


図 2.4-5① 物理組成の概要（食品廃棄物）

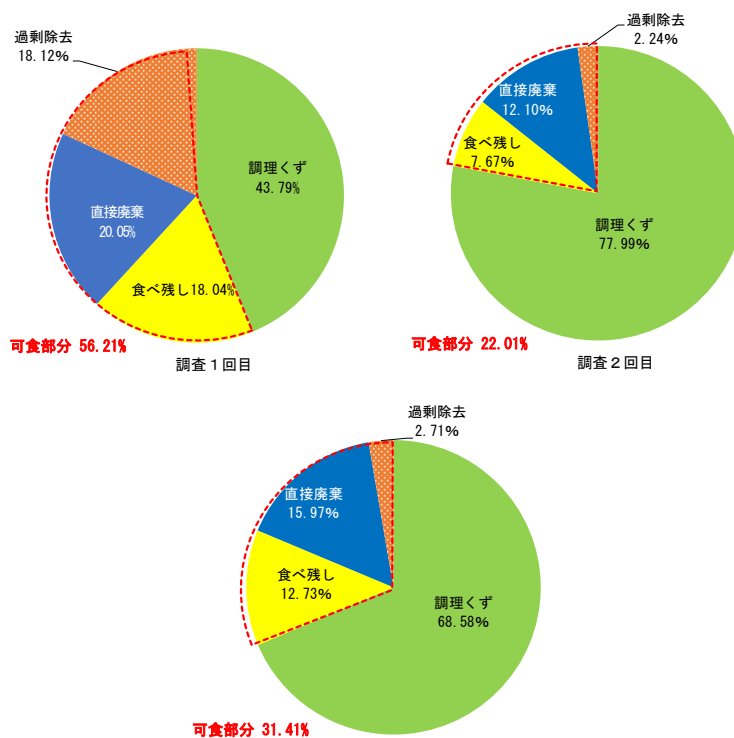


図 2.4-5② 物理組成の比較（食品廃棄物全体）

2) 家庭系不燃ごみ

(1) 紙類

本年度における調査別の紙類の物理組成の比較は図 2.4-6 に示すとおりである。

排出量全体に占める紙類の排出割合は、調査 1 回目では 1.27%、調査 2 回目では 0.21% であり、調査全体では 0.68% であった。

また、資源として回収可能な紙類の混入割合は調査 1 回目では 1.07% (紙類全体 : 84.31%)、調査 2 回目では 0.15% (紙類全体 : 70.45%) であり、調査全体では 0.61% (紙類全体 : 89.24%) であった。

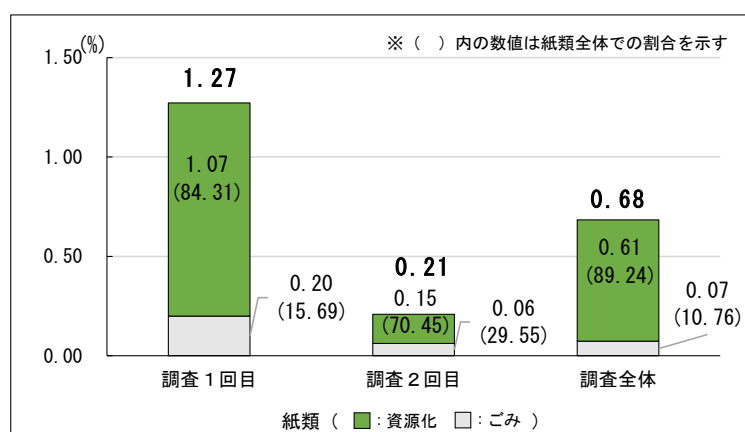


図 2.4-6 物理組成の比較 (紙類)

(2) プラスチック類

本年度における調査別のプラスチック類の物理組成の比較は図 2.4-7 に示すとおりである。

排出量全体に占めるプラスチック類の排出割合は、調査 1 回目では 27.30%、調査 2 回目では 42.33% であり、調査全体では 34.81% であった。

また、資源として回収可能なプラスチック類の混入割合は調査 1 回目では 5.75% (プラスチック類全体 : 21.08%)、調査 2 回目では 1.81% (プラスチック類全体 : 4.27%) であり、調査全体では 3.78% (プラスチック類全体 : 10.86%) であった。

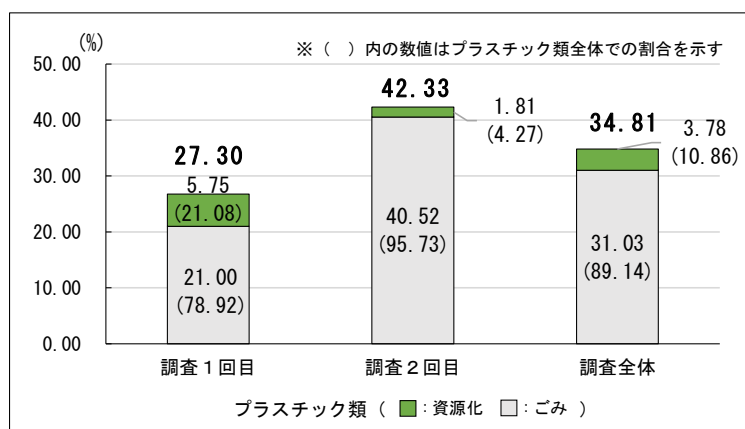


図 2.4-7 物理組成の比較 (プラスチック類)

(3) 鉄類

本年度における調査別の鉄類の物理組成の比較は図 2.4-8 に示すとおりである。

排出量全体に占める鉄類の排出割合は調査 1 回目では 7.17%、調査 2 回目では 3.91%であり、調査全体では 5.54%であった。

また、資源として回収可能な鉄類の混入割合は調査 1 回目では認められず、第 2 回目では 0.40%（鉄類全体：3.60%）、調査全体では 0.20%（鉄類全体：3.60%）であった。

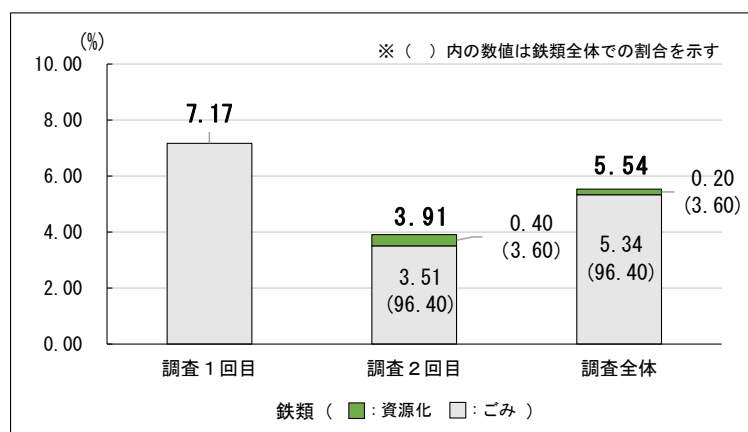


図 2.4-8 物理組成の概要（鉄類）

(4) アルミ

本年度における調査別のアルミの物理組成の比較は図 2.4-9 に示すとおりである。

排出量全体に占めるアルミの排出割合は、調査 1 回目では 5.53%、調査 2 回目では 0.77%であり、調査全体では 3.15%であった。

また、資源として回収可能なアルミの混入割合は調査 1 回目では 0.82%（アルミ全体：14.75%）、第 2 回目では 0.24%（アルミ全体：30.86%）、調査全体では 0.53%（アルミ全体：16.72%）であった。

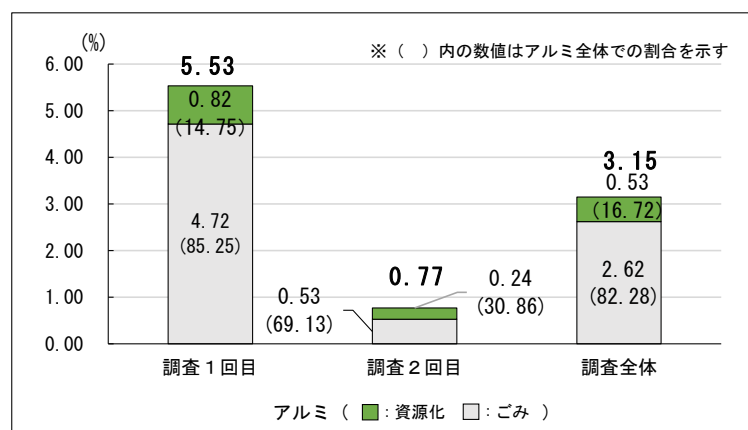


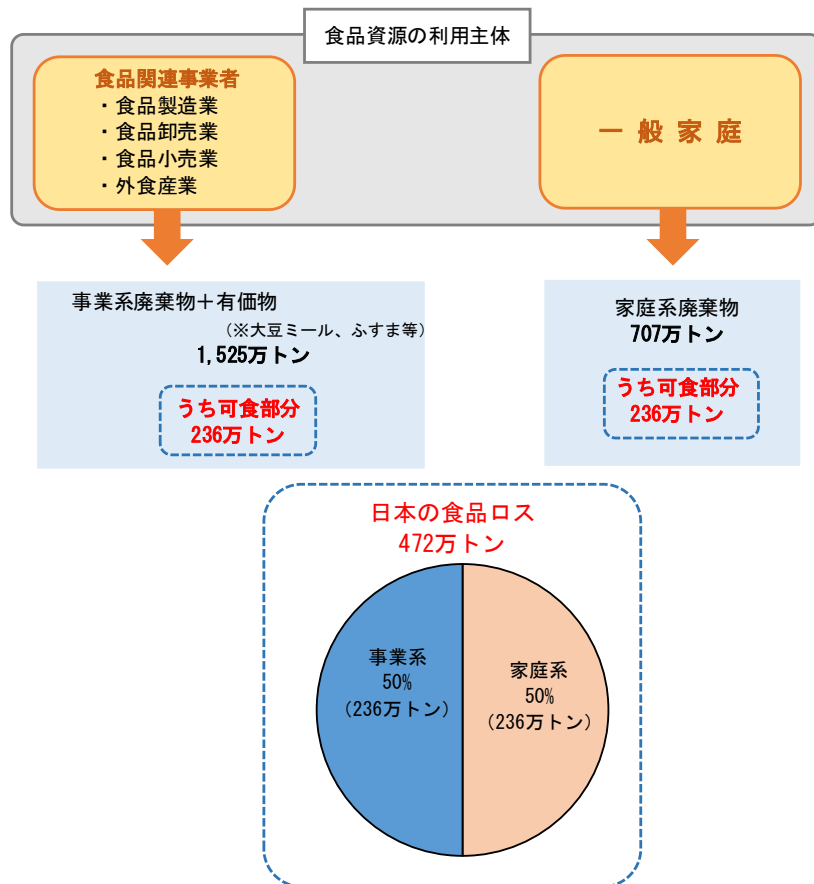
図 2.4-9 物理組成の概要（アルミ）

（参考 1）令和 4 年度の日本の食品ロス推計

農林水産省及び環境省では、食品ロスの発生状況を把握し、食品ロス削減の取り組みの進展を活かすため、平成 24 年度以降、食品ロス量の推計を行っている。

令和 4 年度における日本の食品ロス量は 472 万トン（家庭系：236 万トン、事業系 236 万トン）と推計され、前年度（523 万トン）よりも 51 万トン減少した。

これを国民 1 人당に換算すると、1 日当たり約 103 g（おにぎり 1 個のご飯の量（約 110 g）に近い量）、年間では約 38kg となる。



国民 1 人당に換算すると…



（出典：食品ロス及びリサイクルをめぐる情勢（令和 6 年 11 月時点版）農林水産省）

2.5 資源物の混入状況

調査時の分別に従い、紙類、プラスチック類、布類、食品廃棄物・廃油類、鉄類、アルミ、その他金属、小型家電、ガラス類、有害ごみを資源物とごみに分け、資源物の混入状況を確認した。

結果は表 2.5-1 に示すとおりであり、資源物の混入割合は家庭系可燃ごみ 18.88%（調査1回目：13.91% 調査2回目：23.86%）、家庭系不燃ごみ 17.72%（調査1回目：25.81% 調査2回目：9.63%）であった。

表 2.5-1① 資源物の混入状況（家庭系可燃ごみ）

分類		割合（%）		
		調査1回目	調査2回目	調査全体
紙類	資源物	9.16	9.43	9.29
	ごみ	11.56	15.14	13.35
布類	資源物	2.59	6.28	4.44
	ごみ	0.33	2.29	1.31
プラスチック類	資源物	2.17	8.14	5.15
	ごみ	6.54	6.20	6.37
ゴム・皮革	ごみ	0.28	0.04	0.16
剪定枝・その他	ごみ	3.51	0.51	2.01
食品廃棄物・ 廃油類	資源物	0.00	0.00	0.00
	ごみ	42.60	44.68	43.64
陶磁器	ごみ	0.00	0.00	0.00
鉄類	資源物	0.00	0.00	0.00
	ごみ	0.00	0.01	0.01
アルミ	資源物	0.00	0.01	0.00
	ごみ	0.19	0.14	0.16
その他金属	資源物	0.00	0.00	0.00
小型家電	資源物	0.00	0.00	0.00
ガラス類	資源物	0.00	0.00	0.00
	ごみ	0.00	0.00	0.00
有害ごみ	資源物	0.00	0.00	0.00
	ごみ	0.00	0.00	0.00
その他不燃	ごみ	0.68	0.34	0.51
医療ごみ	ごみ	0.00	0.09	0.04
その他可燃	ごみ	20.41	6.70	13.55
処理困難物	ごみ	0.00	0.00	0.00
調査時の分別による 資源物混入割合		13.91	23.86	18.88

表 2.5-2② 資源物の混入状況（家庭系不燃ごみ）

分類		割合（％）		
		調査1回目	調査2回目	調査全体
紙類	資源物	1.07	0.15	0.61
	ごみ	0.20	0.06	0.13
布類	資源物	6.01	0.00	3.00
	ごみ	0.00	0.00	0.00
プラスチック類	資源物	5.75	1.81	3.78
	ごみ	21.55	40.52	31.03
ゴム・皮革	ごみ	0.00	11.30	5.65
剪定枝・その他	ごみ	0.64	0.00	0.32
食品廃棄物・ 廃油類	資源物	0.00	0.00	0.00
	ごみ	0.00	0.00	0.00
陶磁器	ごみ	23.59	18.61	21.10
鉄類	資源物	0.00	0.40	0.20
	ごみ	7.17	3.51	5.34
アルミ	資源物	0.82	0.24	0.53
	ごみ	4.72	0.53	2.62
その他金属	資源物	0.00	0.00	0.00
小型家電	資源物	5.35	4.67	5.01
ガラス類	資源物	4.64	2.37	3.51
	ごみ	14.19	8.44	11.31
有害ごみ	資源物	2.17	0.00	1.09
	ごみ	1.02	0.40	0.71
その他不燃	ごみ	0.00	5.98	2.99
医療ごみ	ごみ	0.00	0.00	0.00
その他可燃	ごみ	1.12	1.01	1.07
処理困難物	ごみ	0.00	0.00	0.00
調査時の分別による 資源物混入割合		25.81	9.63	17.72

2.6 適正排出の状況

可燃ごみ中の不燃ごみなど適正排出の遵守状況を確認した結果は表 2.6-1 に示すとおりである。

家庭系可燃ごみの分別による資源物の混入割合は 18.88%（調査 1 回目：13.91%、調査 2 回目：23.86%）であった。可燃ごみ中の不燃ごみ（資源物を除く）の混入割合は 1.95%（調査 1 回目：1.54%、調査 2 回目：2.36%）、収集することができないごみ（石、医療ごみ）の混入は 0.04%（調査 1 回目：排出なし、調査 2 回目：0.09%）であった。

以上から家庭系可燃ごみの資源物を除く不適正排出の割合は 1.99%（調査 1 回目：1.54%、調査 2 回目：2.45%）であった。

表 2.6-1① 適正排出の状況（家庭系可燃ごみ）

分類	割合（％）		
	調査1回目	調査2回目	調査全体
調査時の分別による資源物混入割合	13.91	23.86	18.88
可燃ごみ中の不燃ごみ（資源物を除く）	1.54	2.36	1.95
収集できないごみ（石、医療ごみ）	0.00	0.09	0.04
不適正排出の割合	1.54	2.45	1.99

家庭系不燃ごみの分別による資源物の混入割合は 17.72%（調査 1 回目：25.81%、調査 2 回目：9.63%）であった。不燃ごみ中の可燃ごみ（資源物を除く）の混入割合は 7.86%（調査 1 回目：8.70%、調査 2 回目：7.02%）、収集することができないごみ（石、医療ごみ）の混入は見られなかった。

以上から家庭系不燃ごみの資源物を除く不適正排出の割合は 7.86%（調査 1 回目：8.70%、調査 2 回目：7.02%）であった。

表 2.6-2② 適正排出の状況（家庭系不燃ごみ）

分類	割合（％）		
	調査1回目	調査2回目	調査全体
調査時の分別による資源物混入割合	25.81	9.63	17.72
不燃ごみ中の可燃ごみ（資源物を除く）	8.70	7.02	7.86
収集できないごみ（石、医療ごみ）	0.00	0.00	0.00
不適正排出の割合	8.70	7.02	7.86

第 3 章 減量化・資源化の想定

3.1 排出抑制による減量化の想定

排出抑制による減量は、本調査においては、家庭系可燃ごみの食品廃棄物の可食部分の排出削減による効果から想定する。

本調査における家庭系可燃ごみの食品廃棄物中の可食部分（直接廃棄、食べ残し、過剰除去）が排出量全体に占める割合は、前述したとおり、調査 1 回目では 56.21%、調査 2 回目では 22.01%、調査全体では 31.41%であった。

3.2 資源化量の想定

家庭系ごみ 59 区分による組成分類結果の一覧は、表 3.2-1 に示すとおりである。

現行区分に基づく資源物の混入割合から資源化可能割合を想定すると、以下のとおりであり、大きな資源化が期待される。

【家庭系ごみ推定量】

可燃ごみ：18.88%（調査 1 回目：13.91%、調査 2 回目：23.86%）

不燃ごみ：17.72%（調査 1 回目：25.81%、調査 2 回目：9.63%）

表 3.2-1① 組成分類結果一覧（家庭系可燃ごみ）

 : 資源物

(単位: %)

番号	大分類	中分類	小分類（形状別）			分別区分		調査1回目	調査2回目	調査全体	
1	紙・布類	紙類	容器包装	飲料用紙 バック	アルミ無し	古紙		0.84	1.00	0.92	
2					アルミ付き	可燃		0.84	0.57	0.70	
3				ダンボール			古紙	0.01	0.37	0.19	
4				包装紙				0.14	0.14	0.14	
5				紙容器				4.32	3.29	3.80	
6				その他				1.25	0.86	1.05	
7			容器包装 以外	新聞・折込				1.11	0.43	0.77	
8				雑誌・パンフレット				0.09	0.91	0.50	
9				ざつ紙（再生利用可能紙類）			1.39	2.43	1.91		
10				その他（紙くず等）			可燃	10.72	14.57	12.64	
11	布類	ウエス利用可能なもの				衣類・布類		2.59	6.28	4.44	
12		その他				可燃		0.33	2.29	1.31	
13	ビニール、 合成樹脂、 ゴム、皮革	プラスチック類	容器包装	ペット ボトル	軟質		ペットボトル		0.00	0.00	0.00
14					硬質				0.00	0.23	0.11
15				その他 ボトル	軟質		0.12		0.34	0.23	
16					硬質		0.39		0.34	0.37	
17				トレイ	発泡 スチロール	白色	0.00		0.23	0.11	
18						褐色（有色）	0.00		0.43	0.21	
19				袋	レジ袋（未使用）		0.00		0.71	0.36	
20					その他（未使用）		1.11		2.86	1.99	
21				バック、カップ容器類			0.40		1.57	0.99	
22				フィルム状の容器包装			0.14		1.43	0.78	
23			汚れのあるプラスチック製容器包装			可燃		3.48	1.28	2.38	
24			外袋として使用されている袋			可燃		2.35	0.86	1.61	
25			容器包装 以外	軟質			可燃		0.28	2.09	1.18
26				硬質			不燃		0.30	0.50	0.40
27				その他（危険物、電池内蔵品、プラ 単一ではないもの等）			不燃		0.13	1.47	0.80
28				ゴム・皮革				可燃	不燃	0.28	0.04
29	木、竹、わ ら類	剪定枝葉				可燃		2.51	0.00	1.25	
30		その他						1.00	0.51	0.76	
31	厨芥類	食品廃棄物	直接廃棄		可燃		8.54	5.40	6.97		
32			食べ残し		7.69		3.43	5.56			
33			調理くず等		26.37		35.85	31.11			
			過剰除去（上記内数）		1.39		1.00	1.20			
34	廃油類				廃食用油		0.00	0.00	0.00		
35	陶磁器				不燃		0.00	0.00	0.00		
36	不燃物	鉄類	容器包装	飲料料缶		かん		0.00	0.00	0.00	
37				栓・キャップ		不燃		0.00	0.00	0.00	
38				スプレー缶		かん		0.00	0.00	0.00	
39				その他		金属		0.00	0.00	0.00	
40			容器包装以外			不燃		0.00	0.01	0.01	
41		アルミ	容器包装	飲料料缶		かん		0.00	0.00	0.00	
42				栓・キャップ		不燃		0.15	0.00	0.08	
43				スプレー缶		かん		0.00	0.00	0.00	
44				その他		金属		0.00	0.01	0.00	
45			容器包装以外			可燃	不燃	0.04	0.14	0.09	
46		その他金属				金属		0.00	0.00	0.00	
47		小型家電				小型家電		0.00	0.00	0.00	
48		ガラス類	容器包装	ワンウェイビン等		びん		0.00	0.00	0.00	
49				リターナブルビン		0.00		0.00	0.00		
50			容器包装以外		不燃		0.00	0.00	0.00		
51			有害ごみ	蛍光管			蛍光灯・水銀式体温（血圧）計		0.00	0.00	0.00
52	乾電池、ボタン電池（BR、CRのみ）			不燃		0.00	0.00	0.00			
53	水銀温度計			蛍光灯・水銀式体温（血圧）計		0.00	0.00	0.00			
54	その他不燃				不燃		0.68	0.34	0.51		
55	その他	医療ごみ	特別管理一般廃棄物			排出できない		0.00	0.00	0.00	
56			その他			0.00		0.09	0.04		
57		その他可燃	紙おむつ			可燃		17.49	3.27	10.38	
58			その他			2.92		3.43	3.18		
59		処理困難物（自治体で収集・処理できないもの）				排出できない		0.00	0.00	0.00	

表 3.2-2② 組成分類結果一覧（家庭系不燃ごみ）

 : 資源物

(単位: %)

番号	大分類	中分類	小分類（形状別）			分別区分		調査 1 回目	調査 2 回目	調査全体	
1	紙・布類	紙類	容器包装	飲料用紙バック	アルミ無し	古紙		0.00	0.00	0.00	
2					アルミ付き	可燃		0.00	0.00	0.00	
3				ダンボール			古紙	0.27	0.00	0.14	
4				包装紙				0.00	0.00	0.00	
5				紙容器				0.04	0.00	0.02	
6				その他				0.58	0.00	0.29	
7			容器包装以外	新聞・折込				0.18	0.00	0.09	
8				雑誌・パンフレット				0.00	0.00	0.00	
9				ざつ紙（再生利用可能紙類）				0.00	0.15	0.07	
10				その他（紙くず等）			0.20	0.06	0.13		
11		布類	ウエス利用可能なもの			衣類・布類		6.01	0.00	3.00	
12			その他			可燃		0.00	0.00	0.00	
13	ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	軟質	ペットボトル		0.00	0.00	0.00	
14					硬質			0.00	0.29	0.14	
15				その他ボトル	軟質	プラスチック製容器包装		0.46	1.42	0.94	
16					硬質			3.12	0.00	1.56	
17				トレイ	発泡スチロール			白色	0.00	0.00	0.00
18					褐色（有色）			0.00	0.00	0.00	
19				袋	レジ袋（未使用）			0.00	0.00	0.00	
20					その他（未使用）			2.03	0.00	1.02	
21				バック、カップ容器類				0.09	0.09	0.09	
22				フィルム状の容器包装				0.05	0.01	0.03	
23				汚れのあるプラスチック製容器包装			可燃	0.54	2.23	1.39	
24				外袋として使用されている袋			可燃	0.91	1.02	0.96	
25			容器包装以外	軟質			可燃	1.03	2.40	1.72	
26				硬質			不燃	12.02	26.80	19.41	
27				その他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）			不燃	7.05	8.07	7.56	
28		ゴム・皮革			可燃	不燃	0.00	11.30	5.65		
29	木、竹、わら類	剪定枝葉			可燃		0.00	0.00	0.00		
30		その他					0.64	0.00	0.32		
31	厨芥類	食品廃棄物	直接廃棄	可燃		0.00	0.00	0.00			
32			食べ残し			0.00	0.00	0.00			
33			調理くず等			0.00	0.00	0.00			
			過剰除去（上記内数）			0.00	0.00	0.00			
34		廃油類			廃食用油		0.00	0.00	0.00		
35	不燃物	陶磁器			不燃	23.59	18.61	21.10			
36		鉄類	容器包装	飲食料缶	かん	0.00	0.10	0.05			
37				栓・キャップ	不燃	0.82	0.38	0.60			
38				スプレー缶	かん	0.00	0.00	0.00			
39				その他	金属	0.00	0.30	0.15			
40		容器包装以外			不燃	6.35	3.13	4.74			
41		アルミ	容器包装	飲食料缶	かん	0.00	0.00	0.00			
42				栓・キャップ	不燃	0.45	0.24	0.35			
43				スプレー缶	かん	0.82	0.24	0.53			
44				その他	金属	0.00	0.00	0.00			
45		容器包装以外			可燃	不燃	4.26	0.29	2.28		
46		その他金属			金属		0.00	0.00	0.00		
47		小型家電			小型家電		5.35	4.67	5.01		
48		ガラス類	容器包装	ワンウェイビン等	びん		4.64	2.37	3.51		
49				リターナブルビン			0.00	0.00	0.00		
50		容器包装以外			不燃		14.19	8.44	11.31		
51		有害ごみ	蛍光管			蛍光灯・水銀式体温（血圧）計		2.17	0.00	1.09	
52	乾電池、ボタン電池（BR、CRのみ）			不燃		1.02	0.40	0.71			
53	水銀温度計			蛍光灯・水銀式体温（血圧）計		0.00	0.00	0.00			
54	その他不燃			不燃		0.00	5.98	2.99			
55	その他	医療ごみ	特別管理一般廃棄物			排出できない		0.00	0.00	0.00	
56			その他					0.00	0.00	0.00	
57		その他可燃	紙おむつ			可燃		0.00	0.00	0.00	
58			その他					1.12	1.01	1.07	
59		処理困難物（自治体で収集・処理できないもの）			排出できない		0.00	0.00	0.00		

第 4 章 経年変化の状況

家庭系可燃ごみの中分類別における令和 4 年度、令和 5 年度及び本年度の調査の比較は図 4. 1-1 に示すとおりである。

・ 紙類

紙類の排出割合は、令和 4 年度以降減少傾向に推移しており、紙類全体に占める資源として回収可能な紙類の混入割合も同様に推移している。

・ 布類

布類の排出割合は、令和 4 年度以降増加傾向で推移しており、布類全体に占める資源として回収可能な布類の混入割合も同様に推移している。

・ プラスチック類

プラスチック類の排出割合は、令和 5 年度で大きく増加したが、本年度で減少した。

また、プラスチック類全体に占める資源として回収可能なプラスチック類の混入割合についても同様であった。

・ ゴム・皮革

ゴム・皮革の排出割合は、令和 5 年度まで増加していたが、大きく本年度で減少した。

・ 剪定枝・その他

剪定枝・その他の排出割合は、令和 5 年度で大きく減少し、本年度も横ばいで推移している。

・ 食品廃棄物・廃油類

食品廃棄物・廃油類の排出割合は、令和 4 年度以降増加傾向に推移している。

・ 陶磁器

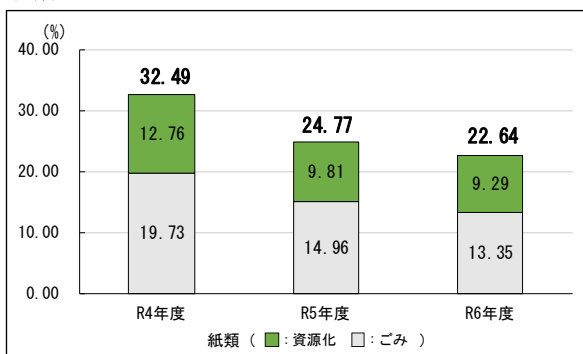
令和 4 年度に陶磁器の混入が認められた。

・ 鉄類

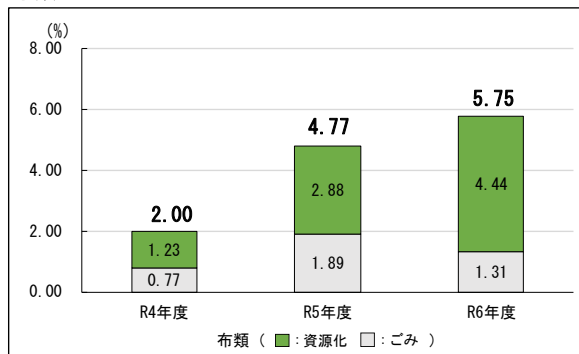
鉄類の排出割合は、令和 4 年度以降増加傾向で推移していたが、本年度で減少している。

令和 5 年度では資源として回収可能な鉄類の混入割合が認められた。

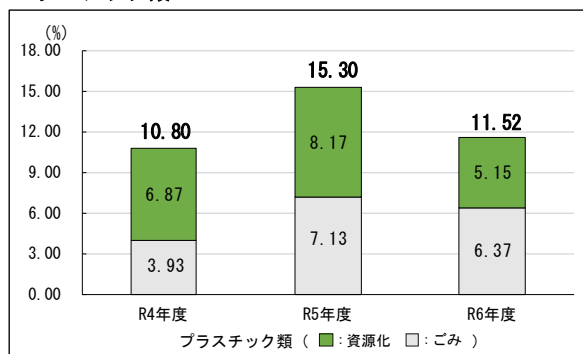
紙類



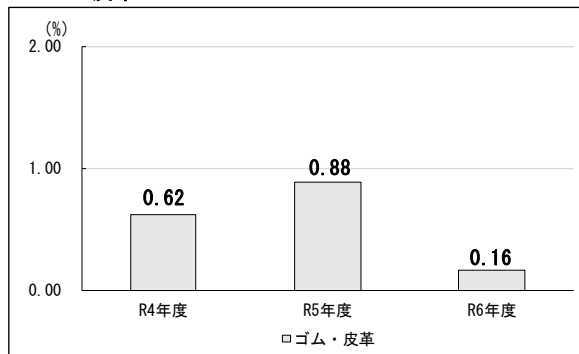
布類



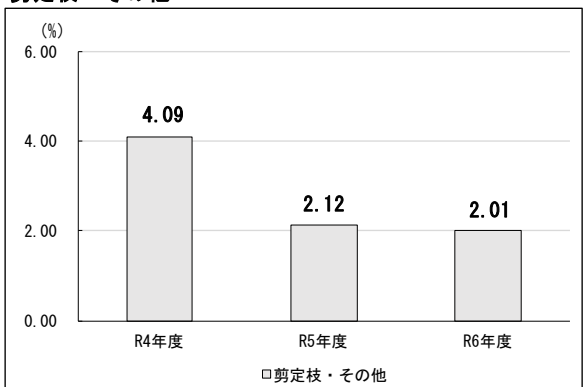
プラスチック類



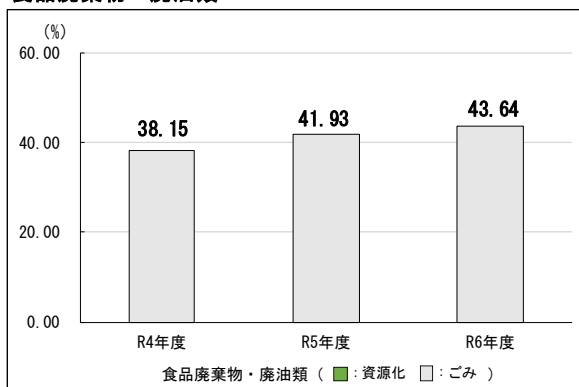
ゴム・皮革



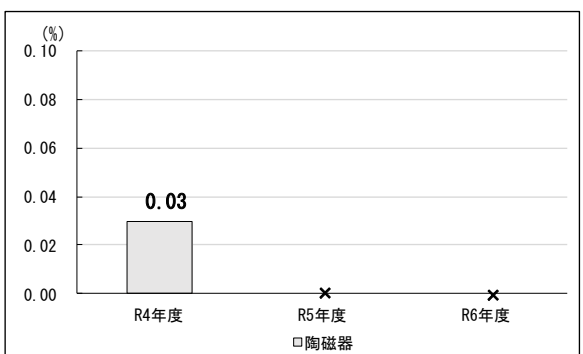
剪定枝・その他



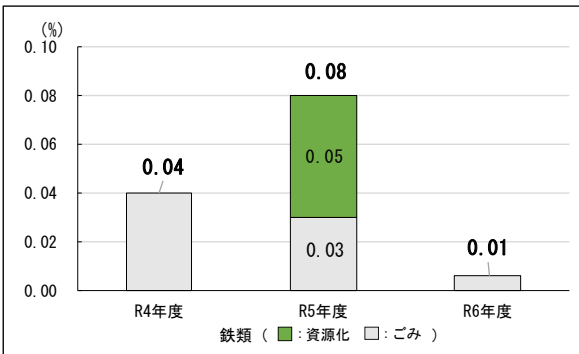
食品廃棄物・廃油類



陶磁器



鉄類



×：排出なし

図 4.1-1① 中分類別の経年変化(1)

- ・ **アルミ**

アルミの排出割合は、令和 5 年度で大きく減少し、以降減少傾向に推移している。
令和 5 年度では資源として回収可能なアルミの混入割合が認められた。

- ・ **その他金属**

令和 4 年度以降、その他金属の混入は認められていない。

- ・ **小型家電**

令和 5 年度で小型家電の混入が認められた。

- ・ **ガラス類**

令和 4 年度以降増加傾向に推移していたが、本年度では排出が認められなかった。

- ・ **有害ごみ**

令和 4 年度以降、有害ごみの混入は認められていない。

- ・ **その他不燃**

その他不燃の排出割合は、令和 5 年度で減少したが、本年度で大きく増加した。

- ・ **医療ごみ**

本年度で医療ごみの混入が認められた。

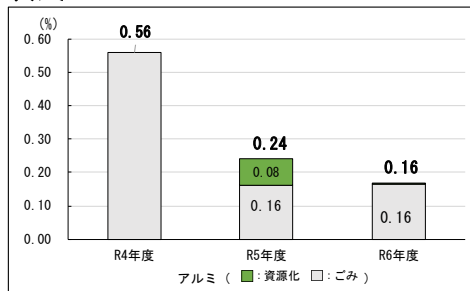
- ・ **その他可燃**

その他可燃の排出割合は、令和 5 年度で減少したが、本年度で増加に転じた。

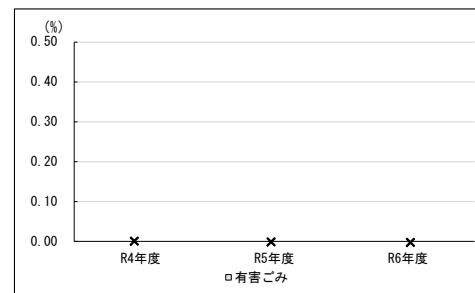
- ・ **処理困難物**

令和 4 年度以降、処理困難物の混入は認められていない。

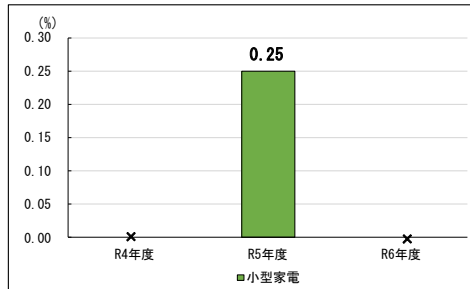
アルミ



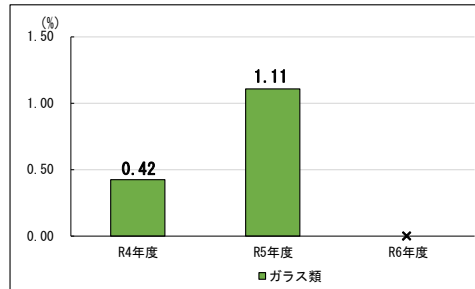
その他金属



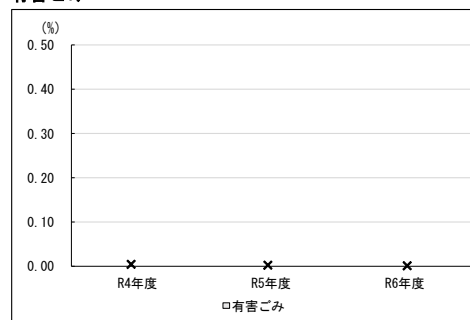
小型家電



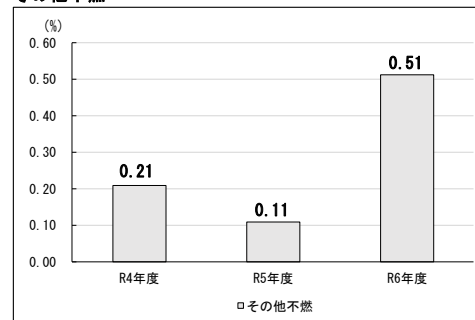
ガラス類



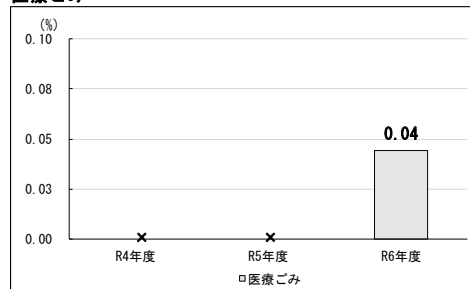
有害ごみ



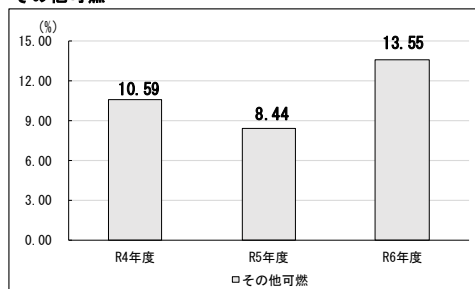
その他不燃



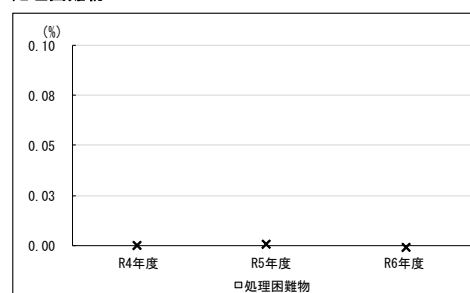
医療ごみ



その他可燃



処理困難物



×：排出なし

図 4.1-1② 中分類別の経年変化(2)

食品廃棄物の内訳

食品廃棄物の内訳についての令和4年度、令和5年度及び本年度の調査の比較は図4.1-2に示すとおりである。

可食部分（直接廃棄、食べ残し、過剰除去）は令和3年度以降増加傾向に推移していたが、本年度で減少している。

本年度は過去3年間の内で食品廃棄物量の割合が最も多く、可食部分の割合は最も少なかった。

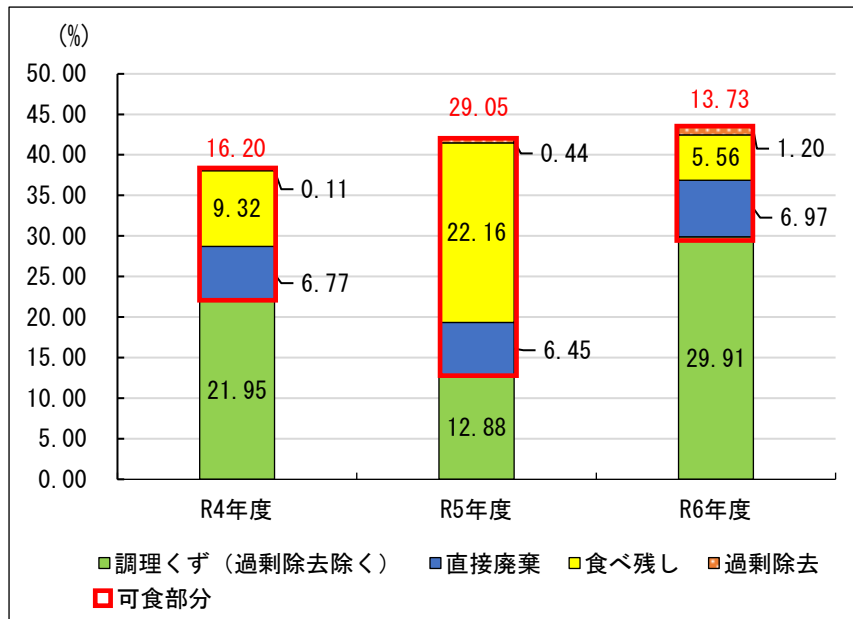


図 4.1-2 食品廃棄物（内訳）の経年変化

資料編

1. 寒川町のごみの出し方
2. 家庭系物理組成調査結果及び個別調査票（可燃ごみ）
3. 個別重量データ
4. 調査写真

1. 寒川町のごみの出し方

可燃ごみ

収集できるもの	注意すること
・生ごみ：調理くず、残飯など ・資源に出せない紙類：写真、感熱紙など ・CD・DVD・ビデオテープ（ケースも含む） ・資源に出せない衣類・布類： - 穴が空いているなど再利用できない衣類、台所用マットなど ・ビニール製品： - クリアファイル、レジャーシートなど ・ライター類（金属製ライターは除く） ・在宅医療用廃棄物で感染症の疑いがないもの	・生ごみは水分をよく切ってから出す ・ライター類は必ず使い切ってから出す ・プラスチック製容器包装で、汚れがひどい物は可燃ごみで出す ・在宅医療用廃棄物は、紙などに包んだ上、透明・半透明な袋に入れて出す

可燃粗大ごみ

収集できるもの	注意すること
・ホース ・枝木・幹（長さ 50cm 以下、直径 10cm 以下） ・クッション ・布団・じゅうたんなど	・<u>50 cm×50 cm×50 cm以下</u>、20kg までのものが集積所へ出せる →上記の大きさを超える場合は、大型ごみ・特別大型ごみ、もしくは直接搬入で出す ・剪定した枝木は、泥や土を落として、小さく束ねる ・袋を使用する場合は、透明・半透明の袋を使用する ・布団やじゅうたんは丸めず折りたたみ、十文字に縛って出す

不燃ごみ

収集できるもの	注意すること
・ 小型家電製品： 指定品目を除くドライヤー、電子レンジ、FAX、プリンターなど ・ 陶磁器：皿・茶碗など ・ ガラス製品： 鏡、破損した蛍光灯、電球（白熱・LED）、ガラス製品、板ガラスなど ・ 包丁などの刃物類 ・ 乾電池、ボタン電池（BR、CR のみ） ・ プラスチック製品： カミソリ、おもちゃ、バケツ、洗面器など	・ ガラス製品、包丁などの刃物類は、紙などに包み「危険」「注意」等の表示をして出す ・ 小型家電製品などに入っている電池は、取り出す ・ 乾電池、ボタン電池（BR、CR のみ）は、他の不燃ごみと別にして透明・半透明の袋に入れて出す ・ 充電式電池や、BR、CR を除くボタン電池は、回収協力店へ戻す ・ プラマークの表示があるものは、プラスチック製容器包装へ出す ・ <u>80 cm×50 cm×50 cm以下</u>、20kg までのものが集積所に出せる →上記の大きさを超える場合は、大型ごみ・特別大型ごみ、もしくは直接搬入で出す ・ 袋を使用する場合は、透明・半透明の袋を使用する

大型ごみ・特別大型ごみ

収集できるもの	注意すること
・ 大型ごみ： 廃棄自転車（令和4年4月1日より） 集積所に出せる基準を超えたもので2m未満のもの ・ 特別大型ごみ： 指定品目であって、一辺の長さが1mを超え、2m未満のもの ※指定品目 タンス、ベッド、ソファ、食器棚、机、サイドボード、書棚、テーブル、ドレッサー（鏡台）、チェスト	・ 幼児用自転車（ホイールが金属でないもの）は大きさが80 cm×50 cm×50 cm以下、20 kg以下までであれば不燃ごみとして出すことができる

プラスチック製容器包装

収集できるもの	注意すること
・ポリ袋、ラップ類、トレイ類、パック類、菓子などの個別包装類、ボトル類、チューブ類、発泡スチロール、緩衝材、ネット類、ペットボトル等のキャップ、ふた類	・容器包装類の中身は使い切り、洗うなど汚れを取り除く →汚れの落ちないものは可燃ごみで出す ・飛散を防ぐため、ひとつの袋になるべくつぶして詰め込む ・必ず町指定収集袋に入れて出す ・指定収集袋の中に口を縛った小袋をいれない（選別処理が困難となるため、二重袋にしない）
収集できないもの	
プラスチック製でプラマークの表示のないもの →可燃ごみで出す ・ビニールシート、ビデオテープ、カセットテープなど ・プラマークの表示はあるが汚れが落ちないもの、在宅医療用品（使用済点滴袋・チューブ、針が露出していない注射器） →不燃ごみで出す ・プラスチック製のおもちゃ、バケツ、洗面器、植木鉢、ハンガーなど、カミソリなど刃がついたもの →ペットボトルで出す ・ペットボトル	

古 紙

収集できるもの	注意すること
・新聞（折込チラシ含む） ・本・雑誌・雑紙（ポスター、ノート、封筒、ダイレクトメール、紙袋など） ・段ボール ・飲料用紙パック	・ひもで十字にしばって出す ・古紙を出す際は種類ごとに分けて出す 新聞： ・雨天時でも袋には入れないで、そのまま出す 本・雑誌・雑紙： ・雨天時でも袋には入れないで、そのまま出す ・シュレッダーで裁断した紙はできる限り空気を抜き、つぶして透明・半透明の袋に入れて出す ・細かなものは紙袋に入れて、飛散しないようテープなどで口を閉じて出す 段ボール： ・段ボールのほか、ボール紙、菓子箱、ラップの芯などの厚紙も一緒に出す 飲料紙パック： ・洗って切り開き、乾かしてから出す
収集できないもの	
→可燃ごみで出す ・紙コップ、写真、感熱紙、圧着はがき、写真付きはがき、ビニールコーティングされた紙、汚れた紙類、半紙、和紙、内側が茶色の紙パック、内側がアルミ箔の紙パックなど	

衣類布類

収集できるもの	注意すること
・不要になった衣類（くつ、バック、ベルト、ぬいぐるみなども含む）衣類（カーテン、毛布、タオルなど）	・汚れているものはきれいにして（洗濯して）から、透明・半透明な袋に入れて口を縛って出す
収集できないもの	
→可燃ごみで出す ・壊れたぬいぐるみやバックなど、そのままの状態では再利用できないもの ・金具のないもの、長ぐつ →可燃粗大ごみで出す ・布団、カーペット、じゅうたんなど →不燃ごみで出す ・金具のあるもの、スーツケース、キャリーバック、スキーぐつ、スケートぐつ	・なるべく天気の良い日に出す

び ん

収集できるもの	注意すること
・飲料・食料用のガラスびん、果実を漬ける広口びん、医薬品・化粧品用のびん	・すすいできれいにしてから出す →袋には入れずコンテナに直接ねかせて入れる ・ふたやつり手は取り除いて出す - リングは取り除ける場合取り除く →金属製のふた・つり手は不燃ごみへ出す →広口びんのつり手が取り除けない場合はびんごと不燃ごみへ出す →プラスチック製のふたはプラスチック製容器包装へ出す ・ラベルは簡単にはがせるものはがす ・コンテナの内側の線より上には入れない ・割れたびんも一緒に出す ・置場では静かに出す
収集できないもの → 不燃ごみ で出す ・鏡、コップ、農薬のびん、劇薬のびん、花びん、ガラス、耐熱ガラス、乳白色で中身のみえないびん、食器類、電球、灰皿、陶磁器など	

か ん

収集できるもの	注意すること
・飲料、酒類、菓子類、その他の食料用のかん、スプレーかん（ヘアスプレー、カセットボンベ、殺虫剤など）	・かんはすすいできれいにしてからつぶさずに出す →袋には入れずにネットへ直接入れる ・スプレーかんは中身を使い切り、穴を空けてから出す →かんと一緒に出す ・缶詰のふたは本体と一緒に「かん」に出す ・ラベルは簡単にはがせるものはがす ・置場では静かに出す
収集できないもの → 不燃ごみ で出す ・塗料用（ペンキ）かん、テニスボールのかんなど、飲料用ボトルのふた	

ペットボトル

収集できるもの	注意すること
・飲料、酒類、しょうゆ、みりんなどの飲食用のものに限る ・ペットマークの表示があるもの	・キャップとラベルを外し、すすいできれいにして、つぶしてネットに入れる →キャップとラベルはプラスチック製容器包装へ出す ・リングは取り除ける場合は取り除く ・置場では静かに出す
収集できないもの → 可燃ごみ で出す ・飲食用以外のもの、汚れが落ちないもの	

廃食用油

収集できるもの	注意すること
・食用油（サラダ油、オリーブオイル、菜種油などの植物油）	・揚げカス等は取り除き、冷ましてからペットボトルなどの透明・半透明のふたのできる容器に入れて、ふたをしてコンテナに入れる
収集できないもの	
→ 可燃ごみ で出す ・動物性油（ラードなど） ※自転車用エンジンオイル、工業用油などは販売店や専門業者に相談する	

金属類

収集できるもの	注意すること
・なべ、フライパン、細かな金属類 ※なべなどは取っ手が金属以外でも出せる	・80 cm×50 cm×50 cm以下までのものが集積所に出せる →これを超える場合は、大型ごみもしくは直接搬入で出す →例外として、金属製のトタンは180 cm×90 cm以下のものを出すことができる ・コンテナに入らないものは資源物置場に直接置く
収集できないもの	
→ 大型ごみ で出す ・自転車 → 不燃ごみ で出す ・ガラス製のなべぶた、幼児用自転車（ホイールで金属でないもの、80 cm×50 cm×50 cm以下、20 kgまで）	

蛍光灯・水銀式体温（血圧）計

収集できるもの	注意すること
・棒状蛍光灯、環状蛍光灯、電球蛍光灯、水銀式体温計、水銀式血圧計	・蛍光灯は割れないように購入時の箱や新聞紙に包む ・長さが140 cm以上の蛍光灯は大型ごみで出す ・直接搬入する場合は茅ヶ崎市環境事業センターへ持ち込む
収集できないもの	
→ 不燃ごみ へ出す ・割れてしまっている蛍光灯、水銀を使用していない電子式体温（血圧）計	

使用済み小型家電

収集できるもの	注意すること
・回収ボックスの投入口（30 cm×15 cm）に入るもの ・従来型携帯電話、PHS 端末、USB メモリ、メモリーカード、スマートフォン、ノートパソコン、タブレット型情報通信端末、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、HDD ドライブ、モデム、ルーター、チューナー、STB、携帯型デジタル音響機器、IC レコーダー、電子書籍端末（電子辞書含む）、デジタルゲーム機、ゲームソフト、電源テーブル、液晶モニタ（自動車用を含む）、デスクトップパソコン、レコーダー（DVD、HDD、BD）、プレイヤー（DVD、HDD、BD）、据置型デジタル音響機器、イヤホン、補聴器、電卓、電子血圧計、電子体温計、腕時計、カーステレオ、カーアンプ、VICS ユニット、ETC 車載ユニット、リモコン、AC アダプター、プラグ・ジャック、キーボード、マウス（コード有）、電動工具、計量用または測定用の電気機械器具、トースター、ホットプレート、アイロン、理容用機器類（コード付きに限る）、シェーバー（内歯/外歯を除く）、電動歯ブラシ（ブラシ部分を除く）、LED ランプ、電話機及び子機、ラジオ、アナログ音響器具、フィルムカメラ、リチウムイオン電池、ニッケル水素電池の 55 品目	・個人情報は初期化するなど必ず消去しておく ・は不燃ごみ ・電池は取り外す
収集できないもの	
→不燃ごみへ出す ・乾電池（アルカリ、マンガンなどの一次電池）、ボタン電池（BR、CR）、アダプター、リモコンなど →回収協力店へ出す ・ボタン電池（BR、CR 除く）、充電式電池	

（資料：寒川町ごみと資源物の正しい分け方・出し方（寒川ホームページ））

2. 家庭系ごみ物理組成調査結果及び個別調査票

① 調査1回目（家庭系可燃ごみ、家庭系不燃ごみ）

家庭系可燃ごみ

天候 前日:

気温:

17.0℃

天候 当日: 雨

全体見掛比重:

0.088kg/L 試料総重量:

35.914kg

収集地区: 奥川町

収集日: 10月29日

大分類	中分類	小分類(形状別)	湿ベース	湿ベース	見掛け	見掛け	備考 (主な排出物)	
			重量(kg)	百分率(%)	容量(L)	比重(kg/L)		
紙・布類	①紙類	容器包装	飲料用 アルミ無し	0.300	0.84	10.0	0.030	
			紙/バック アルミ付き	0.300	0.84	8.0	0.038	
			ダンボール	0.005	0.01	0.1	0.050	
			包装紙	0.050	0.14	2.0	0.025	
			紙容器	1.550	4.32	25.0	0.062	
		その他	0.450	1.25	15.0	0.030		
		容器包装以外	新聞・折込	0.400	1.11	25.0	0.016	
			雑誌・パンフレット	0.033	0.09	1.5	0.022	
			ざつ紙(再利用可能紙類)	0.500	1.39	15.0	0.033	
			その他(紙くず等)	3.850	10.72	65.0	0.059	
			小計	7.438	20.71	166.6	0.045	
	②布類	ウエス 利用可能なもの	0.930	2.59	8.0	0.116		
		その他	0.120	0.33	1.0	0.120		
		小計	1.050	2.92	9.0	0.117		
中計			8.488	23.63	175.6	0.048		
ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革	③プラスチック類	容器包装	ペットボトル 軟質					
			硬質					
			その他ボトル 軟質	0.043	0.12	0.1	0.430	
			硬質	0.140	0.39	0.3	0.467	
			トレイ 発泡スチロール 白色					
			褐色(有色)					
			レジ袋(未使用)					
			袋 その他(未使用)	0.400	1.11	20.0	0.020	
		容器包装以外	バック、カップ容器類	0.145	0.40	2.0	0.073	
			フィルム状の容器包装	0.050	0.14	2.0	0.025	
			汚れのあるプラスチック製容器包装	1.250	3.48	25.0	0.050	
			外袋として使用されている袋	0.845	2.35	45.0	0.019	
			軟質	0.099	0.28	5.0	0.020	
			硬質	0.107	0.30	1.0	0.107	
			その他(危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等)	0.046	0.13	0.8	0.058	
			小計	3.125	8.70	101.2	0.031	
	④ゴム・皮革		0.100	0.28	1.0	0.100		
	中計			3.225	8.98	102.2	0.032	
	木、竹、わら類	⑤剪定枝葉		0.900	2.51	25.0	0.036	
⑥その他		0.360	1.00	7.0	0.051			
中計			1.260	3.51	32.0	0.039		
厨芥類	⑦廃油類							
	⑧食品廃棄物	直接廃棄	3.068	8.54	30.0	0.102		
		食べ残し	2.760	7.69	8.0	0.345		
		調理くず等	9.470	26.37	25.0	0.379		
		通制除去(上記内数)	0.500	1.39	2.0	0.250		
	小計		15.298	42.60	63.0	0.243		
中計			15.298	42.60	63.0	0.243		
不燃物	⑨陶磁器							
	⑩鉄類	容器包装 飲食料缶						
		栓・キャップ						
		スプレー缶						
		その他						
	容器包装以外							
	小計		0.000	0.00	0.0			
	⑪アルミ	容器包装 飲食料缶						
		栓・キャップ	0.055	0.15	0.3	0.183		
		スプレー缶						
		その他						
	容器包装以外		0.013	0.04	0.1	0.130		
	小計		0.068	0.19	0.4	0.170		
	⑫その他金属							
	⑬小型家電							
	⑭ガラス類	容器包装 ワンウェイビン等						
		リターナブルビン						
		容器包装以外						
		小計		0.000	0.00	0.0		
⑮有害ごみ		蛍光灯						
		乾電池						
		水銀温度計						
	その他							
小計		0.000	0.00	0.0				
⑯その他不燃		0.245	0.68	1.0	0.245	乾燥剤		
中計			0.313	0.87	1.4	0.224		
その他	⑰医療ごみ	特別管理一般廃棄物						
		その他						
	小計		0.000	0.00	0.0			
	⑱その他可燃	紙おむつ	6.280	17.49	30.0	0.209		
		その他	1.050	2.92	5.0	0.210	タバコの吸殻、おこ砂	
	小計		7.330	20.41	35.0	0.209		
	⑲加処理困難物(自治体で収集・加処理できないもの)							
中計			7.330	20.41	35.0	0.209		
合計			35.914	100.00	409.2	0.088		

■プラスチック使用製品廃棄物・特定プラスチック使用製品

プラスチック使用製品廃棄物はプラスチック類詳細項目を基に記載すること

番号	中分類	小分類（形状別）	湿ベース 重量(kg)	湿ベース 百分率(%)	見掛け 容量(L)	見掛け 比重(kg/L)	備考 (主な排出物)
1	特定 プラスチック類	フォーク					
2		スプーン	0.0040		0.1	0.040	2本
3		ナイフ					
4		マドラー					
5		ストロー	0.0040		0.1	0.040	6本
6		ヘアブラシ					
7		くし					
8		かみそり					
9		シャワー用キャップ					
10		歯ブラシ					
11		ハンガー					
12		衣類用カバー					
	プラスチック 使用製品廃棄物	25. 容器包装以外-軟質					0.099
1		靴の中敷き	0.0060		0.3	0.020	
2		スポンジ	0.0160		0.2	0.080	
3		手袋	0.0080		0.5	0.016	
4		不織布マスク	0.0690		3.0	0.023	多数
		26. 容器包装以外-硬質					0.038
1		糸ようじ	0.0020		0.1	0.020	
2		プラスチック製のざる	0.0250		0.5	0.050	
3		スマホカバー	0.0100		0.2	0.050	
4		フック	0.0010		0.1	0.010	
		27. 容器包装以外-その他（危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等）					0.046
1		洗濯ばさみ	0.0110		0.1	0.110	
2		髪留め	0.0250		0.2	0.125	
3		アイブロー	0.0080		0.1	0.080	
4		糸ようじ	0.0010		0.1	0.020	
5		リボン（針金入り）	0.0010		0.1	0.020	

家庭系不燃ごみ

天候 前日:

気温:

17.0℃

天候 当日: 雨

全体見掛比重:

0.092kg/L 試料総重量:

55.117kg

収集地区: 栗川町

収集日: 10月28日

大分類	中分類	小分類(形状別)	湿ベース 重量(kg)	湿ベース 百分率(%)	見掛け 容量(L)	見掛け 比重(kg/L)	備考 (主な排出物)
紙・布類	①紙類	飲料用紙パック					
		アルミ無し					
		アルミ付き					
		ダンボール	0.150	0.27	8.0	0.019	
		包装紙					
		紙容器	0.021	0.04	0.3	0.070	
		その他	0.320	0.58	30.0	0.011	
		新聞・折込	0.100	0.18	5.0	0.020	
		雑誌・パンフレット					
		ざつ紙(再利用可能紙類)					
紙・布類	②布類	その他(紙くず等)	0.110	0.20	3.0	0.037	
		小計	0.701	1.27	46.3	0.015	
		ウエス利用可能なもの	3.310	6.01	40.0	0.083	ほとんが靴
		その他					
		小計	3.310	6.01	40.0	0.083	
		中計	4.011	7.28	86.3	0.046	
ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革	③プラスチック類	ペットボトル					
		軟質					
		硬質					
		その他ボトル	0.252	0.46	1.5	0.168	
		軟質					
		硬質	1.718	3.12	30.0	0.057	
		トレイ					
		発泡スチロール					
		白色					
		褐色(有色)					
木、竹、わら類	④ゴム・皮革	レジ袋(未使用)					
		その他(未使用)	1.120	2.03	20.0	0.056	
		バック、カップ容器類	0.050	0.09	2.0	0.025	
		フィルム状の容器包装	0.030	0.05	1.0	0.030	
		汚れたあるプラスチック製容器包装	0.300	0.54	5.0	0.060	
		外袋として使用されている袋	0.500	0.91	60.0	0.008	
		軟質	0.567	1.03	35.0	0.016	
		硬質	6.623	12.02	90.0	0.074	
		その他(危険物、電池内蔵品、プラ軍一ではないもの等)	3.886	7.05	60.0	0.065	
		小計	15.046	27.30	304.5	0.049	
厨芥類	⑤剪定枝葉	中計	15.046	27.30	304.5	0.049	
		⑥その他	0.350	0.64	2.5	0.140	
		中計	0.350	0.64	2.5	0.140	
		⑦廃油類					
		直接廃棄					
		食べ残し					
		調理くず等					
		通制除去(上記内数)					
		小計	0.000	0.00	0.0		
		中計	0.000	0.00	0.0		
不燃物	⑧陶磁器	中計	13.000	23.59	30.0	0.433	
		⑨鉄類					
		飲料用缶					
		栓・キャップ	0.450	0.82	1.5	0.300	
		スプレー缶					
		その他					
		容器包装以外	3.500	6.35	35.0	0.100	
		小計	3.950	7.17	36.5	0.108	
		⑩アルミ					
		飲料用缶					
その他	⑪小型家電	栓・キャップ	0.250	0.45	1.0	0.250	
		スプレー缶	0.450	0.82	7.0	0.064	
		その他					
		容器包装以外	2.350	4.26	40.0	0.059	
		小計	3.050	5.53	48.0	0.064	
		⑫その他金属					
		小型家電	2.950	5.35	50.0	0.059	ドライヤー、煮沸かし器、掃除機など
		ワンウェイビン等	2.560	4.64	5.0	0.512	
		リターナブルビン					
		容器包装以外	7.820	14.19	25.0	0.313	
その他	⑬ガラス類	小計	10.380	18.83	30.0	0.346	
		蛍光管	1.197	2.17	10.0	0.120	
		乾電池	0.563	1.02	0.7	0.804	
		水銀温度計					
		その他					
		小計	1.760	3.19	10.7	0.164	
		⑭有害ごみ					
		その他					
		小計					
		⑮その他不燃					
		中計	35.090	63.66	205.2	0.171	
その他	⑯医療ごみ	特別管理一般廃棄物					
		その他					
		小計	0.000	0.00	0.0		
		紙おむつ					
		その他	0.620	1.12	1.5	0.413	保冷剤
		小計	0.620	1.12	1.5	0.413	
		⑰処理困難物(自治体で収集・処理できないもの)					
		中計	0.620	1.12	1.5	0.413	
		中計	55.117	100.00	600.0	0.092	

■プラスチック使用製品廃棄物・特定プラスチック使用製品

プラスチック使用製品廃棄物はプラスチック類詳細項目を基に記載すること

番号	中分類	小分類（形状別）	湿ベース 重量(kg)	湿ベース 百分率(%)	見掛け 容量(L)	見掛け 比重(kg/L)	備考 (主な排出物)
1	特定 プラスチック類	フォーク					
2		スプーン					
3		ナイフ					
4		マドラー					
5		ストロー					
6		ヘアブラシ					
7		くし					
8		かみそり					
9		シャワー用キャップ					
10		歯ブラシ					
11		ハンガー					
12		衣類用カバー					
	プラスチック 使用製品廃棄物	25. 容器包装以外-軟質					0.567
1		袋	0.2640		30.0	0.009	
2		ビニール紐+袋	0.2680		10.0	0.027	
3		靴の中敷き	0.0350		2.0	0.018	
		26. 容器包装以外-硬質					6.623
1		手桶	0.1790		2.0	0.090	
2		ペン立て	0.0690		0.5	0.138	
3		水槽用の置物	0.1950		1.0	0.195	
4		文房具	0.1560		2.0	0.078	
5		マジックペン	0.0210		0.2	0.105	
6		CD+ケース	0.0710		0.5	0.142	
7		歯ブラシ	0.0560		0.5	0.112	
8		食器類	0.9300		9.0	0.103	
9		保存容器類	4.5000		80.0	0.056	
10		ブラシ	0.3300		3.0	0.110	
11		玩具	0.0760		1.0	0.076	
12		髪染めブラシ	0.0400		0.5	0.080	
		27. 容器包装以外-その他（危険物、電池内蔵品、ブラ単一ではないもの等）					3.886
1		角型ハンガー	2.4500		30.0	0.082	
2		ばね秤	0.5000		2.0	0.250	
3		髭剃りの替え刃	0.0140		0.1	0.140	
4		壁スイッチ	0.0880		0.2	0.440	
5		眼鏡	0.0390		0.3	0.130	
6		ハンガー	0.0540		1.0	0.054	
7		眼鏡ケース	0.0780		0.3	0.260	
8		使い捨てライター	0.1610		0.8	0.201	
9		クリップ	0.0280		0.1	0.280	
10		玩具	0.0130		0.1	0.130	
11		蛇口のハンドル	0.0580		0.3	0.193	
12		放水銃の先端	0.0930		0.2	0.465	
13		髪留め	0.0100		0.1	0.100	
14		洗濯ばさみ	0.1010		1.0	0.101	
15		化粧道具	0.1440		0.5	0.288	
16		剃刀	0.0110		0.1	0.110	
17		ペン	0.0440		0.3	0.147	

② 調査2回目（家庭系可燃ごみ、家庭系不燃ごみ）

家庭系可燃ごみ

天候 前日:

気温:

9.6℃

天候 当日: 晴れ

全体見掛比重:

0.073kg/L 試料総重量:

35.008kg

収集地区: 栗川町

収集日: 1月21日

大分類	中分類	小分類(形状別)		湿ベース 重量(kg)	湿ベース 百分率(%)	見掛け 容量(L)	見掛け 比重(kg/L)	備考 (主な排出物)	
紙・布類	①紙類	容器 包装	飲料用	アルミ無し	0.350	1.00	10.0	0.035	
			紙パック	アルミ付き	0.200	0.57	5.0	0.040	
			ダンボール		0.130	0.37	5.0	0.026	
			包装紙		0.048	0.14	3.0	0.016	
			紙容器		1.152	3.29	40.0	0.029	
		その他		0.300	0.86	10.0	0.030		
		容器 包装 以外	新聞・折込	0.150	0.43	3.0	0.050		
			雑誌・パンフレット	0.320	0.91	8.0	0.040		
			ざつ紙(再利用可能紙類)	0.850	2.43	20.0	0.043		
			その他(紙くず等)	5.100	14.57	80.0	0.064		
		小計		8.600	24.57	184.0	0.047		
	②布類	ウエス利用可能なもの	2.200	6.28	12.0	0.183			
		その他	0.800	2.29	5.0	0.160			
		小計		3.000	8.57	17.0	0.176		
中計				11.600	33.14	201.0	0.058		
ビニール、 合成樹脂、 ゴム、皮革	③プラスチ ック類	容器 包装	ペット	軟質					
			ボトル	硬質	0.080	0.23	0.5	0.160	
			その他ボ トル	軟質	0.120	0.34	0.5	0.240	
				硬質	0.120	0.34	1.0	0.120	
			トレイ	発泡スチ ロール	0.080	0.23	5.0	0.016	
				白色	0.150	0.43	8.0	0.019	
				褐色(有色)					
			袋	レジ袋(未使用)	0.250	0.71	20.0	0.013	
				その他(未使用)	1.000	2.86	35.0	0.029	
				バック、カップ容器類	0.550	1.57	25.0	0.022	
		容器 包装 以外	フィルム状の容器包装	0.500	1.43	30.0	0.017		
			汚れのあるプラスチック製容器包装	0.448	1.28	20.0	0.022		
			外袋として使用されている袋	0.302	0.86	30.0	0.010		
			軟質	0.730	2.09	20.0	0.037		
			硬質	0.175	0.50	3.3	0.053		
			その他(危険物、電池内蔵品、プラ単一ではないもの等)	0.515	1.47	1.5	0.343		
	小計		5.020	14.34	199.8	0.025			
	④ゴム・皮革			0.015	0.04	0.5	0.030	輪ゴムなど	
	中計			5.035	14.38	200.3	0.025		
	木、竹、わら 類	⑤剪定枝葉							
⑥その他		0.180	0.51	1.5	0.120				
中計		0.180	0.51	1.5	0.120				
厨芥類	⑦廃油類								
	⑧食品廃棄 物	直接廃棄	1.892	5.40	12.0	0.158			
		食べ残し	1.200	3.43	3.0	0.400			
		調理くず等	12.550	35.85	41.0	0.306			
		通制除去(上記内数)	0.350	1.00	1.0	0.350			
	小計		15.642	44.68	56.0	0.279			
中計			15.642	44.68	56.0	0.279			
不燃物	⑨陶磁器								
	⑩鉄類	容器 包装	飲食料缶						
			栓・キャップ						
			スプレー缶						
			その他						
			容器包装以外	0.004	0.01	0.1	0.040		
	小計		0.004	0.01	0.1	0.040			
	⑪アルミ	容器 包装	飲食料缶						
			栓・キャップ						
			スプレー缶						
			その他	0.002	0.01	0.5	0.004		
	容器包装以外	0.049	0.14	2.0	0.025				
	小計		0.051	0.15	2.5	0.020			
	⑫その他金属								
	⑬小型家電								
	⑭ガラス類	容器 包装	ワンウェイビン等						
			リターナブルビン						
			容器包装以外						
	小計		0.000	0.00	0.0				
⑮有害ごみ		蛍光灯							
		乾電池							
		水銀温度計							
		その他							
小計		0.000	0.00	0.0					
⑯その他不燃		0.120	0.34	0.5	0.240	乾燥剤			
中計		0.175	0.50	3.1	0.056				
その他	⑰医療ごみ	特別管理一般廃棄物							
		その他	0.031	0.09	0.2	0.155	インスリン自己注射器(針なし)		
		小計	0.031	0.09	0.2	0.155			
	⑱その他可 燃	紙おむつ	1.145	3.27	10.0	0.115			
		その他	1.200	3.43	5.0	0.240	タバコの吸殻、保冷剤、髪の毛など		
		小計	2.345	6.70	15.0	0.156			
	⑲処理困難物(自治体で収集・処理できないもの)								
中計		2.376	6.79	15.2	0.156				
合計			35.008	100.00	477.1	0.073			

■プラスチック使用製品廃棄物・特定プラスチック使用製品

プラスチック使用製品廃棄物はプラスチック類詳細項目を基に記載すること

番号	中分類	小分類（形状別）	湿ベース 重量(kg)	湿ベース 百分率(%)	見掛け 容量(L)	見掛け 比重(kg/L)	備考 (主な排出物)
1	特定 プラスチック類	フォーク					
2		スプーン	0.0050		0.2	0.025	
3		ナイフ					
4		マドラー					
5		ストロー	0.0030		0.1	0.030	2本
6		ヘアブラシ					
7		くし					
8		かみそり					
9		シャワー用キャップ					
10		歯ブラシ					
11		ハンガー					
12		衣類用カバー					
	プラスチック 使用製品廃棄物	25. 容器包装以外-軟質					0.730
1		PPバンド	0.0060		3.0	0.002	
2		養生テープ	0.0160		2.0	0.008	
3		スポンジ	0.0080		0.2	0.040	
4		袋	0.3300		5.0	0.066	
5		不織布マスク	0.3700		10.0	0.037	多数
		26. 容器包装以外-硬質					0.167
1		ボトル	0.0400		1.0	0.040	
2		何かの部品	0.0700		0.5	0.140	
3		止め具	0.0120		0.2	0.060	
4		歯ブラシ（特定ブラでないもの）	0.0280		0.5	0.056	
5		ストロー（特定ブラでないもの）	0.0030		0.2	0.015	
6		糸ようじ	0.0030		0.2	0.015	
7		カード	0.0060		0.1	0.060	
8		何かの部品（カバー？）	0.0050		0.2	0.025	
		27. 容器包装以外-その他（危険物、電池内蔵品、ブラ単一ではないもの等）					0.515
1		バインダー	0.1670		1.0	0.167	
2		シリコン？	0.3480		0.5	0.696	

家庭系不燃ごみ

天候 前日:

気温:

12.1℃

天候 当日: 晴れ

全体見掛比重:

0.080kg/L 試料総重量:

42174kg

収集地区: 赤川町

収集日:

1月21日

大分類	中分類	小分類(形状別)		湿ベース 重量(kg)	湿ベース 百分率(%)	見掛け 容量(L)	見掛け 比重(kg/L)	備考 (主な排出物)	
紙・布類	①紙類	容器 包装	飲料用 紙パック	アルミ無し アルミ付き					
			ダンボール						
			包装紙						
			紙容器						
			その他						
		容器 包装 以外	新聞・折込						
			雑誌・パンフレット						
			ざつ紙(再利用可能紙類)	0.062	0.15	0.2	0.310		
		その他(紙くず等)	0.026	0.06	0.5	0.052			
		小計		0.088	0.21	0.7	0.126		
②布類	ウエス利用可能なもの								
	その他								
	小計		0.000	0.00	0.0				
中計			0.088	0.21	0.7	0.126			
ビニール、 合成樹脂、 ゴム、皮革	③プラスチック類	容器 包装	ペット ボトル	軟質 硬質	0.122 0.600	0.29 1.42	0.5 10.0	0.244 0.060	
			その他ボ トル	軟質 硬質					
			トレイ	発泡スチ ロール	白色 褐色(有色)				
				袋	レジ袋(未使用) その他(未使用)				
				バック、カップ容器類		0.036	0.09	0.5	0.072
			フィルム状の容器包装		0.004	0.01	0.3	0.013	
			汚れのあるプラスチック製容器包装		0.940	2.23	12.0	0.078	
			外袋として使用されている袋		0.430	1.02	60.0	0.007	
			軟質		1.013	2.40	23.0	0.044	
			硬質		11.302	26.80	151.8	0.074	
		容器 包装 以外	その他(危険物、電池内蔵品、プラ単一 ではないもの等)	3.405	8.07	42.6	0.080		
			小計		17.852	42.33	300.7	0.059	
		④ゴム・皮革			4.766	11.30	40.0	0.119	消しゴム、ゴムサンダル、グローブ3つ、かぼん
		中計			22.618	53.63	340.7	0.066	
		木、竹、わら 類	⑤剪定枝葉						
			⑥その他						
			中計			0.000	0.00	0.0	
厨芥類	⑦廃油類								
	⑧食品廃棄物	直接廃棄							
		食べ残し							
		調理くず等							
		過剰除去(上記内数)							
中計			0.000	0.00	0.0				
不燃物	⑨陶磁器			7.850	18.61	20.0	0.393		
	⑩鉄類	容器 包装	飲食料缶		0.042	0.10	20.0	0.002	
			栓・キャップ		0.160	0.38	0.2	0.800	
			スプレー缶						
			その他		0.126	0.30	0.3	0.420	
			容器包装以外		1.320	3.13	3.0	0.440	
	小計		1.648	3.91	23.5	0.070			
	⑪アルミ	容器 包装	飲食料缶		0.100	0.24	1.5	0.067	
			栓・キャップ		0.100	0.24	0.2	0.500	
			スプレー缶					未使用	
			その他						
			容器包装以外		0.124	0.29	1.0	0.124	
	小計		0.324	0.77	2.7	0.120			
	⑫その他金属								
	⑬小型家電			1.970	4.67	10.0	0.197	腕時計、リモコン、スライサーなど	
	⑭ガラス類	容器 包装	ワンウェイビン等		1.000	2.37	2.0	0.500	
			リターナブルビン						
容器包装以外				3.560	8.44	8.0	0.445		
小計				4.560	10.81	10.0	0.456		
⑮有害ごみ			蛍光管 乾電池 水銀温度計 その他		0.167	0.40	0.5	0.334	
	小計			0.167	0.40	0.5	0.334		
⑯その他不燃			2.521	5.98	20.3	0.124	バラバラの扇風機、乾燥剤		
中計			19.040	45.15	87.0	0.219			
その他	⑰医療ごみ	特別管理一般廃棄物							
		その他							
		小計		0.000	0.00	0.0			
	⑱その他可燃	紙おむつ							
		その他		0.428	1.01	0.5	0.856		
		小計		0.428	1.01	0.5	0.856		
⑲加処理困難物(自治体で収集・処理できないもの)									
中計			0.428	1.01	0.5	0.856			
合計			42.174	100.00	428.9	0.098			

■プラスチック使用製品廃棄物・特定プラスチック使用製品

プラスチック使用製品廃棄物はプラスチック類詳細項目を基に記載すること

番号	中分類	小分類（形状別）	湿ベース 重量(kg)	湿ベース 百分率(%)	見掛け 容量(L)	見掛け 比重(kg/L)	備考 (主な排出物)
1	特定 プラスチック類	フォーク					
2		スプーン					
3		ナイフ					
4		マドラー					
5		ストロー					
6		ヘアブラシ					
7		くし					
8		かみそり					
9		シャワー用キャップ					
10		歯ブラシ					
11		ハンガー	0.0800		2.0	0.040	
12		衣類用カバー					
		25. 容器包装以外-軟質					1.013
1	プラスチック 使用製品廃棄物	クリアファイル	0.2640		5.0	0.053	
2		シャワー用キャップ（特定ブラでないもの）	0.0110		1.0	0.011	
3		コーナークッション	0.5000		10.0	0.050	
4		物入れ	0.0600		1.0	0.060	
5		PPバンド	0.0180		2.0	0.009	
6		カード入れ	0.0820		2.0	0.041	
7		ファイル入れ	0.0780		2.0	0.039	
		26. 容器包装以外-硬質					11.222
1		食器・カップ類	1.5500		25.0	0.062	
2		ざる	0.0380		1.5	0.025	
3		かご	0.4400		5.0	0.088	
4		くし	0.0160		0.2	0.080	
5		ブラシ	0.0460		0.5	0.092	
6		毛抜き	0.0080		0.1	0.080	
7		歯ブラシ（特定ブラでないもの）	0.0250		0.3	0.083	
8		ボトル	0.0690		0.5	0.138	
9		クリップ	0.0080		0.1	0.080	
10		ペン	0.0060		0.1	0.060	
11		壁フック	0.0120		0.1	0.120	
12		フック	0.0130		0.1	0.130	
13		スポンジ	0.0060		0.2	0.030	
14		掃除ブラシ	0.0370		0.3	0.123	
15		タオル掛け	0.3500		10.0	0.035	
16		おぼん	0.4200		3.0	0.140	
17		平ケース	0.2000		2.0	0.100	
18		まな板	0.8600		5.0	0.172	
19		水槽セット	1.7800		10.0	0.178	
20		哺乳瓶洗浄セット	0.6000		5.0	0.120	
21		タオル掛け	0.0630		2.0	0.032	
22		ハンガー（特定ブラでないもの）	0.1400		2.0	0.070	
23		スマホカバー	0.0350		0.3	0.117	
24		玩具 1	0.3100		3.0	0.103	
25		こりほぐし	0.2400		3.0	0.080	
26		玩具 2	3.5800		70.0	0.051	
27		健康足ふみ	0.1700		2.0	0.085	
28		その他不明	0.2000		0.5	0.400	
		27. 容器包装以外-その他（危険物、電池内蔵品、ブラ単一ではないもの等）					3.405
1		空気入れ	0.0890		1.0	0.089	
2		家具の足	0.0960		0.5	0.192	
3		家具の足ローラー	0.0980		0.5	0.196	
4		洗濯ばさみ	0.0340		0.2	0.170	
5		玩具	2.0000		25.0	0.080	
6		クリスマスツリー	0.3700		10.0	0.037	
7		スプリングメジャー	0.0290		0.1	0.290	
8		ペン	0.0650		0.2	0.325	
9		コンパス	0.0320		0.1	0.320	
10		インクカートリッジ	0.0370		0.2	0.185	
11		ライター	0.0310		0.1	0.310	
12		包丁研ぎ	0.0750		0.3	0.250	
13		サングラス	0.0290		0.2	0.145	
14		ボトル	0.0500		0.5	0.100	
15		キーホルダー	0.1570		1.0	0.157	
16		ハンドライト	0.0680		0.2	0.340	
17		鋭利リ+替え刃	0.1450		0.5	0.290	

3. 個別重量データ

① 調査 1 回目（家庭系可燃ごみ、家庭系不燃ごみ）

調査地区： 寒川町

天候前日： 曇り

調査期日： 2024. 10. 29 (火)

当日： 雨

気温： 17. 0℃

N o	重量 (kg)	備考	N o	重量 (kg)	備考
1	2. 00		31	2. 70	
2	2. 00		32	1. 48	
3	3. 94		33	2. 22	
4	2. 18		34	1. 90	
5	3. 50		35	2. 21	
6	2. 40		36	3. 09	
7	1. 05		37	0. 70	
8	2. 10		38	2. 41	
9	4. 31		39	2. 03	
10	2. 50		40	4. 29	
11	2. 32		41	1. 30	
12	2. 20		42	0. 55	
13	2. 12		43	2. 80	
14	1. 40		44	0. 96	
15	2. 98		45	2. 32	
16	3. 77		46	0. 82	
17	4. 65		47	3. 41	
18	2. 58		48	1. 75	
19	1. 66		49	1. 50	
20	3. 20		50	2. 52	
21	4. 17		51	0. 76	
22	1. 95		52	2. 00	
23	1. 50		53	2. 29	
24	1. 40		54	3. 40	
25	3. 00		55	1. 28	
26	3. 30		56	1. 10	
27	3. 61		57	0. 98	
28	2. 96		58	2. 44	
29	0. 82		59	1. 96	
30	0. 68		60	2. 2	

合計	135. 62
平均	2. 34

調査地区：寒川町
調査期日：2024.10.29(火)

天候前日：曇り
当日：雨
気温：17.0℃

N o	重量 (kg)	備考	N o	重量 (kg)	備考
1	1.00		31	2.61	
2	0.26		32	0.56	
3	0.67		33		
4	0.52		34		
5	0.90		35		
6	0.26		36		
7	1.25		37		
8	1.06		38		
9	2.07		39		
10	0.85		40		
11	0.27		41		
12	0.10		42		
13	0.10		43		
14	1.12		44		
15	0.19		45		
16	0.66		46		
17	5.11		47		
18	1.15		48		
19	1.20		49		
20	2.00		50		
21	2.46		51		
22	1.71		52		
23	2.10		53		
24	5.31		54		
25	1.96		55		
26	8.18		56		
27	0.72		57		
28	8.10		58		
29	0.33		59		
30	0.52		60		

合計	55.30
平均	0.95

② 調査２回目（家庭系可燃ごみ、家庭系不燃ごみ）

調査地区： 寒川町

天候前日： 晴れ

調査期日： 2025. 01. 21 (火)

当日： 晴れ

気温： 12.1℃

N o	重量 (kg)	備考	N o	重量 (kg)	備考
1	2.84		31	0.58	
2	0.95		32	1.25	
3	8.20		33	2.79	
4	2.06		34	0.45	
5	5.60		35	0.40	
6	1.85		36	2.67	
7	4.04		37	3.30	
8	2.23		38	0.46	
9	4.82		39	1.16	
10	1.27		40	1.31	
11	2.48		41	0.72	
12	2.71		42	3.90	
13	4.78		43	2.96	
14	3.35		44	1.05	
15	0.90		45	2.53	
16	0.85		46	3.26	
17	2.71		47	0.95	
18	1.84		48	2.70	
19	1.22		49	3.71	
20	1.68		50	1.37	
21	1.32		51	1.22	
22	0.96		52	2.90	
23	1.45		53	2.62	
24	6.16		54	2.14	
25	2.84		55	0.72	
26	2.37		56	1.33	
27	0.99		57	1.52	
28	1.72		58	1.50	
29	0.60		59	0.90	
30	0.62		60	1.65	

合計	129.43
平均	2.23

調査地区：寒川町
調査期日：2025.1.21(火)

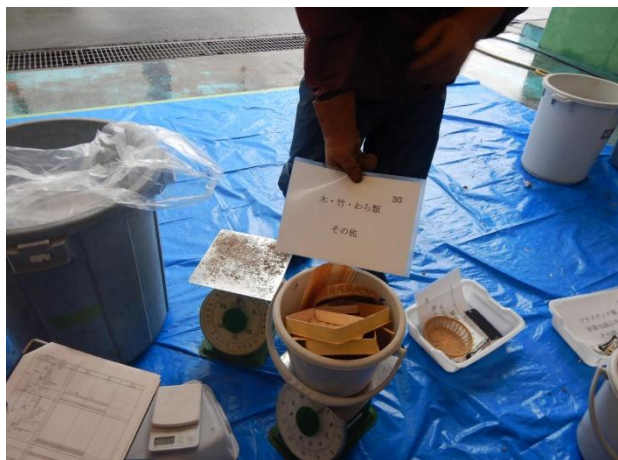
天候前日： 晴れ
当日： 晴れ
気温： 12.1℃

N o	重量 (kg)	備考	N o	重量 (kg)	備考
1	2.80		31	1.02	
2	1.36		32	1.03	
3	1.20		33	1.21	
4	4.47		34	0.71	
5	3.45		35	4.32	
6	1.86		36	3.41	
7	1.27		37	1.50	
8	3.10		38	4.79	
9	2.26		39	5.28	
10	2.75		40	3.60	
11	2.50		41	8.47	
12	1.60		42	3.10	
13	1.74		43	0.80	
14	3.70		44	1.38	
15	0.85		45	4.24	
16	2.93		46	0.20	
17	2.60		47	0.40	
18	1.25		48	2.04	
19	1.81		49	3.43	
20	1.76		50	1.42	
21	2.30		51	2.20	
22	1.65		52	2.13	
23	3.45		53	0.98	
24	3.54		54	1.50	
25	4.95		55	4.97	
26	3.00		56	4.35	
27	3.48		57	3.95	
28	4.20		58	4.20	
29	2.16		59	2.15	
30	5.50		60	3.20	

合計	161.47
平均	2.78

4. 調査写真

①（家庭系可燃ごみ、家庭系不燃ごみ、）

月 日	令和 6 年 10 月 29 日	家庭系可燃ごみ
		
収集状況	分析試料（簡易縮分後）	
		
分類状況①	分類状況②	
		
計量状況	特定プラスチック使用製品	

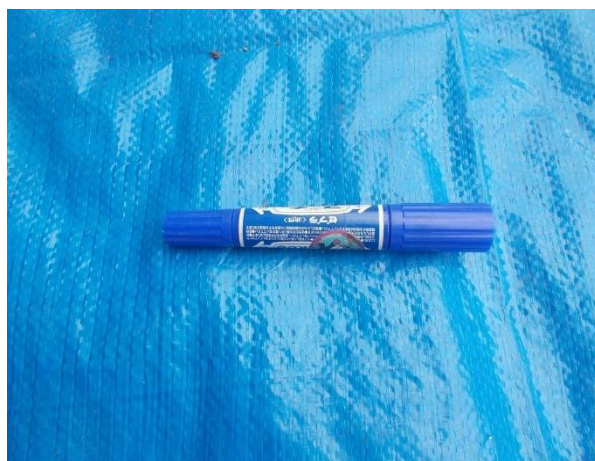
月 日	令和 6 年 10 月 29 日	家庭系可燃ごみ
		
特定プラスチック使用製品	食べ残し、調理くず等	
		
直接廃棄	プラスチック類-容器包装以外-軟質 スポンジ	
		
プラスチック類-容器包装以外-軟質 靴の中敷き	プラスチック類-容器包装以外-軟質 不織布マスク	

月 日	令和6年10月29日	家庭系可燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 ざる	プラスチック類-容器包装以外-硬質 スマホカバー	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 フック	プラスチック類-容器包装以外-硬質 糸ようじ	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 アイブロー	プラスチック類-容器包装以外-その他 リボン（針金入り）	

月 日	令和 6 年 10 月 29 日	家庭系可燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 糸ようじ	プラスチック類-容器包装以外-その他 洗濯ばさみ	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 髪留め		

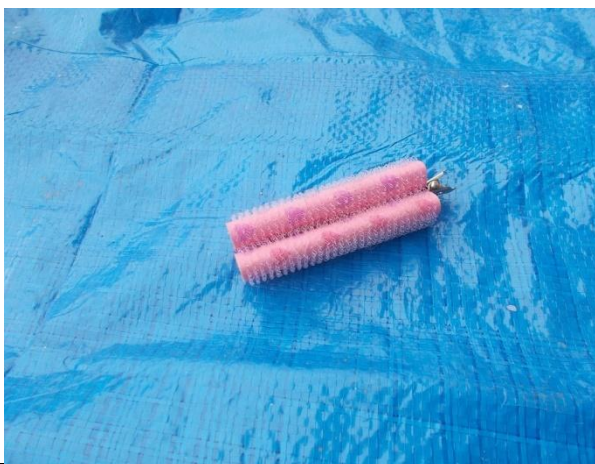
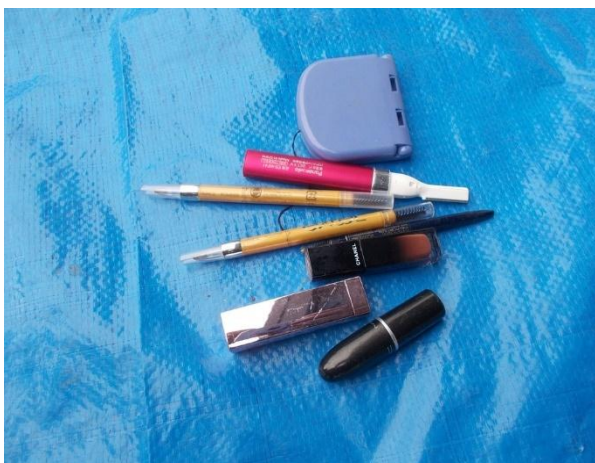
月 日	令和6年10月29日	家庭系不燃ごみ
		
収集状況		分析試料（縮分せず）
		
分類状況①		分類状況②
		なし
計量状況		特定プラスチック使用製品

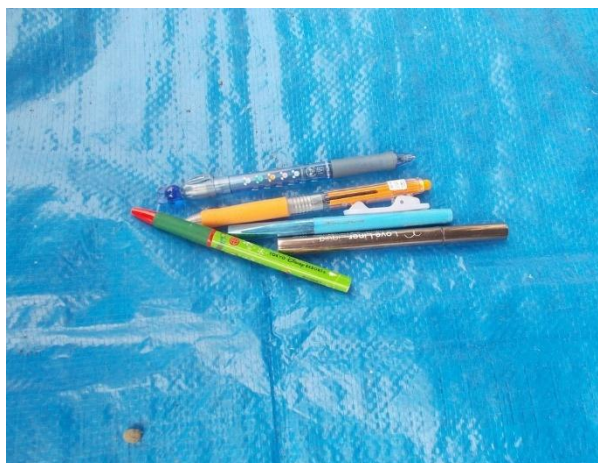
月 日	令和 6 年 10 月 29 日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-軟質 袋	プラスチック類-容器包装以外-軟質 ビニール紐と袋	
		
プラスチック類-容器包装以外-軟質 靴の中敷き	プラスチック類-容器包装以外-硬質 手桶	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 ペン立て	プラスチック類-容器包装以外-硬質 水槽用の置物	

月 日	令和 6 年 10 月 29 日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 文房具		プラスチック類-容器包装以外-硬質 マジックペン
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 CD とケース		プラスチック類-容器包装以外-硬質 歯ブラシ
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 食器類		プラスチック類-容器包装以外-硬質 保存容器

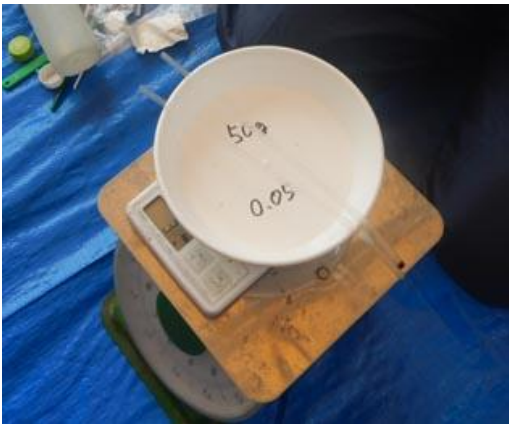
月 日	令和 6 年 10 月 29 日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 ブラシ	プラスチック類-容器包装以外-硬質 玩具	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 毛染めブラシ	プラスチック類-容器包装以外-その他 角型ハンガー	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 ばね秤	プラスチック類-容器包装以外-その他 髭剃りの替え刃	

月 日	令和6年10月29日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 壁スイッチ	プラスチック類-容器包装以外-その他 眼鏡	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 ハンガー	プラスチック類-容器包装以外-その他 眼鏡ケース	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 使い捨てライター	プラスチック類-容器包装以外-その他 クリップ	

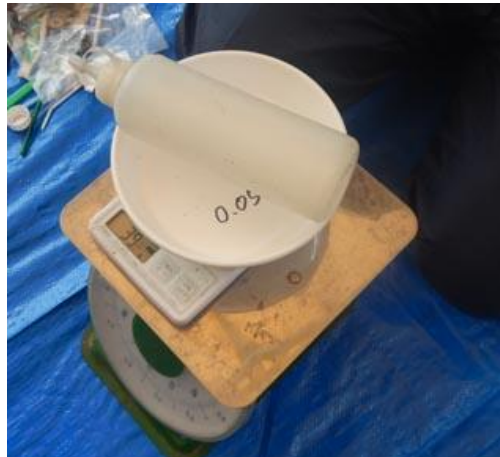
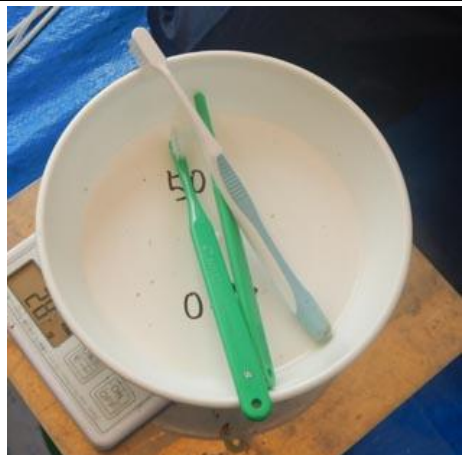
月 日	令和6年10月29日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 玩具	プラスチック類-容器包装以外-その他 蛇口のハンドル	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 放水銃の先端	プラスチック類-容器包装以外-その他 髪留め	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 洗濯ばさみ	プラスチック類-容器包装以外-その他 化粧道具	

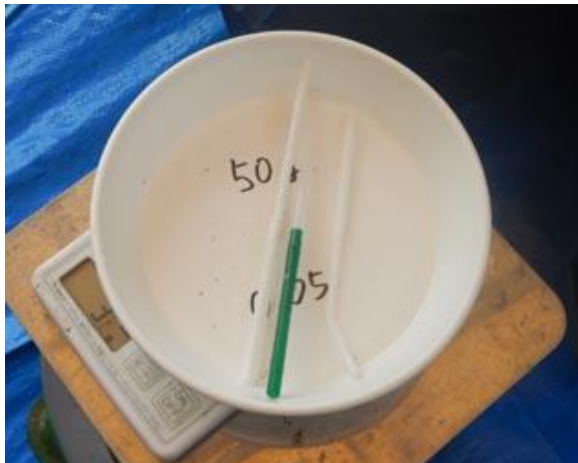
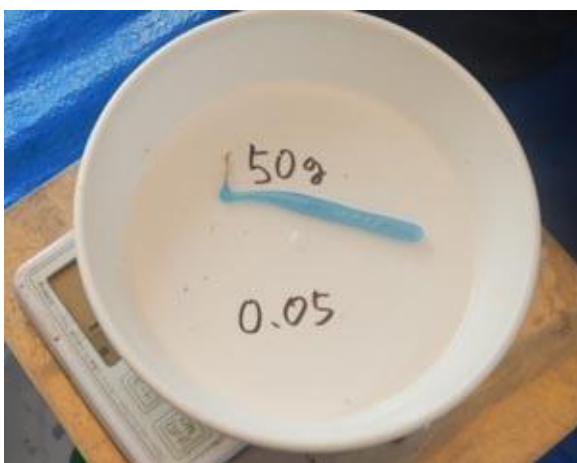
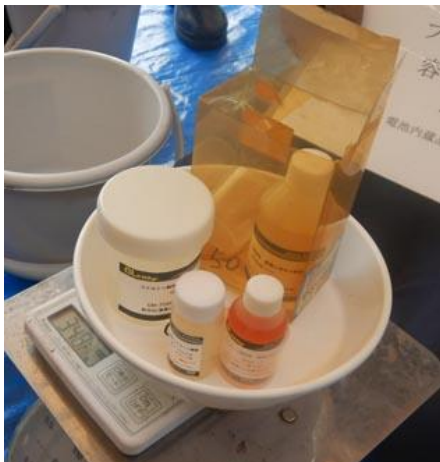
月 日		令和 6 年 10 月 29 日	家庭系不燃ごみ
			
プラスチック類-容器包装以外-その他 剃刀		プラスチック類-容器包装以外-その他 ペン	

② 調査2回目（家庭系可燃ごみ、家庭系不燃ごみ）

月 日	令和7年1月21日	家庭系可燃ごみ
		
収集状況		分析試料（簡易縮分後）
		
分類状況①		分類状況②
		
計量状況		特定プラスチック使用製品

月 日	令和7年1月21日	家庭系可燃ごみ
		
特定プラスチック使用製品	食べ残し、調理くず等	
		
直接廃棄	プラスチック類-容器包装以外-軟質 PP バンド	
		
プラスチック類-容器包装以外-軟質 養生テープ	プラスチック類-容器包装以外-軟質 スポンジ	

月 日	令和 7 年 1 月 21 日	家庭系可燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-軟質 袋	プラスチック類-容器包装以外-軟質 不織布マスク	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 ボトル	プラスチック類-容器包装以外-硬質 部品	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 止め具	プラスチック類-容器包装以外-硬質 歯ブラシ（特定プラではないもの）	

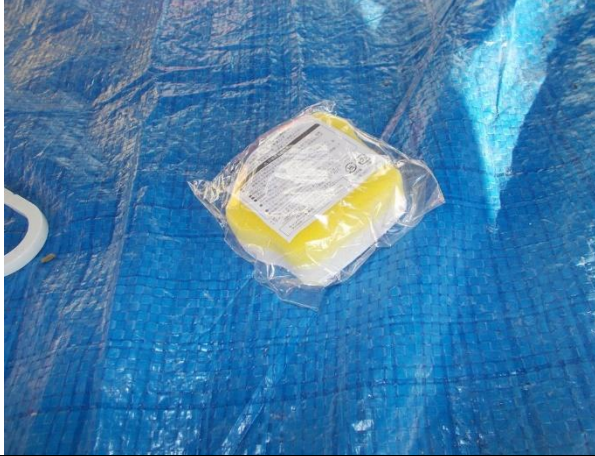
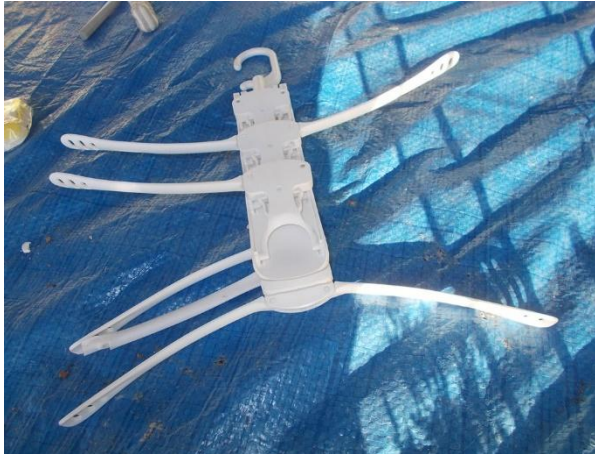
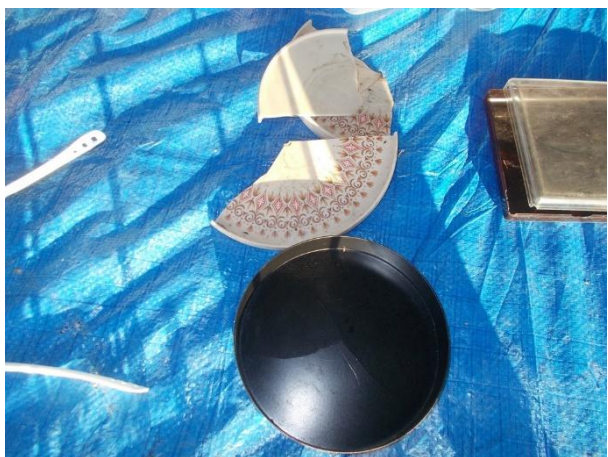
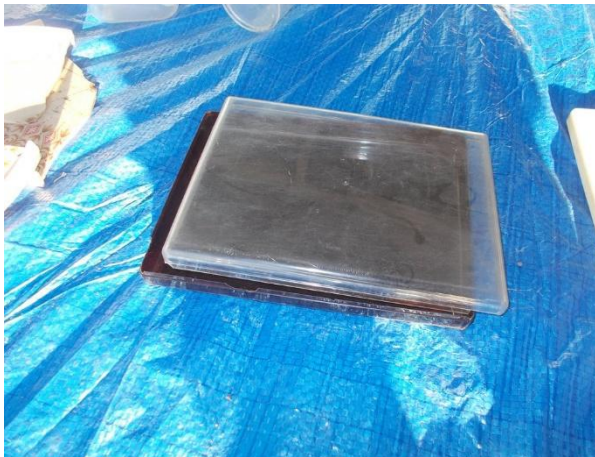
月 日	令和 7 年 1 月 21 日	家庭系可燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 ストロー（特定プラではないもの）		プラスチック類-容器包装以外-硬質 糸ようじ
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 カード		プラスチック類-容器包装以外-硬質 カバー部品
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 バインダー		プラスチック類-容器包装以外-その他 シリコン

月 日	令和7年1月21日	家庭系不燃ごみ
		
収集状況		分析試料（縮分後）
		
分類状況①		分類状況②
		
計量状況		特定プラスチック使用製品（ハンガー）

月 日	令和7年1月21日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-軟質 クリアファイル	プラスチック類-容器包装以外-軟質 シャワー用キャップ (特定プラでないもの)	
		
プラスチック類-容器包装以外-軟質 コーナークッション	プラスチック類-容器包装以外-軟質 物入れ	
		
プラスチック類-容器包装以外-軟質 PP バンド	プラスチック類-容器包装以外-軟質 カードファイル	

月 日	令和 7 年 1 月 21 日	家庭系不燃ごみ
		プラスチック類-容器包装以外-軟質 ファイル入れ プラスチック類-容器包装以外-硬質 食器・カップ類
		プラスチック類-容器包装以外-硬質 ざる プラスチック類-容器包装以外-硬質 かご
		プラスチック類-容器包装以外-硬質 くし プラスチック類-容器包装以外-硬質 ブラシ

月 日	令和7年1月21日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 毛抜き	プラスチック類-容器包装以外-硬質 歯ブラシ (特定プラでないもの)	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 ボトル	プラスチック類-容器包装以外-硬質 クリップ	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 ペン	プラスチック類-容器包装以外-硬質 壁フック	

月 日	令和7年1月21日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 フック	プラスチック類-容器包装以外-硬質 スポンジ	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 掃除ブラシ	プラスチック類-容器包装以外-硬質 タオル掛け	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 おぼん	プラスチック類-容器包装以外-硬質 平ケース	

月 日	令和7年1月21日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 まな板	プラスチック類-容器包装以外-硬質 水槽セット	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 哺乳瓶洗浄セット	プラスチック類-容器包装以外-硬質 タオル掛け	
		
プラスチック類-容器包装以外-硬質 ハンガー（特定プラでないもの）	プラスチック類-容器包装以外-硬質 スマホケース	

月 日		令和7年1月21日	家庭系不燃ごみ
			
プラスチック類-容器包装以外-硬質 玩具 1		プラスチック類-容器包装以外-硬質 こりほぐし	
			
プラスチック類-容器包装以外-硬質 玩具 2		プラスチック類-容器包装以外-硬質 健康足ふみマット	
			
プラスチック類-容器包装以外-硬質 その他不明		プラスチック類-容器包装以外-その他 空気入れ	

月 日	令和 6 年 10 月 29 日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 家具の足	プラスチック類-容器包装以外-その他 家具の足ローラー	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 洗濯ばさみ	プラスチック類-容器包装以外-その他 玩具	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 クリスマスツリー	プラスチック類-容器包装以外-その他 スプリングメジャー	

月 日	令和 6 年 10 月 29 日	家庭系不燃ごみ
		プラスチック類-容器包装以外-その他 ペン
		プラスチック類-容器包装以外-その他 インクカートリッジ
		プラスチック類-容器包装以外-その他 包丁研ぎ

月 日	令和7年1月21日	家庭系不燃ごみ
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 ボトル（底に金属板）	プラスチック類-容器包装以外-その他 キーホルダー	
		
プラスチック類-容器包装以外-その他 ハンドライト	プラスチック類-容器包装以外-その他 髭剃り+替え刃	